

会 長 挨拶

豊前・豊後二豊の地 大分の風薫るさわやかな季節、くじゅう、祖母、傾山系の“みやまきりしま”が咲き誇り、山開きとなる5月29日～6月1日に第55回日本小児神経学会学術集会をiichiko 総合文化センター、大分オアシスタワーホテル、全労済ソレイユにて開催させていただきます。伝統ある本学会学術集会をお世話させていただけることは、大学卒業直後より、福山幸夫先生をはじめ多くの諸先生に小児神経学の臨床、研究の薫陶を受け、小児神経学を専門としてきたものにとり大変光栄に存じます。

学会のテーマを「虚心石を友とす 至誠通神」といたしました。大分が誇る2名の先哲医学者 前野良沢先生、田原 淳先生の言葉をそれぞれ引用させていただきました。臨床と研究、教育とともに、目標を持ち、一生懸命、真心を持って最善を尽くし、継続すること。研究は本来、誰もやっていないことに挑戦することであり、実用化間近の注目度の高い研究とは対峙し、成果を得るまでに長期間の努力、ハードワーク、が必要であり、成果が出ないことの方が少なくありません。ただ、我々の小児神経学の研究や臨床は、一生懸命継続すること、そのことが楽しみであり、幸せであると感ずることは少なくありません。2012年ノーベル生理学・医学賞受賞 山中伸弥教授が、大学院生と二人で始めた研究当初は「ビジョンとハードワーク」そのものであり、一部は、我々の研究、臨床にも通じるものがあると考えます。小児科学の研究と臨床の幅は広く、小児神経学はその根幹をなすものであり、この学術集会ではその重要性和基礎科学的知見の進歩と発展を、講演、討論、学習していただけるようプログラムを立てました。

小児神経学の将来、地域社会における役割、最近の新しい知見、臨床と基礎研究の進歩をテーマとしてシンポジウム、教育講演を企画しました。会員よりの一般演題はEnglish Session 25題、ポスターセッション 298題を含め644題と過去最多となっています。企画演題 115題、その他に共催セミナーや研究会があり、800題近くの演題が登録されました。会員による一般演題発表はシンポジウム等と出来るだけ重複しないよう、討論が深まるようにプログラムを組み立てました。ただ、予想を超えた数の演題を出していただき、一部の企画テーマやシンポジウムは早朝7時～8時より開始せざるを得ない状態となっていますが、当地自慢の食物を準備させていただきます。是非、これも楽しみにし、ご了解下さり、多数ご参加下さい。

特別講演としては、“子育て満足度 日本一”を宣言し、地域の活性化、少子高齢過疎化の対策として、大分の地域医療、小児医療の重要性とその役割を重視され、多大な御支援をいただいている大分県知事 広瀬勝貞氏に「大分の地域医療と小児医療」を講演していただきます。本学会のテーマとさせていただきました大分における先哲医学者のバイオニア精神、西洋医学黎明期の貢献を整形外科医で、医史学研究者でもある川島真人先生に講演、解説をお願いいたしました。

基調講演として、鈴木義之先生に「ガラクトースの世界：β-ガラクトシダーゼ欠損症の病態と治療」を、先生の長年の研究を通しての小児神経学の臨床と研究を、基礎病理、原因酵素や蛋白、遺伝子の発見、治療法開発の歴史を概説していただきます。小児神経学の将来と役割については、国際小児神経学会元理事長のCuratolo P先生に「小児神経学の教育と挑戦」を講演していただき、同時に小児神経専門医、研修制度についての夜間集会も計画いたしました。福山型先天性筋ジストロフィーに関してはCampbell PK先生、戸田達史先生に講演をお願いしています。国内の大学や中核病院における小児神経学講座、小児神経科の活動性、認識度は必ずしも高くなく、低下傾向にあるとも感じます。小児神経科の存在意義、地域医療における小児神経の役割、貢献、その重要性を考えるために、在宅医療、重症児（者）医療、震災地のメンタルヘルスと発達障がい児医療支援、地域の教育や福祉との連携をテーマに3日間、3回のシンポジウムを計画しました。

多くの演題をいただきましたてんかんに関しても、てんかんの病態と病理、遺伝子、外科的適応等の教育講演とシンポジウムを企画しています。その他、自閉症の神経科学研究、DNA修復障害、神経免疫、感染症、新生児、最近の基礎的神経学研究進歩のシンポジウムを企画いたしました。また、新しい企画として、神経-心奇形連鎖疾患-RAS-MAPKシグナル伝達経路を介しての血液腫瘍発症の機序、小児がん経験者、長期生存者、における中枢神経系病変の評価と予防対応のシンポジウムを計画し、小児神経学の領域拡大を試みています。小児神経学の臨床、研究は本来楽しく、興味の湧くものと思います。テーマ企画「小児神経科 臨床検討会—あなたはSuper Child Neurologist (sCN)」は、最終診断を伏せた4症例の診断を各自の臨床能力とセンスで診断を解説・解答していただく企画です。臨床診断学に自信のある諸先生の多数の参加を期待しています。

早朝ですが、食事と賞品を準備しております。多数ご参加下さい。

先に記述したように、予想を超える多数の演題を応募いただき誠にありがとうございます。豊前、豊後、大分は二豊の地 豊饒の地であり、早朝、昼、夕のセミナー、シンポジウムでは当地のおいしい食物を提供させていただきます。会員懇親会は“大分の酒と肴の会”とし、大分県、および大分大学小児科が常勤医を派遣している関係市町村や、複数の患児（者）親の会、小児科同門会が協力し、歓待いたします。

どうぞ豊前、豊後 二豊の地、大分へお出かけ下さい。

多数の皆様と大分でお会い出来ることを楽しみにしております。

平成 25 年 5 月

第 55 回日本小児神経学会学術集会

会長 泉 達郎

大分大学医学部小児科学講座小児科、神経小児科、
児童精神科（こどもメンタルクリニック）、小児科同門会

■ 交通案内	S5
■ 会場案内	S6
■ ポスター会場案内	S10
■ お知らせとお願い	S15
■ プログラム委員・事務局	S20
■ 各優秀賞	S21
■ 役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S22
■ 日程	
プレコンgres (5 月 29 日)	S23
第 1 日目 (5 月 30 日)	S24
第 2 日目 (5 月 31 日)	S26
第 3 日目 (6 月 1 日)	S28
■ プログラム	
特別演題日程	S33
プレコンgres (5 月 29 日)	S44
第 1 日目 (5 月 30 日)	S45
第 2 日目 (5 月 31 日)	S70
第 3 日目 (6 月 1 日)	S97
■ 特別演題抄録	
会長講演	S111
特別講演 (1・2)	S113
基調講演	S115
招待講演 (1～3)	S116
教育講演 (1～6)	S119
シンポジウム (1～12)	S125
結節性硬化症教育研究セミナー	S164
福山型先天性筋ジストロフィー教育研究セミナー	S165

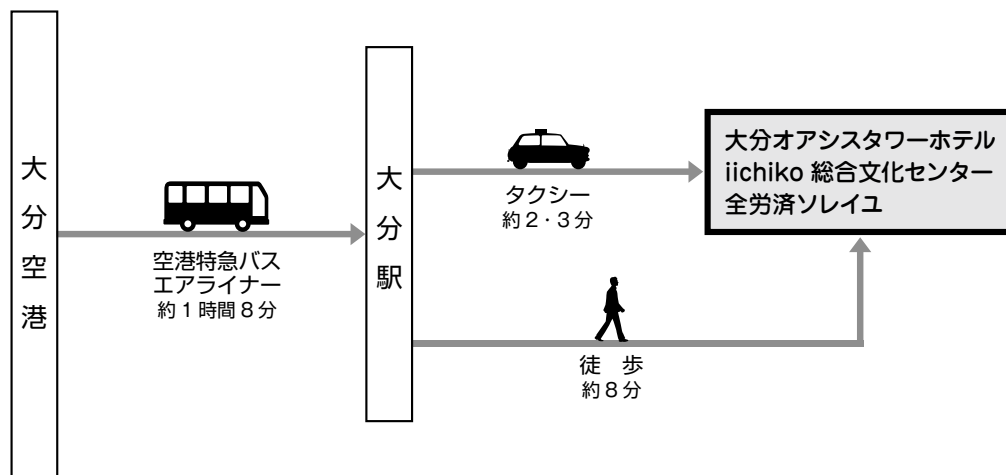
テーマ企画	S166
B & D 編集委員会主催 B & D セミナー	S171
産科医療補償制度検討委員会・日本医療機能評価機構主催公開セミナー	S173
薬事委員会主催夜間集会	S176
社会活動委員会主催夜間集会	S179
共同研究支援委員会主催モーニング教育セミナー（第一部・第二部）	S181
長期計画委員会主催シンポジウム	S187
2013 JSCN Award for Asia-Oceania young investigator	S190
The 2013 JSCN international educational fellowship	S191
夜間集会	S192
実践教育セミナー（1・2）	S196
神経遺伝病治療戦略セミナー	S202
ランチョンセミナー（1～13）	S203
イブニングセミナー（1・2）	S210
市民公開講座	S211
 ■一般演題抄録（English Session）	
第 1 日目（5 月 29 日）	S219
 ■一般演題抄録（口演）	
第 1 日目（5 月 30 日）	S231
第 2 日目（5 月 31 日）	S265
第 3 日目（6 月 1 日）	S306
 ■一般演題抄録（ポスター）	
第 1 日目（5 月 30 日）	S339
第 2 日目（5 月 31 日）	S386
 ■索引（筆頭講演者名）	
S439	
 ■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	
S446	
 ■瀬川プログラム招待講演者一覧	
S447	
 ■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	
S448	
 ■日本製薬団体連合会・協賛企業一覧	
S450	

交通案内

- 大分オアシスタワーホテル 〒870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 48 号
TEL 097-533-4411
- iichiko 総合文化センター 〒870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 33 号
TEL 097-533-4000
- 全労済ソレイユ 〒870-0035 大分県大分市中央町 4 丁目 2 番 5 号
TEL 097-533-1121



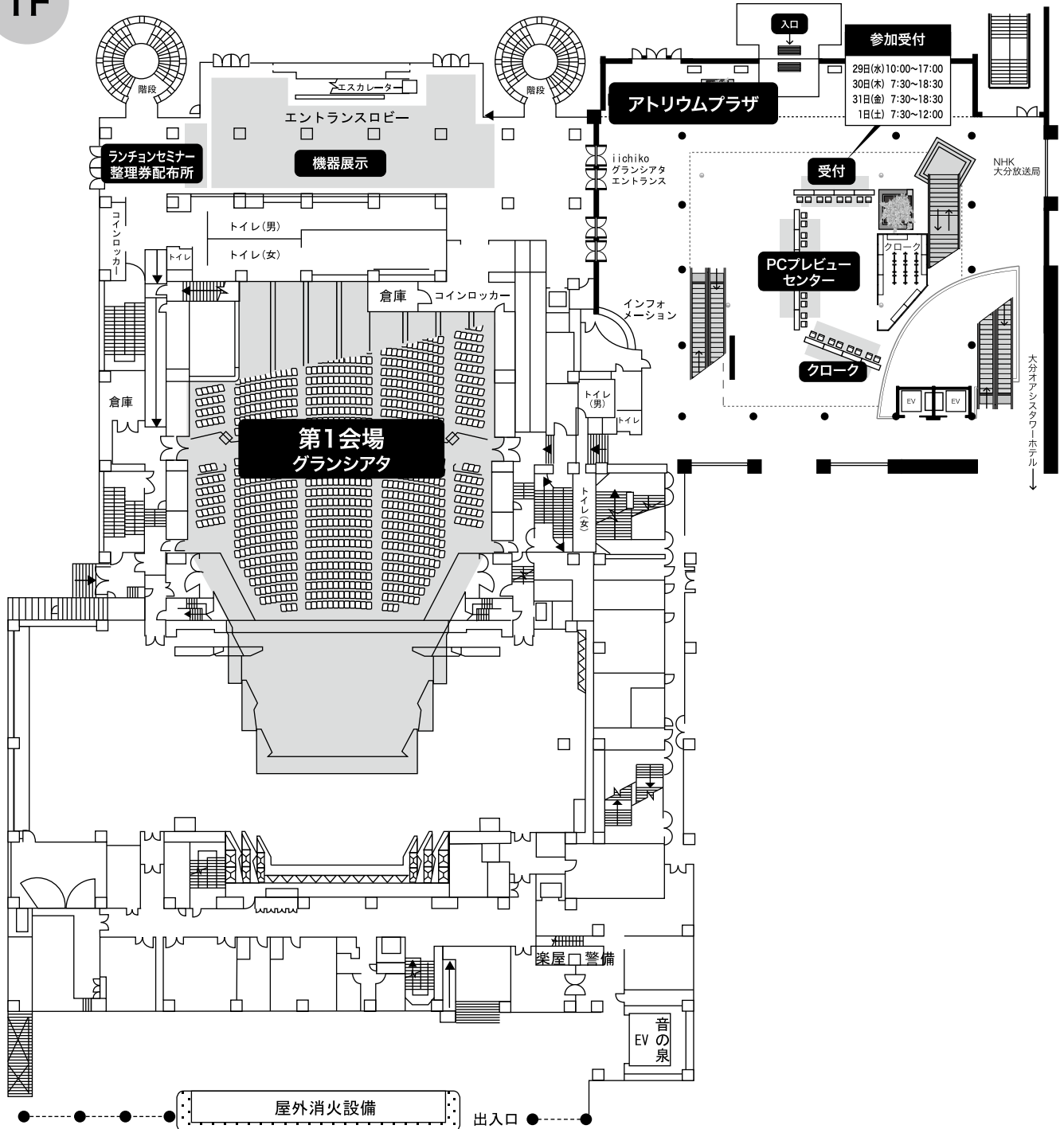
- ◆JR大分駅から 府内中央口（北口）よりタクシーで約2・3分 徒歩で約8分
- ◆自動車 九州横断自動車道大分ICから市街地方面へ約7分
- ◆大分空港から 空港特急バス エアライナー利用（所要時間：約1時間8分）
大分空港エアライナー乗場にて乗車 → JR大分駅前降車
→ JR大分駅より タクシーで約2・3分 徒歩で約8分
- ◆駐車場 地下駐車場（有料）又は屋外駐車場（有料）



会場案内

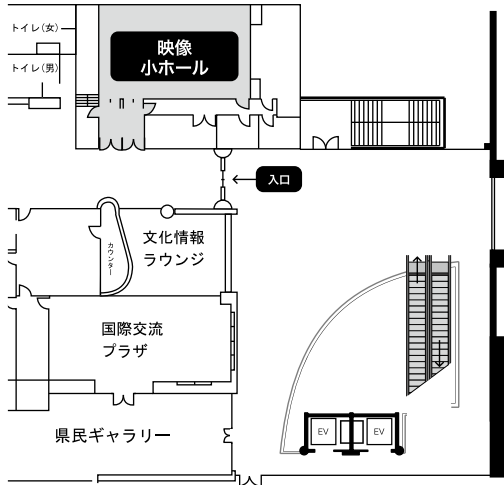
iichiko総合文化センター

1F

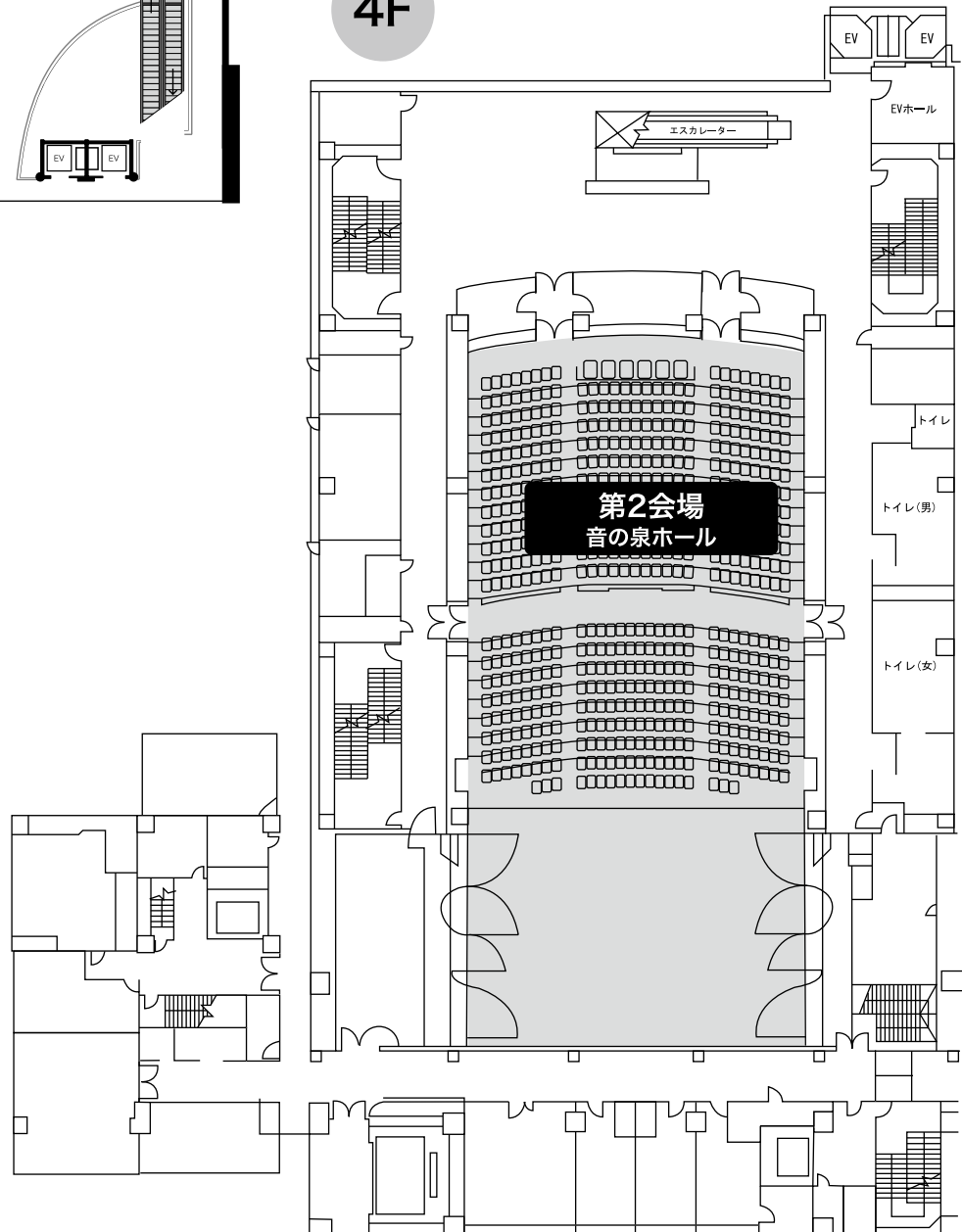


会場案内

B1F



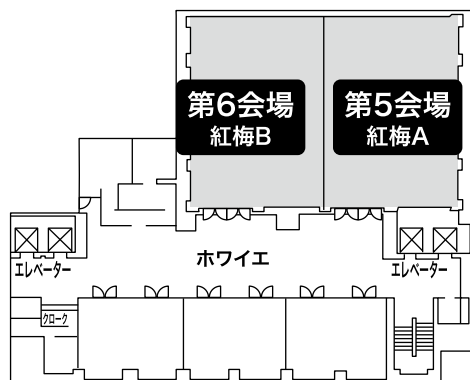
4F



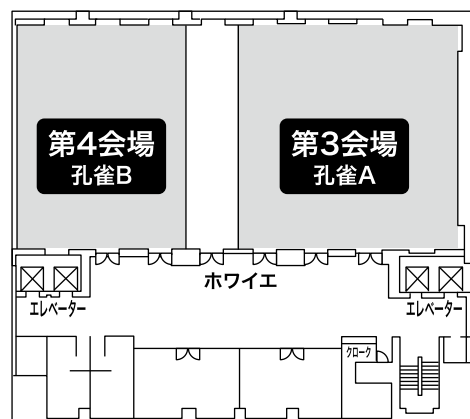
会場案内

大分オアシスタワーホテル

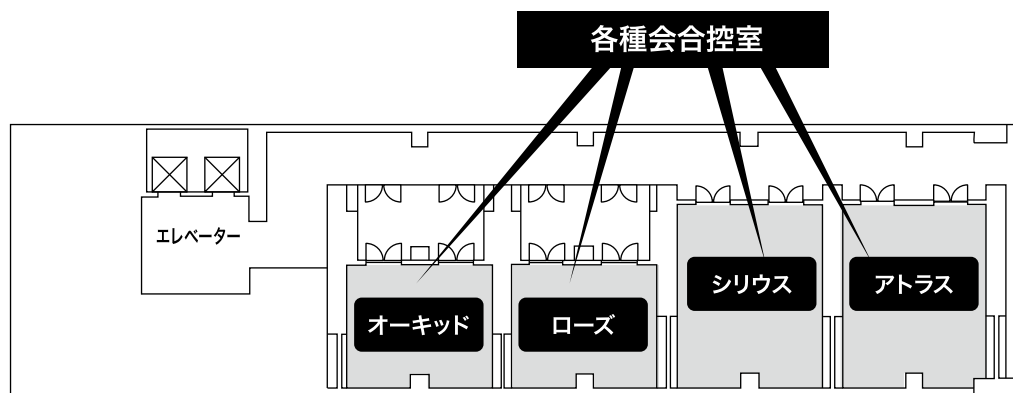
3F



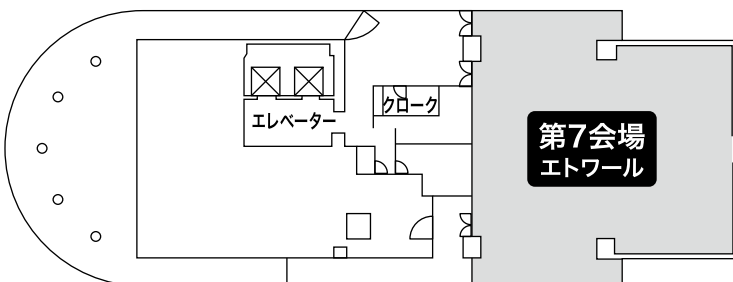
5F



20F



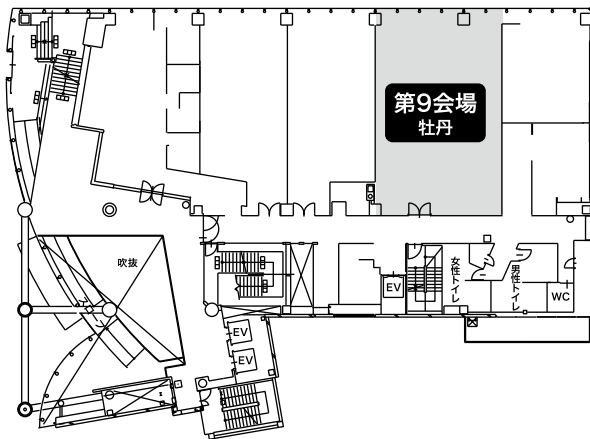
21F



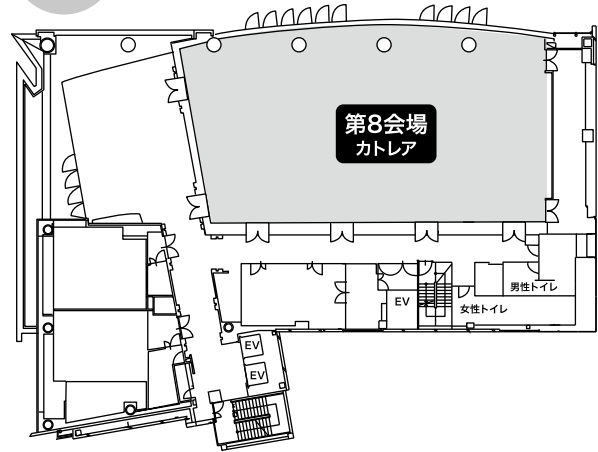
会場案内

全労済ソレイユ

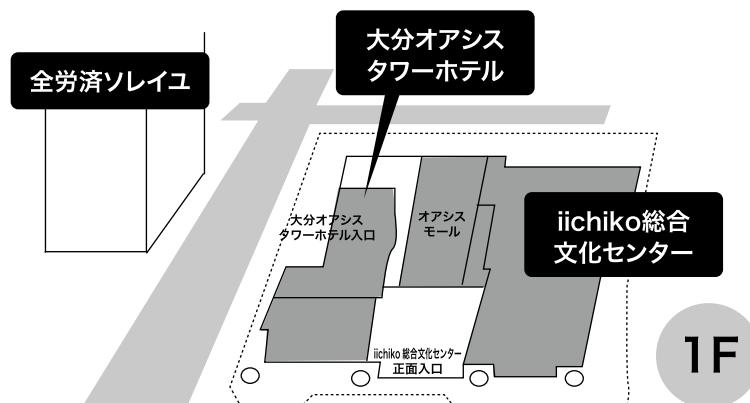
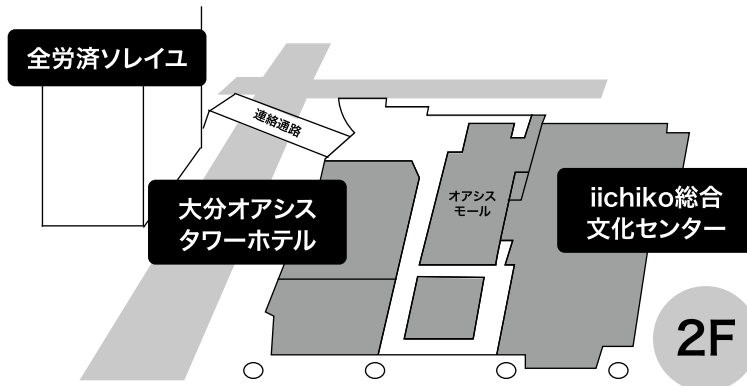
3F



7F



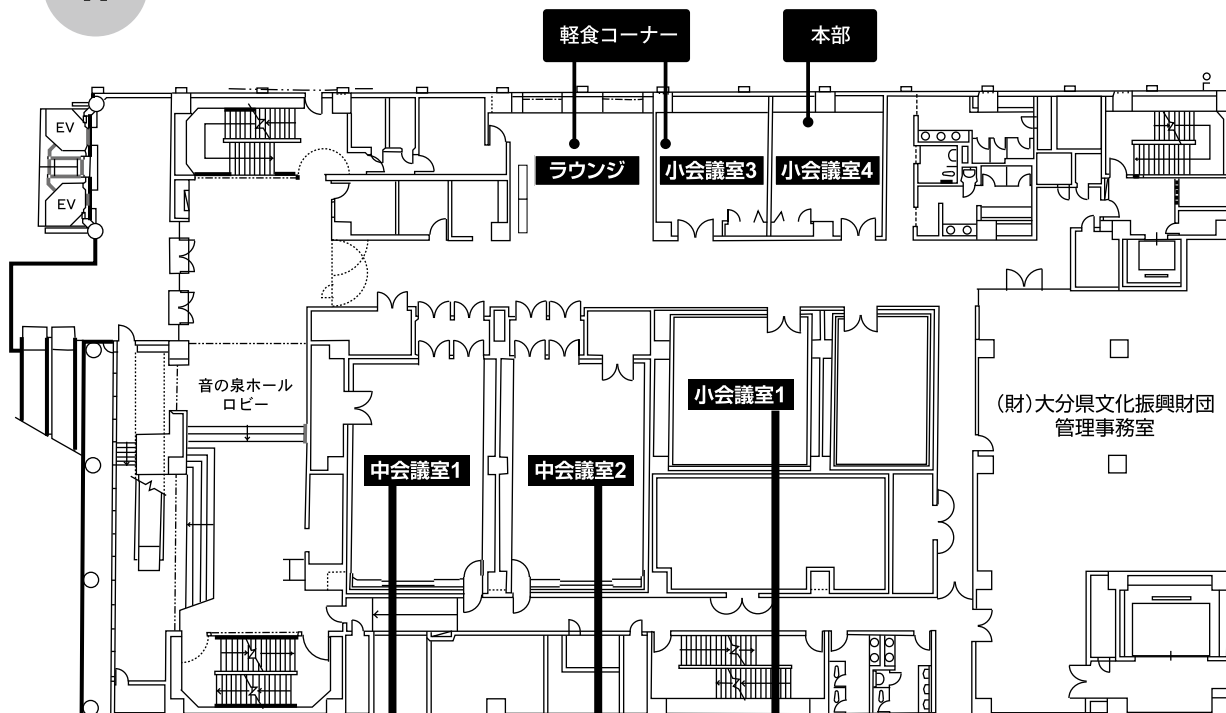
会場位置図



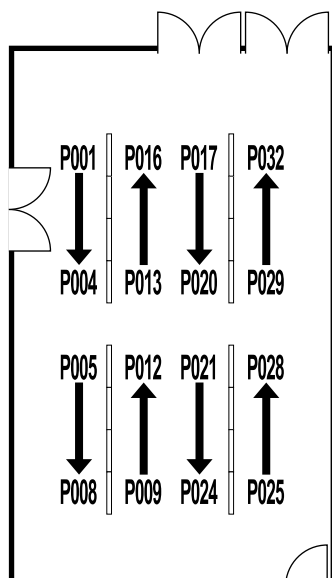
ポスター会場案内

第1日目 (iichiko総合文化センター)

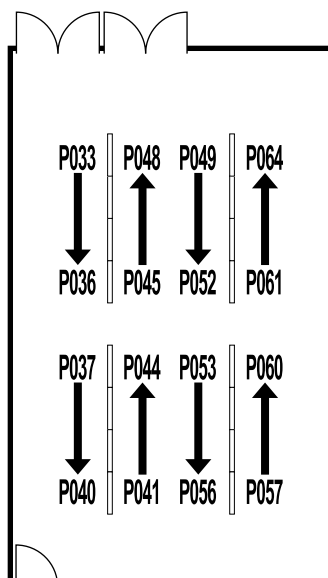
4F



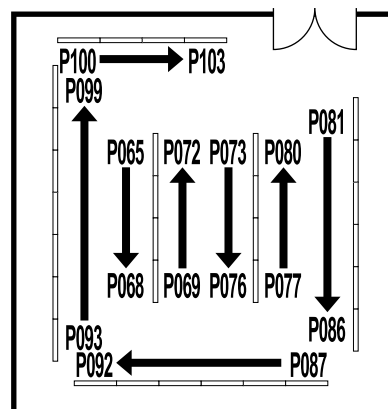
中会議室1



中会議室2

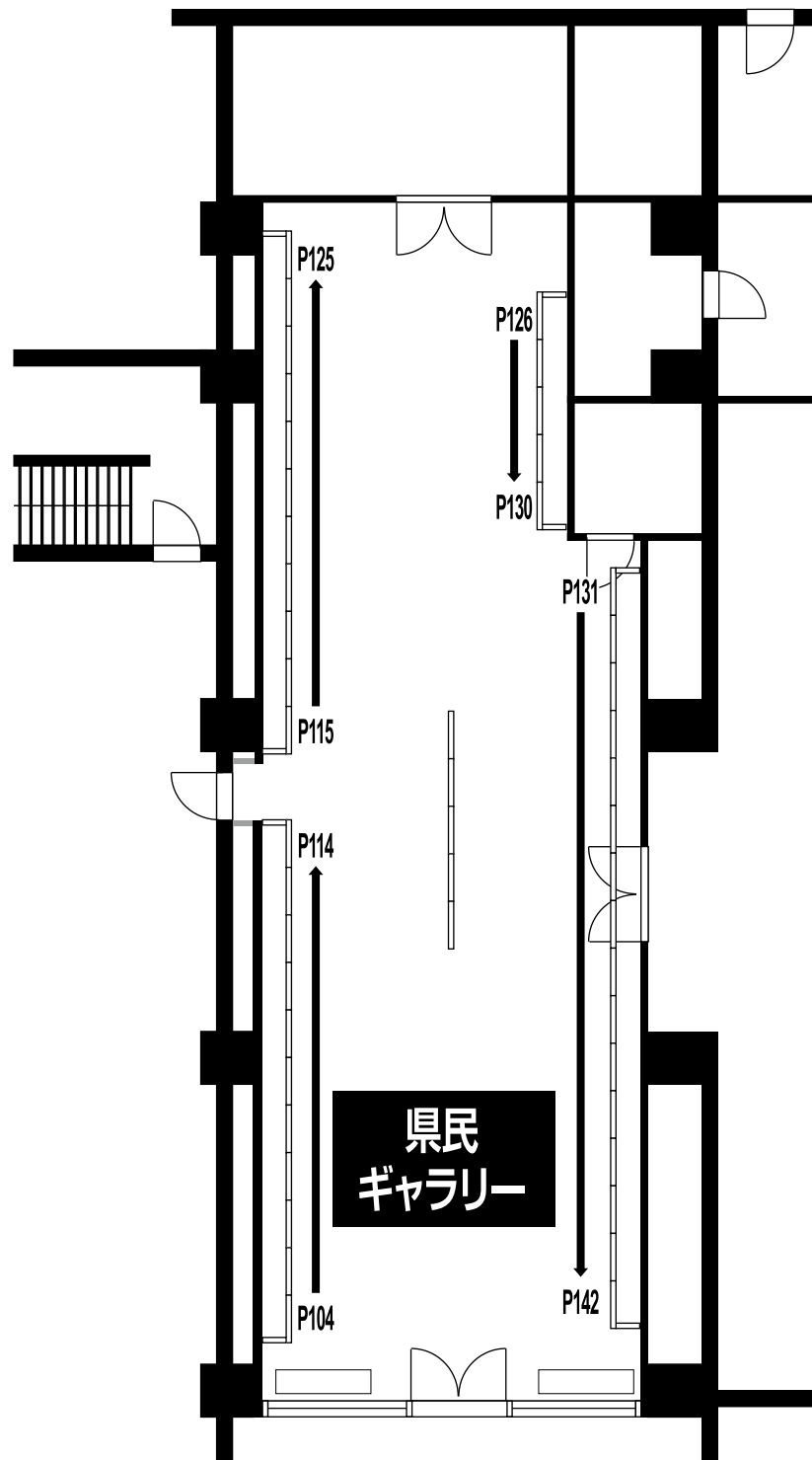


小会議室1



ポスター会場案内

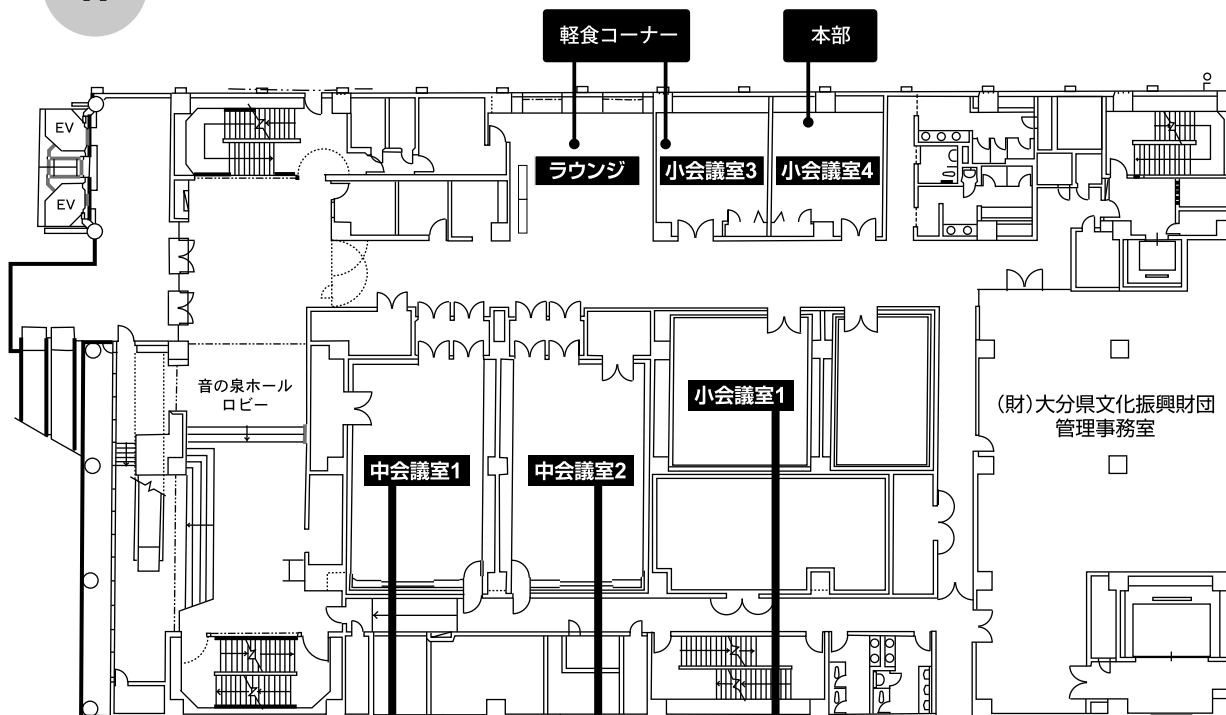
B1F



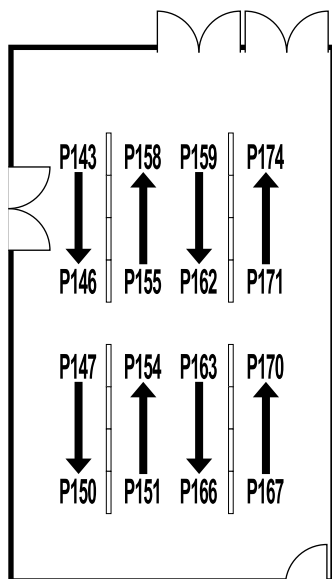
ポスター会場案内

第2日目 (iichiko総合文化センター)

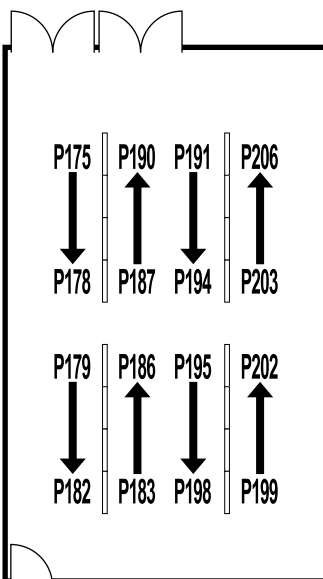
4F



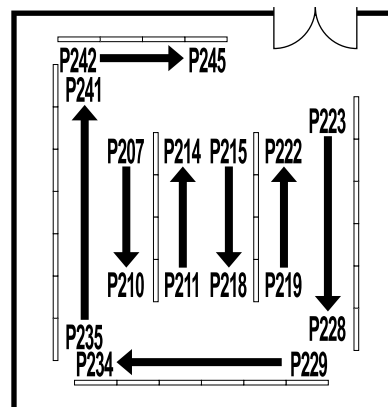
中会議室1



中会議室2

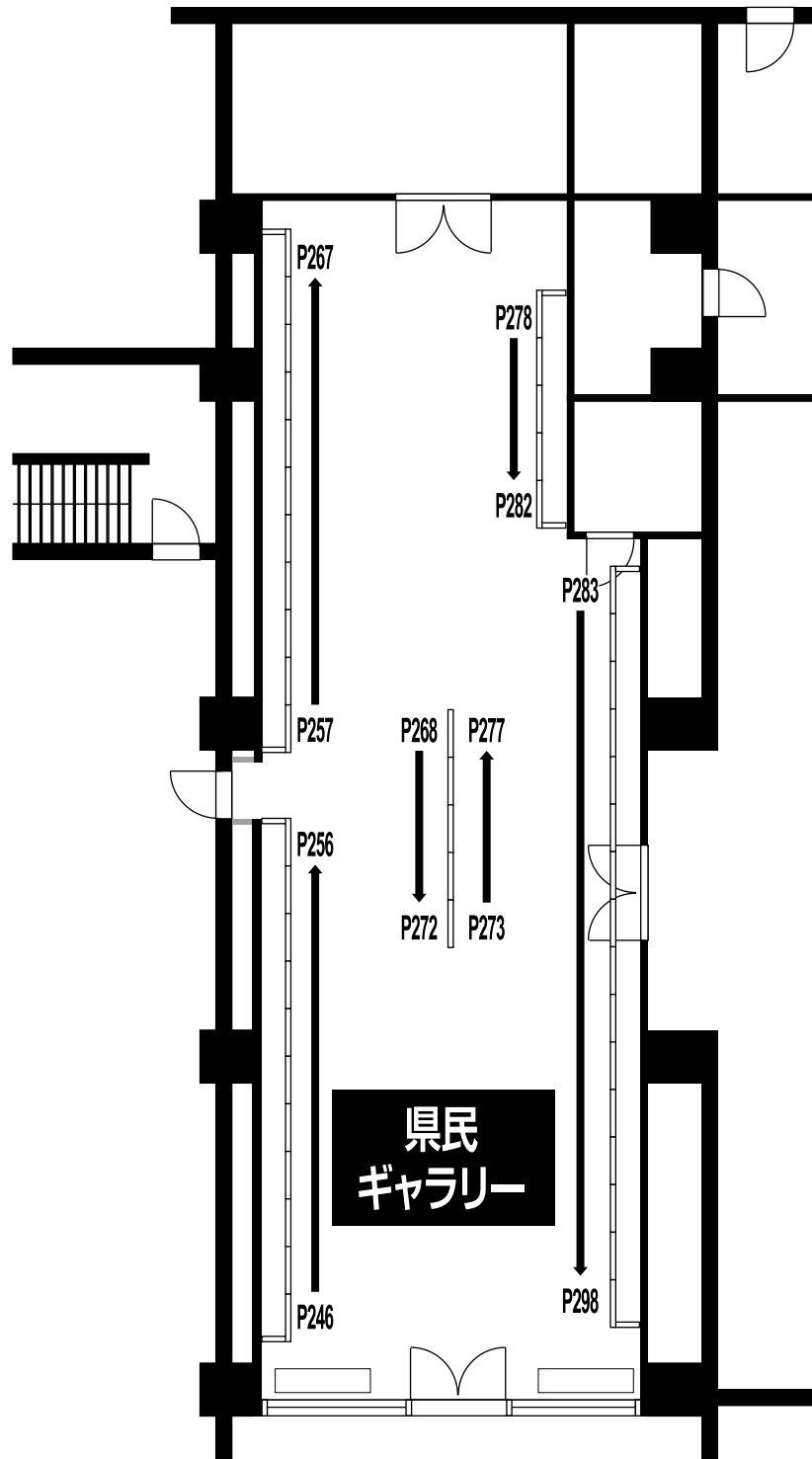


小会議室1



ポスター会場案内

B1F



ポスター会場案内

ポスター演題は、口演会場にてスライドを用いて発表します。

1 演題は発表 3 分・質疑応答なしで進行いたします。

Poster on site の時間帯に演者はポスターパネル前で各自待機しているので、演者へご質問のある方は、ポスター口演発表終了後の Poster on site の時間帯にご質問下さい。

No.	カテゴリー	口演発表	口演会場	Poster on site	Poster on site 会場
P-001 ～ P-021	発達障害検査／発達障害の療育・支援	第 1 日目 30日(木) 17:10～18:25	第 2 会場	第 1 日目 30日(木) 18:30～19:10	iichiko 総合 文化センター
P-022 ～ P-046	てんかん・けいれん 1		第 5 会場		
P-047 ～ P-069	発達障害一般		第 6 会場		
P-070 ～ P-094	奇形, 染色体異常／発達		第 7 会場		
P-095 ～ P-118	脳性麻痺・療育 1／血管障害／ 脳外科領域／不随意運動, 基底核／その他		第 8 会場		
P-119 ～ P-142	電気生理／画像／遺伝		第 9 会場		
P-143 ～ P-160	てんかん・けいれん 2	第 2 日目 31日(金) 17:00～18:15	第 2 会場	第 2 日目 31日(金) 18:20～19:00	中会議室 1 (4F) 中会議室 2 (4F) 小会議室 1 (4F) 県民ギャラリー (B1F)
P-161 ～ P-185	脳性麻痺・療育 2		第 3 会場		
P-186 ～ P-205	代謝変性疾患		第 4 会場		
P-206 ～ P-227	感染, 免疫／形態・病理／中毒		第 5 会場		
P-228 ～ P-252	学習障害／新生児／精神障害, 行動異常／自律神経, 頭痛		第 6 会場		
P-253 ～ P-275	急性脳炎・脳症		第 7 会場		
P-276 ～ P-298	末梢神経／筋／腫瘍		第 8 会場		

I. 参加者各位へ

(1) 会場：

iichiko 総合文化センター (〒 870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 33 号 電話 097-533-4000)
 大分オアシスタワーホテル (〒 870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 48 号 電話 097-533-4411)
 全労済ソレイユ (〒 870-0035 大分県大分市中央町 4 丁目 2 番 5 号 電話 097-533-1121)

(2) 受付：

月日	時間	場所
プレコングレス 5 月 29 日 (水)	10:00~17:00	iichiko 総合文化センター 1F アトリウムプラザ
学術集会 第 1 日目 5 月 30 日 (木)	7:30~18:30	
学術集会 第 2 日目 5 月 31 日 (金)	7:30~18:30	
学術集会 第 3 日目 6 月 1 日 (土)	7:30~12:00	

- (3) 登録：参加費を受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡しますの
 で、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、コメディカ
 ル、初期臨床研修医、大学生は、いずれも身分を証明するものが必要です。コメディカル、大学生
 は身分証明証提示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明を取得し、
 持参して下さい。受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。

	参加費
小児神経学会会員	15,000 円
非会員	18,000 円
コメディカル	5,000 円（証明書提示）
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
大学生（大学院生は除く）	無料（学生証提示）
会員懇親会「大分の酒と肴の会」	5,000 円（非会員の参加も可能）

- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に
 関する指針』を遵守し、本学会に発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような
 情報を表示しないようお願いいたしております。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情などを提
 示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、
 今学会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていた
 だきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録
 集販売受付にて 1 冊 2,000 円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。
- (6) 会員総会：第 55 回総会を学術集会 2 日目（5 月 31 日）13 時 00 分より第 1 会場（iichiko 総合文化セ
 ンター 1F グランシアタ）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 25 年度会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) B & D 購読料：英文誌（Brain & Development）の購読者で平成 25 年購読料（18,000 円）を未納の方、
 または新たに購読を希望される方は当該受付にて納入して下さい。

- (9) 専門医研修単位：学会参加により以下の研修単位が認められます。
小児神経専門医 8 単位，小児科専門医 8 単位，日本リハビリテーション医学会認定臨床医 10 単位。
- (10) 会員懇親会：会員懇親会を学術集会 1 日目（5 月 30 日）19 時 10 分より第 3，4 会場（大分オアシスタワーホテル 5F 孔雀）にて行います。参加を希望される方は，参加費 5,000 円を添えて総合受付内の懇親会受付までお申し込み下さい。
- (11) 会場での呼び出しは原則としていたしません。
- (12) 駐車場：会場の駐車場は有料になります。公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 座長各位へ

- (1) 口演発表の座長各位へ
担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席におつき下さい。
口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分），で進行して下さい。会場進行責任者からもお知らせをしますが，時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。
口演会場では，発表時間を計時します。演台，ならびに座長席では，終了 1 分前に黄ランプ，終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。
- (2) ポスター発表の座長各位へ
今回のポスター発表は，口演会場にてスライドを用いる発表形式です。
担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席におつき下さい。
1 演題 3 分（発表 3 分・質疑応答なし）で進行して下さい。
口演会場では，発表時間を計時します。演台，ならびに座長席では，終了 1 分前に黄ランプ，終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

III. 演題の採択

- (1) 644 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果，644 題を採用，このうち English Session 25 題，一般演題 317 題，ポスターセッション 298 題，テーマ企画 4 題と決定しました。
- (2) The 2013 JSCN International Educational Fellowship は 1 名（Mohammad Kazem Bakhshandeh Bali 先生）が，2013 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator は 1 名（Mirzaeva Dilnoza Farkhadovna 先生）が選出されています。

IV. 口演発表者へ

- (1) 発表時間
発表時間に関して，依頼講演（教育講演，シンポジウム等）の演者，テーマ企画の演者は座長の指示に従って下さい。
一般演題（English Session）・（口演）の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。各口演会場では，発表時間を計時します。演台，ならびに座長席では，終了 1 分前に黄ランプ，終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。
- (2) 発表形式
依頼講演，一般演題（English Session）・（口演）ともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。次項の「PC 発表データ作成について」をご参照下さい。なお，English Session にてご発表の先生は，データを英語で作成し，英語でご発表下さい。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。
PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意下さい。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 30 日 (木)	7:30~18:30	iichiko 総合文化センター 1F アトリウムプラザ
5 月 31 日 (金)	7:30~18:30	
6 月 1 日 (土)	7:30~15:00	

※ 5 月 29 日 (水) にご講演の先生は、講演会場前方左側の映像オペレーション卓へ直接データをお持ち込み下さい。

※ 5 月 31 日 (金) 7:00~, 6 月 1 日 (土) 7:30 開始のセッションにてご講演の先生方は当日、大分オアシスタワーホテル 5F ホワイエでのデータのお預かりも可能ですが、なるべく前日にデータ受付を終えて下さい。

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者における COI (筆頭発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など) に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 55 回学術集会ホームページでご確認下さい。

【第 55 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

http://www.c-linkage.co.jp/55jscn/zacho_enjya/index.html

◎データは以下の要領で作成して下さい。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です。なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでのお持ち込みをお願いいたします。
- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合、リンク切れにご注意下さい。これは、データをメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動作確認することによりチェックできます。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS：WindowsXP 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2003, 2007, 2010

- ・画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

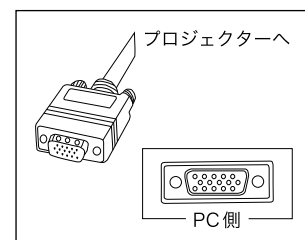
【データの提出方法】

- ・メディアの形式：USB ストレージまたは CD-R のみ受付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル（動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む）以外のデータは入れないで下さい。
- ・データの受付および返却：USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・データの受付時間：発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい）。
- ・発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ ノートパソコンをお持ち込みの場合（Windows, Macintosh とも）

【ノートパソコンの条件】

- ・mini D-sub 15 pin 出力に対応した PC をご持参下さい。
- ・会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 pin です。
- ・変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
- ・必ず AC アダプター（電源コード）をご持参下さい。AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい）。
- ・PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取り下さい。

(5) 発表方法

- ・舞台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行って下さい。

V. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

口演会場にてスライドを用いる発表形式です。

1 演題 3 分（発表 3 分・質疑応答なし）です。セッション終了後、Poster on site の時間帯に、各自ポスターパネル前にて参加者との質疑応答の場といたします。各パネルに付属の青リボンを着用の上、待機して下さい。

口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。発表時間は座長の指示に従い、厳守して下さい。

掲示・展示	5月30日(木)発表の方 ⇒ 30日(木) 8:30~10:30 の間に各自で掲示して下さい。 5月31日(金)発表の方 ⇒ 31日(金) 8:30~10:30 の間に各自で掲示して下さい。
発表 (各口演会場にて)	(P-001 ~ P-142) 30日(木) 17:10~18:25 (P-143 ~ P-298) 31日(金) 17:00~18:15
Poster on site (各ポスターパネル前にて)	(P-001 ~ P-142) 30日(木) 18:30~19:10 (P-143 ~ P-298) 31日(金) 18:20~19:00
撤去	発表者は Poster on site 終了後、当日の 20:00 までに各自でポスターを取り外して下さい。

※撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承下さい。

(2) 受付

発表スライドは事前登録制です(登録期間5月中旬までを予定)。当日はプレビューセンターの受付は必要ございません。なお、学会当日のスライドの修正・変更はできませんのでご了承下さい。

(3) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反(COI)開示のお願い

応募演題の筆頭発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 55 回学術集会ホームページでご確認下さい。

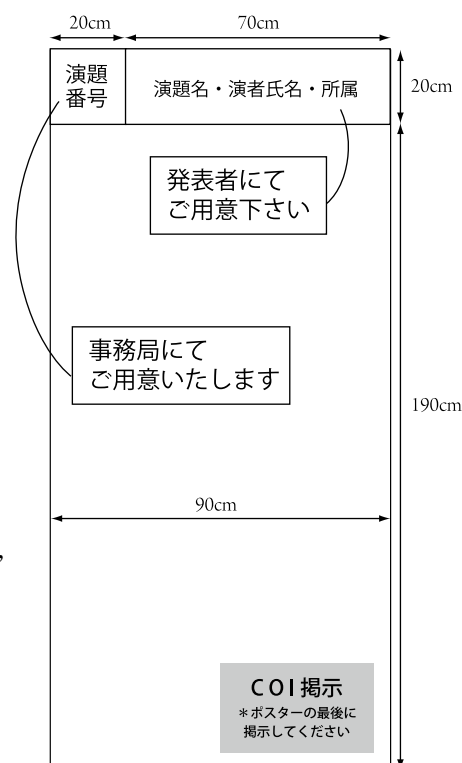
【第 55 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

http://www.c-linkage.co.jp/55jscn/zacho_enjya/index.html

ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm, 高さ 210 cm です。(右図参照)

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます(演題番号は、学会事務局にて用意します)。発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm, 高さ 20 cm のスペースに演題名, 所属, 演者氏名とすべての共同演者氏名を提示して下さい。

本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示して下さい。画鋏は各パネルに用意します。



VI. 共催セミナーおよび大分大学主催セミナーについて

(1) 内容

■学術集会 第1日目(5月30日)

12時よりランチョンセミナー 1, 2, 3, 4, 5, 6 を開催します。

■学術集会 第2日目(5月31日)

8時30分より大分大学主催 結節性硬化症教育研究セミナーを、
12時よりランチョンセミナー 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13 を、
19時よりイブニングセミナー 1, 2, 大分大学主催 福山型
先天性筋ジストロフィー教育研究セミナーを開催します。

※上記セミナーはいずれも軽食を用意いたします。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 30 日 (木)	7:30~11:50	iichiko 総合文化センター 1F グランシアタ ホワイエ
5 月 31 日 (金)	7:30~11:50	

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券（無料）が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。

VII. 託児室

会場内に設けます託児室をご利用いただきます。詳細はホームページを参照の上、お申し込み下さい。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム委員会（敬称略，50 音順）

石川 悠加，石川 幸辰，石崎 朝世，市山 高志，泉 達郎，大野 耕策，岡 明，沖 潤一，
小国 弘量，奥村 彰久，小沢 浩，加藤 光広，河野 嘉文，木村 重美，吉良龍太郎，久保田健夫，
小枝 達也，後藤 一也，後藤 雄一，小林 勝弘，是松 聖悟，齋藤 伸治，佐々木征行，下澤 伸行，
下野 昌幸，白石 秀明，末延 聡一，杉江 秀夫，杉田 克生，高梨 潤一，竹内 義博，夏目 淳，
難波 栄二，新島 新一，布井 博幸，萩野谷和裕，花井 敏男，林 雅晴，廣瀬 伸一，伏木 信次，
前田 知己，松石豊次郎，南 武嗣，森内 浩幸

事務局

大分大学医学部小児科学講座
事務局長：是松聖悟

事務局連絡先

大分大学医学部小児科学講座
〒 879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地
TEL：097-586-5833
FAX：097-586-5839

運営事務局連絡先

株式会社コンベンションリンクージ
〒 874-0828 大分県別府市山の手町 12-1
TEL：0977-27-0318
FAX：0977-26-7100
E-mail：55jscn@c-linkage.co.jp

第 55 回日本小児神経学会学術集会 各優秀賞について

本学術集会では、下記の優秀賞を設けております。5 月 30 日（木）の会員懇親会にて表彰者の発表および、表彰式を行います。

ご出席下さい。

●ミヤマキリシマー坊がつる大賞

全ての登録演題（一般演題）の中から、優秀な演題に対し、ミヤマキリシマー坊がつる大賞として 1 名選出いたします。

●ミヤマキリシマー由布岳賞

全ての登録演題（一般演題）の中から、優秀な演題に対し、ミヤマキリシマー由布岳賞として 2 名選出いたします。

●ミヤマキリシマー鶴見岳賞

全ての登録演題（一般演題）の中から、優秀な演題に対し、ミヤマキリシマー鶴見岳賞として 2 名選出いたします。

●田原 淳賞

一般演題（English Session）に応募の若手研究者の優秀な演題に対し、田原 淳賞として 15 名表彰いたします。

●前野良沢賞

一般演題（ポスター）に応募の若手研究者の優秀な演題に対し、前野良沢賞として 15 名表彰いたします。

●豊後賞

一般演題（口演）に応募の若手研究者の優秀な演題に対し、豊後賞として 10 名表彰いたします。

日程	会合名	時間	施設	階	部屋
5 月 29 日 (水) 〈プレコングレス〉					
理事会		11:00～14:30	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
評議員会 (第 7 回社員総会)		15:00～17:00	iichiko 総合文化センター	4F	第 2 会場
実践教育セミナー 1 (有料)		11:00～14:00	大分オアシスタワーホテル	5F	第 3 会場
実践教育セミナー 2 (有料)		14:00～17:00	大分オアシスタワーホテル	5F	第 3 会場
夜間集会: 小児神経専門医, 研修制度と, その専門性を考える		17:00～19:00	大分オアシスタワーホテル	5F	第 3 会場
5 月 30 日 (木) 〈学術集会 第 1 日目〉					
倫理委員会		8:00～ 9:00	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
社会活動委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	アトラス
ホームページ委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	オーキッド
長期計画委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
脳と発達編集委員会		12:00～13:00	大分オアシスタワーホテル	20F	アトラス
歴史・史料委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
社会保険委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
共同研究支援委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	オーキッド
会員懇親会		19:10～21:10	大分オアシスタワーホテル	5F	第 3, 4 会場
5 月 31 日 (金) 〈学術集会 第 2 日目〉					
薬事委員会		7:00～ 8:00	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
東日本大震災支援委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
国際渉外委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	オーキッド
Brain & Development 編集委員会		11:50～12:50	iichiko 総合文化センター	B1F	映像小ホール
用語委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
ガイドライン統括委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
会員総会		13:00～13:45	iichiko 総合文化センター	1F	第 1 会場
日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演		13:45～14:10	iichiko 総合文化センター	1F	第 1 会場
2013 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator		14:10～14:20	iichiko 総合文化センター	1F	第 1 会場
The 2013 JSCN International Educational Fellowship		14:20～14:30	iichiko 総合文化センター	1F	第 1 会場
アドバイザーカウンスル		17:00～18:00	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
熱性けいれん診療ガイドライン策定委員会		18:00～19:00	大分オアシスタワーホテル	20F	オーキッド
B & D 編集委員会主催 B & D セミナー		19:00～21:00	iichiko 総合文化センター	1F	第 1 会場
産科医療補償制度検討委員会・日本 医療機能評価機構主催公開セミナー		19:00～21:00	iichiko 総合文化センター	4F	第 2 会場
薬事委員会主催夜間集会		19:00～21:00	大分オアシスタワーホテル	5F	第 4 会場
社会活動委員会主催夜間集会		19:00～21:00	大分オアシスタワーホテル	21F	第 7 会場
6 月 1 日 (土) 〈学術集会 第 3 日目〉					
教育委員会		7:00～ 8:00	大分オアシスタワーホテル	20F	シリウス
専門医委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	アトラス
産科医療補償制度検討委員会		〃	大分オアシスタワーホテル	20F	ローズ
共同研究支援委員会主催モーニング教育セミナー		7:30～10:00	大分オアシスタワーホテル	21F	第 7 会場
長期計画委員会主催シンポジウム		7:30～ 9:50	全労済ソレイユ	3F	第 9 会場
第 56 回総会プログラム委員会		12:20～13:30	大分オアシスタワーホテル	3F	第 5 会場

	第 2 会場	第 3 会場	その他
	iiichiko 総合文化センター	大分オアシスタワーホテル	
	4F 音の泉ホール	5F 孔雀 A	20F シリウス
11:00			
12:00		実践教育セミナー 1 11:00 ~ 14:00 新生児脳波・aEEG 判読セミナー: 基礎と応用 座長: 奥村彰久 夏目 淳	理事会 11:00 ~ 14:30
13:00			
14:00			
15:00		実践教育セミナー 2 14:00 ~ 17:00 小児科医のための神経画像 2013 座長: 高梨潤一 大場 洋	
16:00	評議員会 (第 7 回社員総会) 15:00 ~ 17:00		
17:00			
18:00		夜間集会 17:00 ~ 19:00 小児神経専門医, 研修制度と, その専門性を考える 座長: 大野耕策	
19:00			

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	iichiko 総合文化センター		大分オアシスタワーホテル	
	1F グランシアタ	4F 音の泉ホール	5F 孔雀 A	5F 孔雀 B
8:00				
9:00	開会式 8:30 ~ 8:40			
	会長講演 8:40 ~ 9:10 West 症候群と結節性硬化症、 その基礎病態と成因、治療法の改善 講演：泉 達郎 座長：阿部敏明			
	特別講演 1 9:10 ~ 9:40 大分の地域医療と小児医療 講演：広瀬勝貞 座長：桃井真里子			
10:00		English Session 1 9:40 ~ 10:30 (E-001 ~ E-005) 座長：Shinichi Nijima Takeo Kubota	English Session 2 9:40 ~ 10:30 (E-006 ~ E-010) 座長：Katsuhiko Kobayashi Mitsuhiro Kato	English Session 3 9:40 ~ 10:30 (E-011 ~ E-015) 座長：Junichi Oki Eiji Nanba
11:00	基調講演 10:40 ~ 11:55 ガラクトースの世界： β-ガラクトシダーゼ欠損症 の病態と治療 講演：鈴木義之 座長：大野耕策	精神障害、行動異常 10:40 ~ 11:30 (O-001 ~ O-005) 座長：金澤 治 宮尾益知	代謝変性疾患 1 10:40 ~ 11:40 (O-006 ~ O-011) 座長：岡 明 井田博幸	急性脳炎・脳症 1 10:40 ~ 11:30 (O-012 ~ O-016) 座長：布井博幸 久保田雅也
12:00				
13:00			ランチョンセミナー 1 12:00 ~ 13:00 てんかん診療 up to date 一患者の QOL マネジメントを中心に 講演：久保田英幹 座長：大塚頌子	ランチョンセミナー 2 12:00 ~ 13:00 小児の難治性てんかんのトピックス 講演：小国弘量 座長：高橋幸利
14:00	招待講演 1 13:00 ~ 14:10 Education in child neurology : current and future challenges 講演：Paolo Curatolo 座長：小国弘量			
15:00	招待講演 2 (瀬川プログラム) 14:10 ~ 15:20 Fukuyama congenital muscular dystrophy 講演：Kevin P. Campbell 座長：大澤真木子	シンポジウム 1 14:10 ~ 16:30 自閉症の神経科学研究 座長：原 寿郎 久保田健夫	シンポジウム 2 14:10 ~ 16:30 DNA 修復障害と神経変性 座長：林 雅晴 杉田克生	シンポジウム 3 14:10 ~ 16:30 乳児 catastrophic epilepsy の 外科適応基準と評価 座長：大槻泰介 川合謙介
16:00	教育講演 1 15:20 ~ 16:30 福山型筋ジストロフィー Fukutin の発見・病態から、治療をめざして 講演：戸田達史 座長：松尾雅文			
17:00	特別講演 2 16:30 ~ 17:40 前野良沢とパイオニア精神 講演：川島真人 座長：高橋孝雄			
18:00		ポスター口演： 発達障害検査/発達障害の療育・支援 17:10 ~ 18:25 (P-001 ~ P-021) 座長：中村みほ 池田俊郎		
19:00	Poster on site 会場：iichiko 総合文化センター 中会議室 1(4F)/中会議室 2(4F)/小会議室 1(4F)/県民ギャラリー(B1F) 18:30 ~ 19:10			
20:00			会員懇親会 19:10 ~ 21:10	
21:00				
22:00				

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場
	大分オアシスタワーホテル			全労済ソレイユ	
	3F 紅梅 A	3F 紅梅 B	21F エトワール	7F カトレア	3F 牡丹
8:00					
9:00					
10:00	English Session 4 9:40 ~ 10:30 (E-016 ~ E-020) 座長: Nobuyuki Shimozawa Kazuhiro Haginoya	English Session 5 9:40 ~ 10:30 (E-021 ~ E-025) 座長: Toshisaburo Nagai Akira Oka			
11:00	てんかん・けいれん 1 10:40 ~ 11:40 (O-017 ~ O-022) 座長: 小国弘量 山本 仁	脳性麻痺・療育 1 10:40 ~ 11:40 (O-040 ~ O-045) 座長: 小沢 浩 麻生幸三郎	新生児 10:40 ~ 11:40 (O-058 ~ O-063) 座長: 奥村彰久 前田知己	筋 1 10:40 ~ 11:40 (O-064 ~ O-069) 座長: 石川幸辰 松尾宗明	発達障害検査 10:40 ~ 11:40 (O-086 ~ O-091) 座長: 藤井達哉 大谷宜伸
12:00	ランチョンセミナー 3 12:00 ~ 13:00 発作コントロールにおける 抗てんかん薬の整理の重要性 講演: 下野昌幸 座長: 齋藤伸治	ランチョンセミナー 4 12:00 ~ 13:00 小児科領域における 新規抗てんかん薬の位置づけ 講演: 白石秀明 座長: 大澤真木子	ランチョンセミナー 5 12:00 ~ 13:00 注意欠如・多動性障害 (ADHD)の生物学 講演: 根来秀樹 座長: 松石豊次郎	ランチョンセミナー 6 12:00 ~ 13:00 ADHD 治療薬の効果 —神経生理学的所見からの検討— 講演: 荒木章子 座長: 宮島 祐	
13:00					
14:00					
15:00	てんかん・けいれん 2 14:10 ~ 15:10 (O-023 ~ O-028) 座長: 鈴木正義 白石秀明	脳性麻痺・療育 2 14:10 ~ 15:10 (O-046 ~ O-051) 座長: 玉井 浩 石川悠加	シンポジウム 4 14:10 ~ 16:30 地域医療における小児神経 科の貢献: 小児神経疾患, 発達障害, 在宅医療, 重症 心身障害児医療 座長: 南 武嗣 石崎朝世	不随意運動, 基底核 14:10 ~ 15:00 (O-070 ~ O-074) 座長: 遠山 潤 木村一恵	学習障害 14:10 ~ 15:30 (O-092 ~ O-099) 座長: 大野雅樹 田角 勝
16:00	てんかん・けいれん 3 15:10 ~ 16:10 (O-029 ~ O-034) 座長: 花井敏男 師田信人	脳性麻痺・療育 3 15:10 ~ 16:10 (O-052 ~ O-057) 座長: 三浦清邦 平澤恭子		発達障害の療育・支援 1 15:00 ~ 15:50 (O-075 ~ O-079) 座長: 小野次朗 山下裕史朗	自律神経, 頭痛 15:30 ~ 16:10 (O-100 ~ O-103) 座長: 神山 潤 藤田之彦
17:00	てんかん・けいれん 4 16:10 ~ 17:00 (O-035 ~ O-039) 座長: 山内秀雄 稲垣真澄			発達障害の療育・支援 2 15:50 ~ 16:50 (O-080 ~ O-085) 座長: 相原正男 伊予田邦昭	
18:00	ポスター口演: てんかん・けいれん 1 17:10 ~ 18:25 (P-022 ~ P-046) 座長: 前垣義弘 石崎義人	ポスター口演: 発達障害一般 17:10 ~ 18:25 (P-047 ~ P-069) 座長: 森本武彦 岩松浩子	ポスター口演: 奇形, 染色体異常/発達 17:10 ~ 18:25 (P-070 ~ P-094) 座長: 西村 陽 福島直喜	ポスター口演: 脳性麻痺・療育 1/血管障害/ 脳外科領域/不随意運動, 基底核/その他 17:10 ~ 18:25 (P-095 ~ P-118) 座長: 大府正治 福田冬季子	ポスター口演: 電気生理/画像/遺伝 17:10 ~ 18:25 (P-119 ~ P-142) 座長: 安藤直樹 犬塚 幹
19:00					
20:00					
21:00					
22:00					

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	iichiko 総合文化センター		大分オアシスタワーホテル	
	1F グランシアタ	4F 音の泉ホール	5F 孔雀 A	5F 孔雀 B
7:00			テーマ企画 7:00 ~ 9:00 小児神経科 臨床検討会 —あなたは Super Child Neurologist(sCN) 座長: 花井敏男 松石豊次郎	
8:00				
9:00	教育講演 2 9:00 ~ 10:15 神経—心奇形連鎖: Noonan 症候群類縁疾患における, RAS-MAPK シグナル伝達経路の関与 講演: 青木洋子 座長: 松石豊次郎	シンポジウム 5 8:00 ~ 10:20 神経免疫, 脱髄性疾患, 感染, 予防接種副反応 座長: 布井博幸 市山高志		シンポジウム 6 8:00 ~ 10:20 筋ジストロフィーの治療戦略: 国際ガイドラインをふまえて 座長: 埜中征哉 松尾雅文
10:00				
11:00	教育講演 3 10:15 ~ 11:30 Epilepsy surgery for children with tuberous sclerosis complex 講演: 大坪 宏 座長: 須貝研司	発達障害一般 1 10:20 ~ 11:20 (O-104 ~ O-108) 座長: 石崎朝世 森 健治	感染, 免疫(急性脳炎・脳症を除く) 1 10:20 ~ 11:20 (O-114 ~ O-119) 座長: 細矢光亮 吉良龍太郎	発達 10:20 ~ 11:30 (O-120 ~ O-126) 座長: 小川 厚 糸見和也
12:00		発達障害一般 2 11:10 ~ 12:00 (O-109 ~ O-113) 座長: 小枝達也 家島 厚		
13:00			ランチョンセミナー 7 12:00 ~ 13:00 Molecular pathophysiology and targeted therapy of tuberous sclerosis complex 講演: Davida Neal Franz 座長: 水口 雅	ランチョンセミナー 8 12:00 ~ 13:00 小児てんかん診療の実際 —ビデオ脳波同時記録の役割— 講演: 遠山 潤 座長: 新島新一
14:00	会員総会 13:00 ~ 13:45 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演 13:45 ~ 14:10 座長: 高橋孝雄 2013 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator 14:10 ~ 14:20 座長: 藤井克則 The 2013 JSCN International Educational Fellowship (2013 年日本小児神経学会国際教育助成) 14:20 ~ 14:30 座長: 藤井克則			
15:00	招待講演 3 14:30 ~ 15:45 The use of NIRS in the neonatal intensive care unit. From physiology to monitoring 講演: Gunnar Naulaers 座長: 新島新一	シンポジウム 8 14:30 ~ 16:50 医療過疎地域における震災からの復興 —小児医療と子どものメンタルヘルス と発達障害児医療支援 座長: 永井利三郎 千田勝一	シンポジウム 9 14:30 ~ 16:50 小児がん長期生存者における 中枢神経病変の評価と予防 座長: 石田也寸志 河野嘉文	シンポジウム 10 14:30 ~ 16:50 難治性てんかんの病態を探る: 分子遺伝学, 病理, 免疫, 代謝異常, 画像, 電気生理 座長: 高橋孝雄 廣瀬伸一
16:00	教育講演 4 15:45 ~ 17:00 小児てんかん原性病巣の外科病理 —ビジュアルに示す— 講演: 柿田明美 座長: 水口 雅			
17:00				
18:00		ポスター口演: てんかん・けいれん 2 17:00 ~ 18:15 (P-143 ~ P-160) 座長: 吉永治美 秋山倫之	ポスター口演: 脳性麻痺・療育 2 17:00 ~ 18:15 (P-161 ~ P-185) 座長: 長尾秀夫 佐藤圭右	ポスター口演: 代謝変性疾患 17:00 ~ 18:15 (P-186 ~ P-205) 座長: 榎日出夫 里 龍晴
19:00	Poster on site 会場: iichiko 総合文化センター 中会議室 1(4F)/中会議室 2(4F)/小会議室 1(4F)/県民ギャラリー(B1F) 18:20 ~ 19:00			
20:00	B&D 編集委員会主催 B&D セミナー 19:00 ~ 21:00 英語で論文を書こう! パート 3 座長: 加我牧子	産科医療補償制度検討委員会・ 日本医療機能評価機構主催 公開セミナー 19:00 ~ 21:00 産科医療補償制度の現状と 問題点に関する実践セミナー 座長: 須貝研司 根津敦夫	イブニングセミナー 1 19:00 ~ 20:00 Dravet 症候群の臨床像 —軽症例と典型例の長期経過と 新規抗てんかん薬を用いた治療— 講演: 坂内優子 座長: 竹内義博	薬事委員会主催夜間集会 19:00 ~ 21:00 適応外使用薬剤の解決に向けて 今我々ができる事—発達障害に 対する適応外使用薬剤と今後の 適応承認獲得への実践を探る 座長: 大澤真木子 林 雅晴
21:00				

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場
	大分オアシスタワーホテル			全労済ソレイユ	
	3F 紅梅 A	3F 紅梅 B	21F エトワール	7F カトレア	3F 牡丹
7:00					
8:00					
9:00	結節性硬化症教育研究セミナー 8:30 ~ 9:30 mTOR inhibition in tuberous sclerosis: A possible global treatment for a multisystemic disease 講演: Paolo Curatolo 座長: 岡 明		シンポジウム 7 8:00 ~ 10:20 新生児神経学的モニタ リングと長期予後 座長: 新島新一 夏目 淳	神経遺伝病治療戦略 セミナー 9:00 ~ 11:30 ニーマン・ピック病 C 型 への新たな一歩 講演: 二宮治明 酒井規夫 戸川雅美 座長: 鈴木邦彦	
10:00					
11:00	電気生理 (脳波, 筋電図, 脳磁図など) 10:20 ~ 11:00 (O-127 ~ O-130) 座長: 後藤一也, 宮島 祐 画像 11:00 ~ 11:40 (O-131 ~ O-134) 座長: 宇都宮英綱, 大場 洋	てんかん・けいれん 5 10:20 ~ 11:10 (O-150 ~ O-154) 座長: 今高城治 岡 牧郎 てんかん・けいれん 6 11:10 ~ 11:50 (O-155 ~ O-158) 座長: 南 武嗣, 岩崎俊之	急性脳炎・脳症 2 10:20 ~ 11:50 (O-172 ~ O-180) 座長: 高橋幸利 長村敏生		遺伝 1 10:20 ~ 11:20 (O-209 ~ O-214) 座長: 山本俊至 齋藤伸治
12:00	ランチョンセミナー 9 12:00 ~ 13:00 小児神経疾患にともなう 内分泌代謝異常の診療 講演: 依藤 亨 座長: 廣瀬伸一	ランチョンセミナー 10 12:00 ~ 13:00 発作症状と作用機序に基づく 難治性部分てんかんの薬剤選択 講演: 須貝研司 座長: 館野昭彦	ランチョンセミナー 11 12:00 ~ 13:00 重症心身障害児(者)施設の 現状と入所者の栄養管理 (微量栄養素欠乏)について 講演: 木村昭彦 座長: 玉井 浩	ランチョンセミナー 12 12:00 ~ 13:00 臨床に役立つ治療可能な ライソゾーム病の診断ポイント 講演: 伊藤秀一, 濱崎孝史, 成田 綾, 石垣景子 座長: 井田博幸	ランチョンセミナー 13 12:00 ~ 13:00 ITB 療法: 国内市販後成績と 痙攣治療に果たす役割 講演: 師田信人 座長: 根津敦夫
13:00					
14:00					
15:00	末梢神経 14:30 ~ 15:20 (O-135 ~ O-139) 座長: 岩崎信明 作田亮一 発達障害一般 3 15:20 ~ 16:10 (O-140 ~ O-144) 座長: 真田 敏 安元佐和 発達障害一般 4 16:10 ~ 17:00 (O-145 ~ O-149) 座長: 岩崎裕治 森本昌史	てんかん・けいれん 7 14:30 ~ 15:40 (O-159 ~ O-165) 座長: 今村 淳 齋藤真木子 てんかん・けいれん 8 15:40 ~ 16:40 (O-166 ~ O-171) 座長: 須貝研司 津留 陽	急性脳炎・脳症 3 14:30 ~ 15:40 (O-181 ~ O-187) 座長: 水口 雅 足立昌夫 急性脳炎・脳症 4 15:40 ~ 16:50 (O-188 ~ O-194) 座長: 森内浩幸 千代延友裕	代謝変性疾患 2 14:30 ~ 15:40 (O-195 ~ O-201) 座長: 佐々木征行 呉 繁夫 代謝変性疾患 3 15:40 ~ 16:50 (O-202 ~ O-208) 座長: 杉江秀夫 竹島泰弘	脳性麻痺・療育 4 14:30 ~ 15:40 (O-215 ~ O-221) 座長: 杉本健郎 栗原まな 脳性麻痺・療育 5 15:40 ~ 16:40 (O-222 ~ O-227) 座長: 高田 哲 米山 明
16:00					
17:00	ポスター口演: 感染, 免疫/形態・病理/中毒 17:00 ~ 18:15 (P-206 ~ P-227) 座長: 鳥巢浩幸 和田雅臣	ポスター口演: 学習障害/新生児/精神障害, 行動異常/自律神経, 頭痛 17:00 ~ 18:15 (P-228 ~ P-252) 座長: 瀬島 斉 前田寿幸	ポスター口演: 急性脳炎・脳症 17:00 ~ 18:15 (P-253 ~ P-275) 座長: 岸 高正 石井清久	ポスター口演: 末梢神経/筋/腫瘍 17:00 ~ 18:15 (P-276 ~ P-298) 座長: 永光信一郎 井上貴仁	
18:00					
19:00					
20:00	第 7 回子どもの眠り研究会 19:00 ~ 21:00	イブニングセミナー 2 19:00 ~ 20:00 小児領域における高アンモニア 血症のマネージメント 講演: 村山 圭 座長: 山下裕史朗	社会活動委員会 主催夜間集会 19:00 ~ 21:00 介護保険法等改正後の医療 的ケア児(者)支援の課題 座長: 杉本健郎	福山型先天性筋ジストロフィー 教育研究セミナー 19:00 ~ 20:00 Patient fibroblast alpha-dystroglycan glycosylation studies: A versatile tool for developing therapies to treat dystroglycanopathies 講演: Kevin P. Campbell 座長: 松尾雅文	
21:00					

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	iichiko 総合文化センター		大分オアシスタワーホテル	
	1F グランシアタ	4F 音の泉ホール	5F 孔雀 A	5F 孔雀 B
7:00				
8:00				
9:00			シンポジウム 11 7:30 ~ 9:50 ゲノムの構造・機能から見た 発達障害疾患の病態理解 座長: 呉 繁夫 山本俊至	シンポジウム 12 7:30 ~ 9:50 発達障害医療のこれから —専門医—地域医療— 福祉・学校をどうつなぐか— 座長: 小枝達也 山下裕史朗
10:00	教育講演 5 9:30 ~ 10:45 発達障害と脳のシナプス形成 講演: 三品昌美 座長: 高橋幸利	腫瘍 9:00 ~ 10:20 (O-228 ~ O-235) 座長: 河野嘉文 末延聡一	奇形, 染色体異常 9:50 ~ 11:10 (O-243 ~ O-250) 座長: 新宅治夫 高橋 悟	感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) 2 9:50 ~ 10:40 (O-255 ~ O-259) 座長: 市山高志 島川修一
11:00	教育講演 6 10:45 ~ 12:00 早期発症てんかん性脳症の 遺伝学的解明 —次世代シーケンサーの活用— 講演: 才津浩智 座長: 廣瀬伸一	脳外科領域・形態, 病理・その他 10:20 ~ 11:30 (O-236 ~ O-242) 座長: 竹内義博 宮本雄策	血管障害 11:10 ~ 11:50 (O-251 ~ O-254) 座長: 伏木信次 小坂 仁	感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) 3 10:40 ~ 11:20 (O-260 ~ O-263) 座長: 瀧上達夫 加藤善一郎
12:00	閉会式 12:00 ~ 12:10			
13:00				
14:00	市民公開講座 13:00 ~ 16:00 大分県が進める“子育て満足度 日本一”—小児科医による貢献と 評価, 更なる小児医療の発展と 満足, 安心のために 座長: 阿南茂啓			
15:00				第 8 回 小児重症筋無力症研究会 13:00 ~ 17:00
16:00				
17:00				

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場
	大分オアシスタワーホテル			全労済ソレイユ	
	3F 紅梅A	3F 紅梅 B	21F エトワール	7F カトレア	3F 牡丹
7:00					
8:00	第 5 回小児免疫性 脳炎研究会 7:30 ~ 9:00		共同研究支援委員会主催 モーニング教育セミナー 7:30 ~ 10:00 第一部 共同研究支援課題報告 座長: 佐々木征行 杉江秀夫 第二部 急性脳症 (エキスパートに聞く) 「急性脳症をいかに理解 するか: 今後の研究 アプローチ」 座長: 山内秀雄 杉江秀夫		長期計画委員会主催 シンポジウム 7:30 ~ 9:50 神経とこころの発達: 基礎講座 座長: 埜中征哉 作田亮一
9:00	遺伝 2 9:00 ~ 9:40 (O-264 ~ O-267) 座長: 斎藤加代子 新井田要	筋 2 9:00 ~ 10:00 (O-279 ~ O-284) 座長: 川井 充 小牧宏文		急性脳炎・脳症 5 9:00 ~ 10:00 (O-301 ~ O-306) 座長: 清水教一 豊島光雄	
10:00	てんかん・けいれん 9 9:40 ~ 10:40 (O-268 ~ O-273) 座長: 荒木 敦 伊住浩史	筋 3 10:00 ~ 11:00 (O-285 ~ O-290) 座長: 穴倉啓子 後藤雄一	代謝変性疾患 4 10:00 ~ 10:50 (O-296 ~ O-300) 座長: 山口清次 亀井 淳	急性脳炎・脳症 6 10:00 ~ 10:50 (O-307 ~ O-311) 座長: 川上康彦 平林伸一	
11:00	てんかん・けいれん 10 10:40 ~ 11:30 (O-274 ~ O-278) 座長: 館野昭彦 藤本礼尚	筋 4 11:00 ~ 11:50 (O-291 ~ O-295) 座長: 木村重美 山形崇倫		急性脳炎・脳症 7 10:50 ~ 11:50 (O-312 ~ O-317) 座長: 藤井克則 稲葉雄二	
12:00					
13:00					
14:00					
15:00					
16:00					
17:00					



特別演題日程

S33 ~ S43

プログラム

S44 ~ S107

会長講演

- 5 月 30 日 (木) 8:40~9:10 第 1 会場
 座長 阿部敏明 (あしかがの森足利病院)
West 症候群と結節性硬化症, その基礎病態と成因, 治療法の改善
 泉 達郎 (大分大学小児科, 神経小児科)

特別講演 1

- 5 月 30 日 (木) 9:10~9:40 第 1 会場
 座長 桃井真里子 (国際医療福祉大学)
大分の地域医療と小児医療
 広瀬勝貞 (大分県知事)

特別講演 2

- 5 月 30 日 (木) 16:30~17:40 第 1 会場
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
前野良沢とバイオニア精神
 川島真人 (玄真堂理事長, 日本医史学会理事)

基調講演

- 5 月 30 日 (木) 10:40~11:55 第 1 会場
 座長 大野耕策 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
ガラクトースの世界: β -ガラクトシダーゼ欠損症の病態と治療
 鈴木義之 (東京都医学総合研究所)

日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演

- 5 月 31 日 (金) 13:45~14:10 第 1 会場
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

招待講演 1

- 5 月 30 日 (木) 13:00~14:10 第 1 会場
 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
Education in child neurology: current and future challenges
 Paolo Curatolo (The Pediatric Neurology Unit, Tor Vergata University Hospital of Rome, Rome, Italy)

招待講演 2 (瀬川プログラム)

- 5 月 30 日 (木) 14:10~15:20 第 1 会場
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
Fukuyama congenital muscular dystrophy
 Kevin P. Campbell (Howard Hughes Medical Institute, Department of Molecular Physiology and Biophysics, University of Iowa, Carver College of Medicine, Iowa City, IA, USA)

招待講演 3

- 5 月 31 日 (金) 14:30~15:45 第 1 会場
 座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
The use of NIRS in the neonatal intensive care unit. From physiology to monitoring
 Gunnar Naulaers (The Neonatal Intensive Care Unit, University Hospitals Leuven, Leuven, Belgium)

教育講演 1

- 5 月 30 日 (木) 15:20~16:30 第 1 会場
 座長 松尾雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部)
福山型筋ジストロフィー—Fukutin の発見・病態から, 治療をめざして
 戸田達史 (神戸大学大学院医学研究科神経内科学/分子脳科学)

教育講演 2

- 5 月 31 日 (金) 9:00~10:15 第 1 会場
 座長 松石豊次郎 (久留米大学小児科)
神経-心奇形連鎖: Noonan 症候群類縁疾患における, RAS-MAPK シグナル伝達経路の関与
 青木洋子 (東北大学医学部遺伝病学分野)

教育講演 3

5 月 31 日 (金) 10:15~11:30 第 1 会場

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

Epilepsy surgery for children with tuberous sclerosis complex

大坪 宏 (Division of Neurology, Clinical Neurophysiology, The Hospital for Sick Children, Department of Paediatrics, University of Toronto, Toronto, Canada)

教育講演 4

5 月 31 日 (金) 15:45~17:00 第 1 会場

座長 水口 雅 (東京大学発達医科学)

小児てんかん原性病巣の外科病理—ビジュアルに示す—

柿田明美 (新潟大学脳研究所病理学分野)

教育講演 5

6 月 1 日 (土) 9:30~10:45 第 1 会場

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

発達障害と脳のシナプス形成

三品昌美 (立命館大学, 東京大学名誉教授)

教育講演 6

6 月 1 日 (土) 10:45~12:00 第 1 会場

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)

早期発症てんかん性脳症の遺伝学的解明—次世代シーケンサーの活用—

才津浩智 (横浜市立大学医学部遺伝学)

シンポジウム 1: 自閉症の神経科学的研究

5 月 30 日 (木) 14:10~16:30 第 2 会場

座長 原 寿郎 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科))

久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学講座)

- 1) セクレチン変異マウスと環境要因から探る自閉症の発症機構
西島維知子 (東北大学大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター情報遺伝学分野)
- 2) 自閉症発症に関与する分子シグナルの探索
酒井康成 (九州大学小児科)
- 3) 自閉症の神経科学研究: レット症候群の治療に向けた生物学的研究
伊藤雅之 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)
- 4) 自閉症のエピジェネティックな理解
久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学講座)
- 5) 自閉症スペクトラム障害: 行動表現型の連続性と診断の重複についての最近の知見
神尾陽子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

シンポジウム 2: DNA 修復障害と神経変性

5 月 30 日 (木) 14:10~16:30 第 3 会場

座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所)

杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) 分子からみた色素性乾皮症, コケイン症候群の病態
森脇真一 (大阪医科大学皮膚科)
- 2) 色素性乾皮症とコケイン症候群: 神経変性の病態解明
林 雅晴 (東京都医学総合研究所)
- 3) 毛細血管拡張性運動失調症 (AT) 及び AT 類縁疾患の診断及び iPS 細胞を用いた病態解明へのアプローチ
金子節子 (東京医科歯科大学医学部発生発達病態学 (小児科))
- 4) 毛細血管拡張性運動失調症: 神経症状へのアプローチ
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 5) 小児期発症の脊髄小脳変性症: レビューと鑑別診断
小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

シンポジウム 3：乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価

5月30日(木) 14:10~16:30 第4会場

座長 大槻泰介(国立精神・神経医療研究センター脳神経外科)

川合謙介(東京大学医学系研究科脳神経外科)

- 1) 乳児破局てんかんの病因と臨床像—FACE study より—
小国弘量(東京女子医科大学小児科)
- 2) 乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価：小児内科の立場から
山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)
- 3) 乳児てんかん性脳症の治療と外科治療基準
今井克美(静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部)
- 4) 手術適応 West 症候群例における治療戦略：ACTH-Zn 療法せず，早期外科的介入が長期予後を改善する
岡成和夫^{1,2}，内山伸一¹，前田知己¹，泉 達郎¹(大分大学医学部小児科¹，トロント小児病院神経科²)
- 5) 乳児破局てんかんに対する切除外科の適応と予後
大槻泰介¹，高橋章夫¹，開道貴信¹，金子 裕¹，本田涼子²，齋藤貴志²，斎藤義朗²，中川栄二²，
須貝研司²，佐々木征行²
(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科¹，国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²)
- 6) 乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価へのコメント
須貝研司(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

シンポジウム 4：地域医療における小児神経科の貢献：小児神経疾患，発達障害，在宅医療，重症心身障害児医療

5月30日(木) 14:10~16:30 第7会場

座長 南 武嗣(たけのこ会みなみクリニック)

石崎朝世(公益社団法人発達協会王子クリニック)

- 1) 街角の小児神経科医
南 武嗣(たけのこ会みなみクリニック)
- 2) ニューロンから臨床そして社会へ—小児神経疾患の専門クリニックから—
野村芳子(瀬川小児神経学クリニック)
- 3) 開業医が行う障害児支援の取り組み
金原洋治(かねはら小児科)
- 4) 重症心身障害児・者の地域生活を支える小児神経科医の役割
穴倉啓子(社会福祉法人訪問の家朋診療所)
- ◎ 指定発言：過疎地域の小児神経科，都市部のキャリアオーバーしたてんかん患者フォロー，そして今後の課題
杉本健郎(すぎもとボーン・クリニック，社会活動委員会委員長)
- 5) 地域の小児医療・保健における小児科・小児神経専門医の果たすべき役割
是松聖悟(大分大学医学部地域医療・小児科)
- 6) 地域の発達障害にかかわる小児神経科医の仕事
石崎朝世(公益社団法人発達協会王子クリニック)

シンポジウム 5：神経免疫，脱髄性疾患，感染，予防接種副反応

5月31日(金) 8:00~10:20 第2会場

座長 布井博幸(宮崎大学小児科)

市山高志(鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)

- 1) Guillain-Barré 症候群
西本幸弘(国立病院機構和歌山病院小児科)
- 2) 中枢性感免疫疾患のサイトカイン動態
市山高志(鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)
- 3) 脱髄性疾患と予防接種副反応—予防接種後 ADEM—
鳥巢浩幸(九州大学病院総合周産期母子医療センター)
- 4) 中枢神経系自己免疫性脱髄疾患における抗リン脂質抗体の関与と基礎病態，治療法の検討
是松聖悟(大分大学医学部地域医療・小児科)

シンポジウム 6：筋ジストロフィーの治療戦略：国際ガイドラインをふまえて

5 月 31 日（金）8:00～10:20 第 4 会場

座長 埜中征哉（国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長）

松尾雅文（神戸学院大学総合リハビリテーション学部）

- 1) 筋ジストロフィーの治療の現状と今後の展開
小牧宏文（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- 2) 筋ジストロフィーのリハビリテーション
前野 崇，小林庸子（国立精神・神経医療研究センター病院リハビリテーション科）
- 3) 筋ジストロフィー標準的医療の均霑化に向けて
一 本邦のデュシェンヌ型筋ジストロフィー診療ガイドライン作成一
松村 剛（国立病院機構刀根山病院神経内科）
- 4) Duchenne 型筋ジストロフィーの心不全管理
田村拓久（国立病院機構東埼玉病院神経内科）
- 5) 筋ジストロフィー患者のマネジメント
石川悠加（国立病院機構八雲病院小児科）
- 6) Duchenne 型筋ジストロフィーの新たな治療法の開発
竹島泰弘（神戸大学大学院医学研究科小児科）

シンポジウム 7：新生児神経学的モニタリングと長期予後

5 月 31 日（金）8:00～10:20 第 7 会場

座長 新島新一（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科小児科学）

- 1) 新生児脳障害と中枢神経モニタリング
奥村彰久（順天堂大学医学部小児科）
- 2) 新生児脳低温療法中の aEEG と長期予後
清水正樹（埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科）
- 3) NICU における早産児脳波モニタリングと予後
城所博之¹，夏目 淳²，早川昌弘³
（名古屋大学医学部附属病院小児科¹，名古屋大学大学院医学研究科小児科学²，名古屋大学医学部附属
病院総合周産期母子医療センター新生児部門³）
- 4) 新生児の自発運動評価：脳機能評価指標としての可能性
前田知己（大分大学医学部小児科，神経小児科）
- 5) Neurological monitoring in neonates and their long term prognosis
Gunnar Naulaers（The Neonatal Intensive Care Unit, University Hospitals Leuven, Leuven, Belgium）

シンポジウム 8：医療過疎地域における震災からの復興—小児医療と子どものメンタルヘルスと発達障害児医療支援

5 月 31 日（金）14:30～16:50 第 2 会場

座長 永井利三郎（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

千田勝一（岩手医科大学小児科）

- 1) 東日本大震災支援委員会の取り組みの現状と課題
永井利三郎（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
- 2) 小児医療の現場から
測向 透（岩手県立大船渡病院小児科）
- 3) 被災地における障害児者の医療と生活の今後の課題
田中総一郎（東北大学小児科）
- 4) 被災地の子どものメンタルヘルス（精神科の立場から）
増子博文（福島県立医科大学医学部神経精神医学講座）

シンポジウム 9：小児がん長期生存者における中枢神経病変の評価と予防

5 月 31 日（金）14:30～16:50 第 3 会場

座長 石田也寸志（愛媛県立中央病院小児科）

河野嘉文（鹿児島大学医歯学総合研究科小児科）

- 1) 小児がん経験者の晩期合併症：シンポジウムのイントロダクション
石田也寸志（愛媛県立中央病院小児科）
- 2) 小児急性白血病の晩期障害：中枢神経系障害の発症基礎病態と，対応策
末延聡一^{1,2}，岡本知子^{1,2}，浅尾 福^{2,3}，清田晃生^{2,3}，秋吉健介²，泉 達郎²
（大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業¹，大分大学医学部小児科，神経小児科²，
大分大学医学部児童精神科³）

- 3) 小児脳腫瘍患者における健康関連 QOL
大園秀一 (久留米大学小児科)
- 4) 造血幹細胞移植に関連する神経合併症
豊島光雄 (鹿児島大学医学部小児科)
- 5) Childhood Cancer Survivors (CCS) への成長ホルモン・性ホルモン補充療法
横谷 進 (国立成育医療研究センター生体防御系内科)

シンポジウム 10：難治性てんかんの病態を探る：分子遺伝学，病理，免疫，代謝異常，画像，電気生理

5 月 31 日 (金) 14:30～16:50 第 4 会場

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科，福岡大学てんかん分子病態研究所)

- 1) 大脳皮質の発生と難治性てんかん
高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 2) 難治性てんかんの分子遺伝学
加藤光広 (山形大学医学部小児科)
- 3) 難治性てんかんの病態を探る—免疫
高橋幸利，山口解冬 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- 4) 鉄リサイクル異常によるてんかん病理
新井信隆 (東京都医学総合研究所脳病理標本リサーチセンター，東京都立神経病院検査科)
- 5) 難治小児てんかんの電気生理—特に異常高周波活動と病態との関係について—
小林勝弘¹，東田好広^{1,2}
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学分野 (岡山大学病院小児神経科)¹，徳島大学病院小児科²)

シンポジウム 11：ゲノムの構造・機能から見た発達障害疾患の病態理解

6 月 1 日 (土) 7:30～9:50 第 3 会場

座長 呉 繁夫 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

- 1) 発達障害疾患のゲノム解析—これまでの研究の流れ
呉 繁夫 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
- 2) レット症候群の病態理解：病因遺伝子 (MECP2, CDKL5, FOXP1) 変異に関連した臨床的特徴について
高橋 悟 (旭川医科大学医学部小児科)
- 3) X；15 転座から推測する染色体機能異常に起因する発達障害
坂爪 悟 (獨協医科大学越谷病院小児科)
- 4) 自閉性障害の多様な遺伝学的病態とシナプス関連病因遺伝子の解析
山形崇倫¹，松本 歩¹，永田浩一²
(自治医科大学小児科¹，愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部²)
- 5) 発達障害に関わるゲノム構造異常と疾患感受性遺伝子
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

シンポジウム 12：発達障害医療のこれから—専門医—地域医療—福祉・学校をどうつなぐか—

6 月 1 日 (土) 7:30～9:50 第 4 会場

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
山下裕史朗 (久留米大学小児科)

- 1) 発達障害医療の将来展望
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科，国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)
- 2) 地域医療と専門医療機関との効果的連携をめざして
山下裕史朗 (久留米大学小児科)
- 3) 発達障害の子どもたちの支援に関わる教育と医療の連携の必要性
—地域における教員と一般臨床医とを結ぶ試み—
小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)
- 4) 発達障害支援における福祉と専門医療機関の役割
清田晃生 (大分大学医学部附属病院小児科・神経小児科・児童精神科)
- 5) 発達障害医療のこれから：専門医—地域医療—福祉・学校をどうつなぐか
上野一彦 (大学入試センター入学者選抜機構)

結節性硬化症教育研究セミナー：大分県，大分大学医学部小児科

5 月 31 日（金）8:30～9:30 第 5 会場

座長 岡 明（東京大学大学院小児科）

mTOR inhibition in tuberous sclerosis : A possible global treatment for a multisystemic disease

Paolo Curatolo (The Pediatric Neurology Unit, Tor Vergata University Hospital of Rome, Rome, Italy)

福山型先天性筋ジストロフィー教育研究セミナー：大分県，大分大学医学部小児科

5 月 31 日（金）19:00～20:00 第 8 会場

座長 松尾雅文（神戸学院大学総合リハビリテーション学部）

Patient fibroblast alpha-dystroglycan glycosylation studies : A versatile tool for developing therapies to treat dystroglycanopathies

Kevin P. Campbell (Howard Hughes Medical Institute, Department of Molecular Physiology and Biophysics, University of Iowa, Carver College of Medicine, Iowa City, IA, USA)

テーマ企画：小児神経科 臨床検討会—あなたは Super Child Neurologist (sCN)

5 月 31 日（金）7:00～9:00 第 3 会場

座長 花井敏男（福岡市立心身障がい福祉センター）

松石豊次郎（久留米大学小児科）

1) 右中大脳動脈領域に多発性脳梗塞を呈した 3 歳女児例

工藤可奈子，藤井克則，高木敦子，塩浜 直，内川英紀，河野陽一
（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

2) 突然の意識障害で発症した 1 歳女児

松岡剛司，上原太一，須貝みさき，比屋根真彦，大府正治
（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科）

3) 発熱，嘔吐，異常行動，意識障害で発症しショック，多臓器不全に至った 9 歳男児例

丸山慎介¹，豊島光雄¹，酒井 勲²，河野嘉文¹（鹿児島大学病院小児科¹，国分生協病院小児科²）

4) 鼻翼低形成と難聴，出生前より成長障害，筋緊張低下を認め，出生後，更に進行性増悪を呈した女児例

内山伸一，佐藤奈々江，小林 修，中嶋美咲，宮原弘明，泉 達郎（大分大学小児科，神経小児科）

B & D 編集委員会主催 B & D セミナー：英語で論文を書こう！ パート 3

5 月 31 日（金）19:00～21:00 第 1 会場

座長 加我牧子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

1) Hint for academic use of medical journal articles

長房 望（エルゼビア・ジャパン株式会社ヘルスサイエンス学会誌出版部）

2) 無手勝流英文論文の書き方：オパ！ シンイチ・スタイル

廣瀬伸一（福岡大学医学部小児科）

3) How to improve your article B & D Session

司会：高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）

産科医療補償制度検討委員会・日本医療機能評価機構主催公開セミナー：産科医療補償制度の現状と問題点に関する実践セミナー

5 月 31 日（金）19:00～21:00 第 2 会場

座長 須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

根津敦夫（横浜療育医療センター小児神経科）

1) 運営組織からみた審査および原因分析の現状と問題点，補償対象と補償対象外の具体例，制度の見直しの動向

上田 茂（日本医療機能評価機構）

2) 診断書作成医からみた現状，問題点と要望 1

飯田浩一（大分県立病院総合周産期母子医療センター新生児科）

3) 診断書作成医からみた現状，問題点と要望 2（適応拡大の提案）

福島直喜（大分市医師会立アルメイダ病院小児科）

4) 補償審査委員からみた現状，問題点と効果的な診断書作成の助言

岡 明（東京大学医学部小児科）

5) 産科開業医からみた本制度の意義，現状，問題点と要望

岩永成晃（岩永レディースクリニック，大分県産婦人科医会）

薬事委員会主催夜間集会：適応外使用薬剤の解決に向けて今我々ができる事—発達障害に対する適応外使用薬剤と今後の適応承認獲得への実践を探る

5月31日（金）19:00～21:00 第4会場

座長 大澤真木子（東京女子医科大学小児科）

林 雅晴（東京都医学総合研究所）

1) 日本における未承認薬・適応外薬についての概論

伊藤 進（香川大学医学部小児科）

2) 小児の発達障害に対する薬物療法について

中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

3) 適応外使用薬の公知申請の進め方

藤井達哉（滋賀県立小児保健医療センター）

4) 筋ジストロフィー臨床試験ネットワーク

清水玲子^{1,2}, 木村 円¹, 尾方克久³, 小牧宏文⁴

（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター¹, 東京女子医科大学病院小児科², 国立病院機構東埼玉病院臨床研究部神経内科³, 国立精神・神経医療研究センター⁴）

社会活動委員会主催夜間集会：介護保険法等改正後の医療的ケア児（者）支援の課題

5月31日（金）19:00～21:00 第7会場

座長 杉本健郎（すぎもとボーン・クリニック，社会活動委員会委員長）

1) 学齢期の今後の課題

北住映二（心身障害児総合医療療育センター小児科）

2) 医療的ケア児者マッピングからみた地域支援の課題

杉本健郎（すぎもとボーン・クリニック，社会活動委員会委員長）

共同研究支援委員会主催モーニング教育セミナー：

第一部「共同研究支援課題報告」

6月1日（土）7:30～10:00 第7会場

座長 佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

杉江秀夫（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科）

1) 孔脳症および脳（室）内出血の責任遺伝子の解明

萩野谷和裕¹, 才津浩智², 荒井 洋³, 小坂 仁⁴, 加藤光広⁵, 児玉真理子⁶, 横地健治⁷

（拓桃医療療育センター¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝科², 森之宮病院小児神経科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 山形大学小児科⁵, 心身障害児総合医療療育センター小児科⁶, 聖隷三方原病院小児神経科・聖隷おおぞら療育センター⁷）

2) 傍シルビウス裂症候群の実態調査と診断基準の作成に関する研究

加藤光広¹, 白石秀明², 遠山 潤³, 小倉加恵子⁴, 荒井 洋⁵, 鳥巢浩幸⁶, 加我牧子⁷

（山形大学医学部小児科¹, 北海道大学病院小児科², 国立病院機構西新潟中央病院小児科³, 国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室⁴, 大道会森之宮病院小児神経科⁵, 九州大学病院小児科⁶, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所⁷）

3) グルコストランスポーター1欠損症候群の実態と診断治療指針に関する研究

小国弘量¹, 伊藤 康¹, 高橋 悟², 夏目 淳³, 柳原恵子⁴, 下野九理子⁵, 藤井達哉⁶

（東京女子医科大学小児科¹, 旭川医科大学小児科², 名古屋大学小児科³, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁴, 大阪大学小児科⁵, 滋賀県立小児保健医療センター⁶）

4) 片側けいれん片麻痺てんかん症候群の遺伝的原因解明

山崎佐和子¹, 遠山 潤², 石井敦士³, 廣瀬伸一³

（新潟市市民病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院小児科², 福岡大学医学部小児科³）

第二部 急性脳症（エキスパートに聞く）「急性脳症をいかに理解するか：今後の研究アプローチ」

座長 山内秀雄（埼玉医科大学小児科）

杉江秀夫（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科）

1) 小児急性脳症のバイオマーカー

山内秀雄（埼玉医科大学小児科）

2) 急性脳炎・脳症における脳波の意義

奥村彰久（順天堂大学医学部小児科）

3) 急性脳症の包括的遺伝子解析

水口 雅¹, 高嶋幸男², 廣瀬伸一³, 山内秀雄⁴, 伊藤雅之⁵, 塩見正司⁶, 久保田雅也⁷, 高梨潤一⁸, 佐久間啓⁹

（東京大学大学院医学系研究科発達医学¹, 柳川療育センター², 福岡大学医学部小児科³, 埼玉医科大学医学部小児科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所⁵, 愛染橋病院⁶, 国立成育医療研究セ

ンター病院神経内科⁷，亀田メディカルセンター小児科⁸，東京都医学総合研究所脳発達・再生研究分野⁹）

- 4) 感染症関連急性脳症に対する各種治療の有効性の検証—「積み立て型」継続的症例集積の必要性
後藤知英（東京都立小児総合医療センター神経内科）

長期計画委員会主催シンポジウム：神経とこころの発達：基礎講座

6月1日（土）7:30～9:50 第9会場

座長 榎中征哉（国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長）
作田亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）

- 1) 小児神経疾患診療における心理学的なアプローチの実際
作田亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）
- 2) 胎児から見た神経行動発達
小西行郎（同志社大学大学院心理学科赤ちゃん学研究センター）
- 3) 選好注視法を用いた乳児発達健診課題
金沢 創（日本女子大学人間社会学部心理学科）
- 4) 臨床神経心理学と神経精神疾患
松井三枝（富山大学大学院医学薬学研究部（医学）心理学）

2013 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator

5月31日（金）14:10～14:20 第1会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

Clinic-neurologic status of HIV infected children depending on the routes of infection

Mirzaeva Dilnoza Farkhadovna（Tashkent Medical Institute of Postgraduate Education, Tashkent, Uzbekistan）

The 2013 JSCN International Educational Fellowship（2013 年日本小児神経学会国際教育助成）

5月31日（金）14:20～14:30 第1会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

Electroretinographic (ERG) responses in epileptic children treated with vigabatrin

Mohammad Kazem Bakhshandeh Bali（Mofid Pediatrics Educational Hospital, Tehran, Iran）

夜間集会：小児神経専門医，研修制度と，その専門性を考える

5月29日（水）17:00～19:00 第3会場

座長 大野耕策（鳥取大学医学部脳神経小児科）

- 1) 小児神経専門医に求められる条件とは
高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）
- 2) 小児神経学の専門医教育
佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- 3) 大分大学小児科，神経小児科における専門医研修制度と地域医療，研究への貢献
泉 達郎（大分大学小児科，神経小児科）
- 4) 日本の専門医制度における小児神経専門医
桃井眞里子（国際医療福祉大学）

実践教育セミナー 1

5月29日（水）11:00～14:00 第3会場

新生児脳波・aEEG 判読セミナー：基礎と応用

座長 奥村彰久（順天堂大学医学部小児科）
夏目 淳（名古屋大学大学院医学研究科小児科学）

- 1) 正期産児の脳波・aEEG：正常と異常
久保田哲夫（安城更生病院小児科）
- 2) 早産児の脳波・aEEG：正常と異常
奥村彰久（順天堂大学医学部小児科）
- 3) 新生児発作の脳波・aEEG
城所博之（名古屋大学医学部附属病院）

実践教育セミナー 2

5月29日（水）14:00～17:00 第3会場

小児科医のための神経画像 2013

座長 高梨潤一（亀田メディカルセンター小児科）
大場 洋（帝京大学放射線科）

- 1) MRI でみる脳解剖
北島美香 (熊本大学医学部附属病院中央放射線部)
- 2) 基底核・間脳病変の画像診断
大場 洋 (帝京大学放射線科)
- 3) 脳幹, 小脳病変の画像診断
森 壱 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座放射線診断学分野)
- 4) 小児神経領域の核医学
松田博史 (国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター)
- 5) 小児神経放射線 Topics
高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)

神経遺伝病治療戦略セミナー：アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

- 5 月 31 日 (金) 9:00~11:30 第 8 会場
ニーマン・ピック病 C 型への新たな一歩
座長 鈴木邦彦 (ノースカロライナ大学神経内科名誉教授)
- 1) NPC1/NPC2 の構造と機能
二宮治明 (鳥取大学医学部保健学科生体制御学)
 - 2) ニーマン・ピック病 C 型の診断と治療
酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)
 - 3) ニーマン・ピック病 C 型の Suspicion Index
戸川雅美 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

ランチョンセミナー 1：グラクソ・スミスクライン株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 3 会場
座長 大塚頌子 (旭川診療・医療センター, 岡山大学名誉教授)
てんかん診療 up to date—患者の QOL マネジメントを中心に—
久保田英幹 (静岡てんかん・神経医療センター)

ランチョンセミナー 2：エーザイ株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 4 会場
座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)
小児の難治性てんかんのトピックス
小国弘量 (東京女子医科大学小児科学教室)

ランチョンセミナー 3：協和発酵キリン株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 5 会場
座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学分野)
発作コントロールにおける抗てんかん薬の整理の重要性
下野昌幸 (産業医科大学小児科学教室)

ランチョンセミナー 4：ファイザー株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 6 会場
座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
小児科領域における新規抗てんかん薬の位置づけ
白石秀明 (北海道大学病院小児科)

ランチョンセミナー 5：ヤンセンファーマ株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 7 会場
座長 松石豊次郎 (久留米大学医学部小児科学教室)
注意欠如・多動性障害 (ADHD) の生物学
根来秀樹 (奈良教育大学教育学部障害児医学)

ランチョンセミナー 6：日本イーライリリー株式会社

- 5 月 30 日 (木) 12:00~13:00 第 8 会場
座長 宮島 祐 (東京医科大学小児科学教室)
ADHD 治療薬の効果—神経生理学的所見からの検討—
荒木章子 (旭川医科大学病院小児科, 子どもの発達診療センター)

ランチョンセミナー 7: ノバルティスファーマ株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 3 会場

座長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)

Molecular pathophysiology and targeted therapy of tuberous sclerosis complex

Davida Neal Franz (Cincinnati Children's Hospital Medical Center, OH. USA)

ランチョンセミナー 8: 大塚製薬株式会社・ユーシービージャパン株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 4 会場

座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

小児てんかん診療の実態—ビデオ脳波同時記録の役割—

遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院小児科)

ランチョンセミナー 9: 日本ケミカルリサーチ株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 5 会場

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)

小児神経疾患にともなう内分泌代謝異常の診療

依藤 亨 (大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科)

ランチョンセミナー 10: 大日本住友製薬株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 6 会場

座長 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

発作症状と作用機序に基づく難治性部分てんかんの薬剤選択

須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

ランチョンセミナー 11: ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンスカンパニー

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 7 会場

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

重症心身障害児 (者) 施設の現状と入所者の栄養管理 (微量栄養素欠乏) について

木村昭彦 (くまもと芦北療育医療センター小児科)

ランチョンセミナー 12: ジェンザイム・ジャパン株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 8 会場

座長 井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)

臨床に役立つ治療可能なライソゾーム病の診断ポイント

1) ファブリー病

伊藤秀一 (国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科)

2) ムコ多糖症 I 型・II 型

濱崎考史 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

3) ゴーシェ病

成田 綾 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

4) ポンベ病

石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

ランチョンセミナー 13: 第一三共株式会社

5 月 31 日 (金) 12:00~13:00 第 9 会場

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター)

ITB 療法: 国内市販後成績と痙縮治療に果たす役割

師田信人 (国立成育医療研究センター脳神経外科)

イブニングセミナー 1: Meiji Seika ファルマ株式会社

5 月 31 日 (金) 19:00~20:00 第 3 会場

座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科学講座)

Dravet 症候群の臨床像—軽症例と典型例の長期経過と新規抗てんかん薬を用いた治療—

坂内優子 (東京女子医科大学小児科)

イブニングセミナー 2：大塚製薬株式会社

5 月 31 日（金）19:00～20:00 第 6 会場

座長 山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学教室）

小児領域における高アンモニア血症のマネージメント

村山 圭（千葉県こども病院代謝科）

市民公開講座**大分県が進める“子育て満足度日本一”—小児科医による貢献と評価，更なる小児医療の発展と満足，安心のために**

6 月 1 日（土）13:00～16:00 第 1 会場

座長 阿南茂啓（大分県医師会常任理事，阿南小児科医院）

1) 大分における小児医療と小児神経学・臨床と教育，研究—その実践と成果

泉 達郎（大分大学小児科，神経小児科）

2) おおいた地域医療支援システム構築事業を介した地域小児医療と予防医学，教育・研修支援

是松聖悟（大分大学医学部地域医療・小児科）

3) 過疎地域における時間外・救急・災害診療：備えよう，小児医療の存続と支援なしには，地域の存続と復興なし。

末延聡一（大分大学医学部小児科，大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業）

4) 大分におけるこどもメンタルヘルス：5 歳児健診と医療，教育連携の意義と問題点

清田晃生（大分大学医学部小児科・神経小児科・児童精神科）

5) 365 日 24 時間，大分のこどもの健康と成長を願って

藤本 保（大分こども病院）

6) 子育て満足度日本一に向けた大分県の政策

平原健史（大分県福祉保健部）

第 7 回子どもの眠り研究会

5 月 31 日（金）19:00～21:00 第 5 会場

第 5 回小児免疫性脳炎研究会—小児の溶連菌関連神経疾患—

6 月 1 日（土）7:30～9:00 第 5 会場

座長 原 寿郎（九州大学大学院成長発達医学分野）

岡 明（東京大学大学院小児科学）

1) 溶連菌感染症にともなう小児の神経合併症—自験例を中心に—

八谷靖夫（東京都立神経病院神経小児科）

2) 精神神経症状の発現に溶連菌感染症の関与が示唆された 3 例

本郷和久，宮 一志（富山大学医学部小児科）

3) メチルプレドニゾロンパルス療法が有効であった Sydenham 舞蹈病の一例

吉川陽子，伊藤 康，岸 崇之，今井 薫，大澤真木子（東京女子医科大学）

4) 溶連菌感染によりチックが増悪した症例の検討

島川修一¹，田辺卓也²，野村昇平¹，福井美保¹，柏木 充³，東川幸嗣⁴，玉井 浩¹（大阪医科大学附属病院小児科¹，田辺・門林こどもクリニック小児神経内科²，市立枚方市民病院小児科³，清恵会病院小児科⁴）

5) 溶連菌・マイコプラズマ感染との関連が疑われるむずむず脚症候群の 4 小児例

松尾宗明（佐賀大学小児科）

6) 全体討論

第 8 回小児重症筋無力症研究会

6 月 1 日（土）13:00～17:00 第 4 会場

プレコンgress 第 3 会場 [大分オアシスタワーホテル]

11:00~14:00 実践教育セミナー 1 (S196)

新生児脳波・aEEG 判読セミナー：基礎と応用

座長 奥村彰久 (順天堂大学医学部小児科)

夏目 淳 (名古屋大学大学院医学研究科小児科学)

- 1) 正期産児の脳波・aEEG：正常と異常
久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- 2) 早産児の脳波・aEEG：正常と異常
奥村彰久 (順天堂大学医学部小児科)
- 3) 新生児発作の脳波・aEEG
城所博之 (名古屋大学医学部附属病院)

14:00~17:00 実践教育セミナー 2 (S198)

小児科医のための神経画像 2013

座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)

大場 洋 (帝京大学放射線科)

- 1) MRI でみる脳解剖
北島美香 (熊本大学医学部附属病院中央放射線部)
- 2) 基底核・間脳病変の画像診断
大場 洋 (帝京大学放射線科)
- 3) 脳幹、小脳病変の画像診断
森 壘 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座放射線診断学分野)
- 4) 小児神経領域の核医学
松田博史 (国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター)
- 5) 小児神経放射線 Topics
高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)

17:00~19:00 夜間集会 (S192)

小児神経専門医、研修制度と、その専門性を考える

座長 大野耕策 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

- 1) 小児神経専門医に求められる条件とは
高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 2) 小児神経学の専門医教育
佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 3) 大分大学小児科、神経小児科における専門医研修制度と地域医療、研究への貢献
泉 達郎 (大分大学小児科、神経小児科)
- 4) 日本の専門医制度における小児神経専門医
桃井眞里子 (国際医療福祉大学)

第 1 日目 第 1 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 8:30~8:40 開会式
- 8:40~9:10 会長講演 (S111)
 West 症候群と結節性硬化症, その基礎病態と成因, 治療法の改善
 座長 阿部敏明 (あしかがの森足利病院)
 講演 泉 達郎 (大分大学小児科, 神経小児科)
- 9:10~9:40 特別講演 1 (S113)
 大分の地域医療と小児医療
 座長 桃井真里子 (国際医療福祉大学)
 講演 広瀬勝貞 (大分県知事)
- 10:40~11:55 基調講演 (S115)
 ガラクトースの世界: β -ガラクトシダーゼ欠損症の病態と治療
 座長 大野耕策 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
 講演 鈴木義之 (東京都医学総合研究所)
- 13:00~14:10 招待講演 1 (S116)
 Education in child neurology : current and future challenges
 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 講演 Paolo Curatolo (The Pediatric Neurology Unit, Tor Vergata University Hospital of Rome, Rome, Italy)
- 14:10~15:20 招待講演 2 (瀬川プログラム) (S117)
 Fukuyama congenital muscular dystrophy
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 Kevin P. Campbell (Howard Hughes Medical Institute, Department of Molecular Physiology and Biophysics, University of Iowa, Carver College of Medicine, Iowa City, IA, USA)
- 15:20~16:30 教育講演 1 (S119)
 福山型筋ジストロフィー—Fukutin の発見・病態から, 治療をめざして
 座長 松尾雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部)
 講演 戸田達史 (神戸大学大学院医学研究科神経内科学/分子脳科学)
- 16:30~17:40 特別講演 2 (S114)
 前野良沢とパイオニア精神
 座長 高橋孝雄 (慶応義塾大学医学部小児科)
 講演 川島真人 (玄真堂理事長, 日本医史学会理事)

第 1 日目 第 2 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 9:40~10:30 一般演題 (English Session) 1 (S219)
 座長 Shinichi Nijima (Department of Pediatrics, Juntendo University Nerima Hospital, Tokyo, Japan)
 Takeo Kubota (Department of Epigenetic Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan)
- E-001 Usefulness of SWI for evaluation of subtle intracranial hemorrhage in infancy
 ○Hiroko Kakei¹, Masakazu Honda¹, Tetsuya Kunikata¹, Toru Miyaji¹, Hideo Yamanouchi²
 Department of Neonatology, Saitama Medical University Hospital, Saitama, Japan¹, Department of Pediatrics, Saitama Medical University Hospital, Saitama, Japan²

- E-002 The characteristics of general movements in extremely preterm infants until 30 weeks gestation**
 ○Tomoki Maeda¹, Kazuhito Sekiguchi¹, Mutsumi Akaishi², Kouichi Iida², Tatsuro Izumi¹
 Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University, Oita, Japan¹, Department of Neonatology,
 Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan²
- E-003 Functional alpha1-adrenergic receptor accounts for the cause of AD/HD in LC neurons in a model rat**
 ○Sachiyo Igata^{1,2}, Masaru Ishimatsu¹
 Dept. Med. Tech., Faculty of Health Science, Kyushu Univ., Fukuoka, Japan¹, Dept. Physiol., Sch. Med.,
 Kurume Univ., Kurume, Japan²
- E-004 MPH-induced fNIRS monitoring to explore attention-related cortical hemodynamics in ADHD children**
 ○Masako Nagashima^{1,2}, Yukifumi Monden¹, Ippeita Dan³, Yuji Gunji^{1,2}, Takanori Yamagata¹,
 Eiju Watanabe⁴, Mariko Momoi¹
 Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Pediatrics, International
 University of Health and Welfare Hospital, Tochigi, Japan², Functional Brain Science Laboratory, Jichi
 Medical University, Tochigi, Japan³, Department of Neurosurgery, Jichi Medical University, Tochigi, Japan⁴
- E-005 A 3.1 Mb deletion at 2q22.1-q22.3 including NXP2 gene in a boy with intellectual disability**
 ○Naoko Yoshihara^{1,2}, Kenji Kurosawa¹, Ikuko Oohashi¹, Yukiko Kuroda¹, Takahito Wada², Rie Anzai²,
 Kyoko Takano², Mizue Iai², Sumimasa Yamashita², Hitoshi Osaka²
 Division of Medical Genetics, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan¹, Division of
 Pediatric Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan²

10:40~11:30 一般演題 (口演) 精神障害, 行動異常 (S231)

座長 金澤 治 (埼玉医科大学神経精神科・心療内科)
 宮尾益知 (国立成育医療研究センターこころの診療部発達心理科)

- O-001 Kleine-Levin syndrome without compulsive eating (KLS WOCE) の 13 歳男児例**
 ○梶本まどか¹, 神林 崇², 井上裕文¹, 松重武志¹, 百中 宏¹
 山口大学¹, 秋田大学医学部精神科学分野²
- O-002 中学年代までに顕在発症した統合失調症の発症に至るまでの臨床的特徴**
 ○末田慶太郎^{1,2}, 山崎 透¹
 静岡県立こども病院こころの診療科¹, 静岡医療福祉センター小児科²
- O-003 小児期発症摂食障害一発症時初経未発来群の Great Ormond Street Criteria (GOSC)一**
 ○綾部敦子¹, 大谷良子², 金谷梨恵², 永井敏郎¹, 作田亮一²
 獨協医科大学越谷病院小児科¹, 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター²
- O-004 重度精神遅滞児の行動障害へのラモトリギンの効果について**
 ○古莊純一¹, 久場川哲二²
 青山学院大学教育人間科学部教育学科¹, 久場川こども発達クリニック²
- O-005 中枢性摂食異常症の疫学調査研究一熊本県の小中高生における疫学調査一**
 ○間部裕代
 熊本大学医学部発達小児科

14:10~16:30 シンポジウム 1: 自閉症の神経科学研究 (S125)

座長 原 寿郎 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科))
 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学講座)

- 1) セクレチン変異マウスと環境要因から探る自閉症の発症機構
 西島維知子 (東北大学大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター情報遺伝学分野)
- 2) 自閉症発症に関与する分子シグナルの探索
 酒井康成 (九州大学小児科)
- 3) 自閉症の神経科学研究: レット症候群の治療に向けた生物学的研究
 伊藤雅之 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)
- 4) 自閉症のエピジェネティックな理解
 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学講座)
- 5) 自閉症スペクトラム障害: 行動表現型の連続性と診断の重複についての最近の知見
 神尾陽子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

第 1 日目 第 3 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 9:40~10:30 一般演題 (English Session) 2 (S220)
 座長 Katsuhiro Kobayashi (Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan)
 Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan)
- E-006 Comparison of brain activation at right fronto-parietal cortex between Naïve and medicated ADHD**
 ○Yukifumi Monden¹, Ippeita Dan², Masako Nagashima¹, Tsutomu Mizutani¹, Takanori Yamagata¹, Eiju Watanabe³, Mariko Momoi¹
 The Department of Pediatrics, University of Jichi, Tochigi, Japan¹, Functional Brain Science Laboratory, University of Jichi, Tochigi, Japan², Department of Neurosurgery, University of Jichi, Tochigi, Japan³
- E-007 FGD-PET at 10 months predicts developmental status during adolescence in cryptogenic West syndrome**
 ○Jun Natsume¹, Norihide Maeda¹, Kazuya Itomi², Akihisa Okumura³, Tetsuo Kubota⁴, Kiyokuni Miura¹, Kosaburo Aso⁵, Tateki Morikawa⁶, Tamiko Negoro¹, Kazuyoshi Watanabe⁸
 Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Department of Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Obu, Japan², Department of Pediatrics, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan³, Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan⁴, Department of Pediatrics, Tsushima City Hospital, Tsushima, Japan⁵, Department of Pediatrics, Aichi Aotiori Medical Center for Disabled, Nagoya, Japan⁶, Morikawa Clinic, Nagoya, Japan⁷, Faculty of Health and Medical Sciences, Aichi Shukutoku University, Nagoya, Japan⁸
- E-008 Does diffusion tensor imaging abnormality reflect delayed myelination in cryptogenic West syndrome?**
 ○Chihiro Hatano¹, Jun Natsume¹, Tatsuya Fukasawa², Hiroyuki Yamamoto¹, Chikako Ogawa¹, Naoko Ishihara¹, Hiroyuki Kidokoro¹, Tomoya Takeuchi¹, Yoshiteru Azuma¹, Naoki Ando³, Tetsuo Kubota², Kiyokuni Miura¹, Tamiko Negoro¹, Kazuyoshi Watanabe^{1,4}
 Department of Pediatrics, Nagoya University, Nagoya, Japan¹, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan², Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan³, Faculty of Health and Medical Sciences, Aichi Shukutoku University, Aichi, Japan⁴
- E-009 Clinical spectrum of SCN2A mutations expanding to Ohtahara syndrome**
 ○Kazuyuki Nakamura^{1,2}, Mitsuhiro Kato¹, Hitoshi Osaka³, Sumimasa Yamashita³, Eiji Nakagawa⁴, Kazuhiro Haginoya⁵, Jun Tohyama⁶, Mitsuko Okuda³, Takahito Wada³, Shuichi Shimakawa⁷, Katsumi Imai⁸, Saoko Takeshita⁹, Masaharu Ohfu¹⁰, Kiyoshi Hayasaka¹, Hirotomo Saito²
 Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Division of Neurology, Clinical Research Institute, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan³, Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁴, Department of Pediatric Neurology, Takuto Rehabilitation Center for Children, Sendai, Japan⁵, Department of Pediatrics, Epilepsy Center, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan⁶, Department of Pediatrics, Osaka Medical College Hospital, Osaka, Japan⁷, National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders, Shizuoka, Japan⁸, Department of Pediatrics, Yokohama City University Medical Center, Yokohama, Japan⁹, Division of Child Neurology, Okinawa Nanbu Medical Center and Children's Medical Center, Okinawa, Japan¹⁰
- E-010 Early diagnosis and EEG findings of childhood-onset Juvenile myoclonic epilepsy (JME)**
 ○Sawa Yasumoto, Takako Fujita, Yukiko Ihara, Yuko Tomonoh, Noriko Nakamura, Hiroshi Ideguchi, Takahito Inoue, Shinichi Hirose
 Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Fukuoka University, Fukuoka, Japan

- 10:40~11:40 一般演題 (口演) 代謝変性疾患 1 (S232)
 座長 岡 明 (東京大学大学院小児科)
 井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)
- O-006 アミノ酸の髄液中濃度, 髄液/血漿中濃度比の日本人小児における基準値設定の試み
 ○秋山倫之¹, 小林勝弘¹, 吉永治美²
 岡山大学病院小児神経科¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学²
- O-007 乳児期より発達遅滞を認め成人期に退行を来した Static Encephalopathy of childhood with Neurodegeneration in Adulthood の一例
 ○森宗孝夫¹, 吉岡誠一郎¹, 龍神布紀子¹, 西倉紀子¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 椎原 隆², 安東里真³
 滋賀医科大学小児科¹, 群馬県立小児医療センター神経内科², びわこ学園医療福祉センター野洲³
- O-008 コケイン症候群の自験例から考察した診療管理体制の今後の課題
 ○本島敏乃^{1,2}, 小俣 卓¹, 杉田克生³, 藤井克則⁴
 千葉県こども病院神経内科¹, 本島総合病院小児科², 千葉大学教育学部基礎医科学³, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学⁴
- O-009 コケイン症候群患者由来細胞の酸化的 DNA 損傷に対する致死感受性と修復能力
 ○喜多和子¹, 杉田克生²
 千葉大学大学院医学研究院環境影響生化学¹, 千葉大学教育学部基礎医科学²
- O-010 ATG>AGG (開始コドン) の変異で軽症の表現型を示した Pelizaeus-Merzbacher 病の一男児例
 ○山本亜矢子, 安西里恵, 高木真理子, 奥田美津子, 高野亨子, 和田敬仁, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
 神奈川県立こども医療センター神経内科
- O-011 Pelizaeus-Merzbacher 病と Charcot-Marie-Tooth 病の細胞内分子病態: 小胞体ストレスとシャペロンダイナミクス
 ○沼田有里佳^{1,2}, 呉 繁夫¹, 後藤雄一², 井上 健²
 東北大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部²
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 1: グラクソ・スミスクライン株式会社 (S203)
 てんかん診療 up to date—患者の QOL マネジメントを中心に—
 座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター, 岡山大学名誉教授)
 講演 久保田英幹 (静岡てんかん・神経医療センター)
- 14:10~16:30 シンポジウム 2: DNA 修復障害と神経変性 (S128)
 座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所)
 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
- 1) 分子からみた色素性乾皮症, コケイン症候群の病態
 森脇真一 (大阪医科大学皮膚科)
 - 2) 色素性乾皮症とコケイン症候群: 神経変性の病態解明
 林 雅晴 (東京都医学総合研究所)
 - 3) 毛細血管拡張性運動失調症 (AT) 及び AT 類縁疾患の診断及び iPS 細胞を用いた病態解明へのアプローチ
 金子節子 (東京医科歯科大学医学部発生発達病態学 (小児科))
 - 4) 毛細血管拡張性運動失調症: 神経症状へのアプローチ
 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
 - 5) 小児期発症の脊髄小脳変性症: レビューと鑑別診断
 小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

第 1 日目 第 4 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 9:40~10:30 一般演題 (English Session) 3 (S222)
 座長 Junichi Oki (Asahikawa-Kosei General Hospital)
 Eiji Nanba (Division of Functional Genomics, Research Center for Bioscience and Technology, Tottori University, Tottori, Japan)
- E-011 Increased oligodendroglial like cells correlating with intractable pediatric epilepsy
 ○Satoru Sakuma, Tohru Okanishi, Kazuo Okanari, Ayako Ochi, Hiroshi Otsubo
 Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada
- E-012 Seizure symptoms and effective anticonvulsants for intractable and non-intractable partial seizures
 ○Kenji Sugai, Eiji Nakagawa, Yoshiaki Saito, Takashi Saito, Akihiko Ishiyama, Hirofumi Komaki, Masayuki Sasaki
 Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan
- E-013 Resection of cortex with fast ripples for patients with wide epileptic network in tuberous sclerosis
 ○Tohru Okanishi¹, Tomoyuki Akiyama^{1,2}, Ayako Ochi¹, Hiroshi Otsubo¹
 The Hospital for Sick Children, Division of Neurology, Ontario, Canada¹, Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan²
- E-014 The function of tuberous sclerosis 1 in the formation of actin cytoskeleton and cell polarity
 ○Maki Ohsawa^{1,2,3}, Masashi Mizuguchi¹, Okio Hino³
 Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan², Department of Pathology and Oncology, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan³
- E-015 Clinical profiles in epilepsy children with postictal generalized EEG suppression (PGES)
 ○Kazuo Okanari, Ayako Ochi, Tohru Okanishi, Satoru Sakuma, Hiroshi Otsubo
 Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Ontario, Canada
- 10:40~11:30 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 1 (S234)
 座長 布井博幸 (宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科学分野)
 久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- O-012 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) の予後予測に関する検討
 ○多田弘子¹, 高梨潤一², 山形崇倫³, 奥野英雄⁴, 久保田雅也⁵, 河野 剛⁶, 椎原 隆⁷, 浜野晋一郎⁸, 廣瀬伸一⁹, 水口 雅¹⁰
 千葉県済生会習志野病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 自治医科大学小児科³, 大阪市立総合医療センター集中治療部⁴, 国立成育医療研究センター神経内科⁵, 久留米大学小児科⁶, 群馬県立小児医療センター神経内科⁷, 埼玉県立小児医療センター神経科⁸, 福岡大学小児科⁹, 東京大学大学院発達医学¹⁰
- O-013 小児神経疾患における血清・髄液中バイオマーカーの検討 (第五報): 急性疾患における検討
 ○椎原 隆, 渡辺美緒, 杉原 進
 群馬県立小児医療センター神経内科
- O-014 ウイルス関連急性脳症 12 例における急性期血清サイトカイン分析
 ○松本 浩, 座波清登, 中村康子
 防衛医科大学校小児科
- O-015 ネオプテリン値からみた急性脳炎・脳症の鑑別に関する検討
 ○堀野朝子¹, 塩見正司², 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 富和清隆^{1,3}, 石川順一³, 天羽清子³, 外川正生³
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科², 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科³
- O-016 けいれん重積型急性脳症と熱性けいれんの遺伝的素因の比較—サイトカイン遺伝子多型解析—
 ○齋藤真木子¹, 星野 愛¹, 久保田雅也², 菊池健二郎³, 山中 岳⁴, 廣瀬伸一⁵, 水口 雅¹
 東京大学大学院発達医学¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 埼玉小児医療センター神経科³, 東京医科大学小児科⁴, 福岡大学医学部小児科⁵

12:00~13:00 ランチョンセミナー 2: エーザイ株式会社 (S203)
小児の難治性てんかんのトピックス

座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)
講演 小国弘量 (東京女子医科大学小児科学教室)

14:10~16:30 シンポジウム 3: 乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価 (S131)

座長 大槻泰介 (国立精神・神経医療研究センター脳神経外科)
川合謙介 (東京大学医学系研究科脳神経外科)

- 1) 乳児破局てんかんの病因と臨床像—FACE study より—
小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
- 2) 乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価: 小児内科の立場から
山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
- 3) 乳児てんかん性脳症の治療と外科治療基準
今井克美 (静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部)
- 4) 手術適応 West 症候群例における治療戦略: ACTH-Zn 療法せず, 早期外科的介入が長期予後を改善する
岡成和夫^{1,2}, 内山伸一¹, 前田知己¹, 泉 達郎¹ (大分大学医学部小児科¹, トロント小児病院神経科²)
- 5) 乳児破局てんかんに対する切除外科の適応と予後
大槻泰介¹, 高橋章夫¹, 開道貴信¹, 金子 裕¹, 本田涼子², 齋藤貴志², 齋藤義朗², 中川栄二²,
須貝研司², 佐々木征行² (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²)
- 6) 乳児 catastrophic epilepsy の外科適応基準と評価へのコメント
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

第 1 日目 第 5 会場 (大分オアシスタワーホテル)

9:40~10:30 一般演題 (English Session) 4 (S224)

座長 Nobuyuki Shimoza (Division of Genomics Research, Life Science Research Center,
Gifu University, Gifu, Japan)

Kazuhiro Haginoya (Miyagi Takuto Medical Treatment and Rehabilitation Center)

E-016 Unique magnetoencephalography interictal spikes and seizure onset: known and unknown advantages

○Yosuke Kakisaka^{1,2}, Shigeo Kure²

Epileptology, Tohoku University, Sendai, Japan¹, Pediatrics, Tohoku University, Sendai, Japan²

E-017 Apparent diffusion coefficient values predict outcomes of abusive head trauma

○Koji Tanoue, Kiyoshi Matsui

General Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan

E-018 Whole-exome sequencing identifies FLNB variant in a unique brain malformation

○Akihisa Okumura¹, Masaharu Hayashi², Keiko Shimojima³, Mitsuru Ikeno¹, Shinpei Abe¹,

Jun-ichi Takanashi⁴, Nobuhiko Okamoto⁵, Toshiaki Shimizu¹, Toshiyuki Yamamoto³

Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan¹, Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan², Tokyo Women's Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan³, Department of Pediatrics, Kameda Medical Center, Kamogawa, Japan⁴, Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan⁵

E-019 DYNC1H1 mutations cause dominant spinal muscular atrophy, CMT2 and intellectual disability

○Shinji Saitoh¹, Hirotomo Saito², Akira Sudo³, Naoko Asahina⁴, Hideaki Shiraishi⁴, Jun-ichi Ito⁵,

Hajime Tanaka⁶, Naomichi Matsumoto²

Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Department of Pediatrics, Sapporo City General Hospital, Sapporo, Japan³, Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan⁴, Department of Pediatrics, Taiyo no sono, Date, Japan⁵, Department of Pediatrics, Asahikawa Habilitation Center for Disabled Children, Asahikawa, Japan⁶

E-020 Phenotype of Patients with a Common c.649_650C PRRT2 Mutation

○Ayuko Igarashi¹, Akihisa Okumura¹, Shino Shimada², Keiko Shimojima², Shinpei Abe¹, Mitsuru Ikeno¹, Toshiaki Shimizu¹, Toshiyuki Yamamoto²

Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan¹, Tokyo Womens Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan²

10:40~11:40 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 1..... (S236)

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

O-017 小児てんかんの診療実態に関する疫学調査 (第 1 報)

○花岡義行, 柴田 敬, 岡 牧郎, 秋山倫之, 小林勝弘, 吉永治美

岡山大学大学院医歯薬総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)

O-018 けいれん重積で発症したてんかん症例の臨床的検討

○川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 九鬼一郎¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 堀野朝子¹, 辻のぞみ¹, 富和清隆¹, 塩見正司²

大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科²

O-019 小児てんかん患児のうつ症状や不安症状について

○柏木 充¹, 田辺卓也², 島川修一³, 大場千鶴¹, 村田真野^{1,3}, 野村昇平³, 福井美保^{3,4}, 吉川聡介⁴, 宮本良平⁵, 東川幸嗣⁶, 若宮英司⁷, 玉井 浩³

市立枚方市民病院小児科¹, 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科², 大阪医科大学小児科³, 大阪労災病院小児科⁴, 茨木済生会病院小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護学科⁷

O-020 限局性皮質形成異常によるてんかん患者の発達・知的予後の検討

○木村暢佑^{1,2}, 高橋幸利², 重松秀夫², 今井克美², 池田浩子², 大谷英之², 高山留美子², 馬場好一², 松田一己², 鳥取高安², 白井直敬², 井上有史²

大津赤十字病院小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²

O-021 新生児・乳児期脳血栓症 3 例における基礎病態とそれぞれのてんかんの予後

○清田今日子¹, 岡成和夫¹, 末延聡一^{1,2}, 泉 達郎¹

大分大学医学部小児科, 神経小児科¹, 大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²

O-022 薬物治療が有効であった片側巨脳症の検討

○高山留美子, 今井克美, 山口解冬, 保立麻美子, 植田佑樹, 那須裕郷, 大谷英之, 池田浩子, 重松秀夫, 高橋幸利, 井上有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

12:00~13:00 ランチョンセミナー 3: 協和発酵キリン株式会社..... (S204)

発作コントロールにおける抗てんかん薬の整理の重要性

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学分野)

講演 下野昌幸 (産業医科大学小児科学教室)

14:10~15:10 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 2..... (S238)

座長 鈴木正義 (大分県厚生連鶴見病院小児科)

白石秀明 (北海道大学病院小児科)

O-023 PCDH19 関連てんかんにおける発症初期の臨床的特徴と治療効果の検討

○日暮憲道^{1,2}, 廣瀬伸一¹

福岡大学医学部小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

O-024 若年ミオクロニーてんかんと神経調節性失神の鑑別と治療法の検討

○武口真広, 岡成和夫, 川野達也, 佐藤圭右, 是松聖悟, 泉 達郎

大分大学医学部小児科

O-025 熱性けいれん, てんかん, 重症心身障害をもつ児へのワクチン接種に関するアンケート調査

○田辺卓也^{1,2}, 今北優子^{1,3}, 西嶋加壽代^{1,4}

大阪小児科医会学術部会¹, あゆみ会田辺・門林こどもクリニック小児神経内科², 浅香山病院小児科³, 上善会にしじまファミリークリニック⁴

O-026 てんかんと心因性発作と考えられる症例についての検討

○成田有里¹, 浜野晋一郎², 黒田 舞¹, 南谷幹之³, 田中 学², 菊池健二郎²
埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³

O-027 周産期の出血後孔脳症・出血後水頭症の後障害児のてんかん発作の検討

○鈴木基正¹, 大野敦子¹, 糸見和也¹, 倉橋直子², 梅村綾子², 山田桂太郎², 倉橋宏和², 丸山幸一², 長坂昌登³
あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科², あいち小児保健医療総合センター脳神経外科³

O-028 向同性発作を認めた乳児悪性焦点移動性部分発作の 1 例

○遠藤彰一, 藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 桐野友子
国立病院機構香川小児病院

15:10~16:10 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 3..... (S240)

座長 花井敏男 (福岡市立心身障がい福祉センター)
師田信人 (国立成育医療研究センター脳神経外科)

O-029 てんかん発作時に徐脈と中枢性無呼吸を呈した限局性皮質形成異常の 10 歳女児例

○木水友一, 木村貞美, 池田 妙, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

O-030 Benign myoclonus of early infancy に脳内皮質結節硬化を伴った 1 例

○山口克彦^{1,2}, 田角 勝², 板橋家頭夫²
町田市民病院小児科¹, 昭和大学医学部小児科²

O-031 自己誘発性のスパズムを認めた Monocarboxylate transporter 8 (MCT8) 遺伝子異常症の幼児例

○池田 妙, 木水友一, 木村貞美, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

O-032 migrating partial seizures in infancy の姉妹例

○湯浅正太¹, 須貝研司¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 松本 浩²

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 防衛医科大学校病院小児科²

O-033 食事や排尿により誘発されるシリーズ性の epileptic spasm を呈した 5p-症候群の 2 症例

○白井謙太郎, 横山淳史, 西村洋子, 玉崎章子, 前垣義弘, 大野耕策
鳥取大学脳神経小児科

O-034 Benign myoclonus of early infancy の 1 男児例

○伊藤昌弘, 玉木久光, 石渡久子
都立墨東病院小児科

16:10~17:00 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 4..... (S242)

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

O-035 Dravet 症候群における最終重積発作

○山口解冬, 高橋幸利, 保立麻美子, 植田佑樹, 那須裕郷, 高山留美子, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
静岡てんかん・神経医療センター小児科

O-036 Dravet 症候群 19 例における Stiripentol 長期投与効果

○那須裕郷, 高橋幸利, 植田佑樹, 保立麻美子, 山口解冬, 高山留美子, 大谷英之, 池田浩子, 重松秀夫, 今井克美, 井上有史
静岡てんかん・神経医療センター小児科

O-037 乳児重症ミオクロニーてんかんにおける, Carbamazepine, Lamotrigine の中止が及ぼす効果の検討

○保立麻美子, 高橋幸利, 植田佑樹, 那須裕郷, 山口解冬, 高山留美子, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫
静岡てんかん・神経医療センター小児科

O-038 小児難治性てんかんに対する慢性頭蓋内脳波記録および脳機能マッピングの有用性

○田村健太郎¹, 榊原崇文²
奈良県立医科大学脳神経外科¹, 奈良県立医科大学小児科²

O-039 中心側頭部棘波を示す良性てんかん (BECTS) の脳磁図解析の新たなアプローチ**—傾斜磁場トポグラフィ: GMFT の応用—**

○白水洋史¹, 遠山 潤², 赤坂紀幸², 大橋 伺², 大野 武², 村上博淳¹, 亀山茂樹¹
 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科¹, 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科²

第 1 日目 第 6 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 9:40~10:30 一般演題 (English Session) 5 (S225)**
座長 Toshisaburo Nagai (Division of Health Sciences, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan)
Akira Oka (Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan)
- E-021 A 3-year-old boy with GLUT1 deficiency syndrome presenting with episodic ataxia**
 ○Akiko Ohshiro, Rie Anzai, Mariko Takagi, Mitsuko Okuda, Kyoko Takano, Takahito Wada, Mizue Iai, Sumimasa Yamashita, Hitoshi Osaka
 Division of pediatric Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
- E-022 An atypical case of Alexander disease preceded by central precocious puberty**
 ○Moe Tamaura, Kyoko Takano, Mariko Takagi, Rie Anzai, Mitsuko Okuda, Takahito Wada, Mizue Iai, Sumimasa Yamashita, Hitoshi Osaka
 Division of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
- E-023 A rapid screening for the genetic diagnosis of Leigh syndrome**
 ○Hitoshi Osaka¹, Mariko Takagi¹, Mitsuko Okuda¹, Rie Anzai¹, Kyoko Takano¹, Takahito Wada¹, Mizue Iai¹, Sumimasa Yamashita¹, Kei Murayama², Akira Ohtake³
 Division of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan¹, Department of Metabolism, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan², Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Saitama Medical University, Saitama, Japan³
- E-024 Whole Exome Sequencing Analysis on hereditary muscle disease with tubular aggregates**
 ○Yukari Endo^{1,2}, Yukiko Hayashi^{1,2}, Hirofumi Komaki³, Ikuya Nonaka², Ichizo Nishino^{1,2}
 Department of Clinical Development, Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP), Tokyo, Japan¹, Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, NCNP, Tokyo, Japan², Department of Child Neurology, National Center Hospital, NCNP, Tokyo, Japan³
- E-025 Molecular function of BTBD9, genetic association with Restless Legs Syndrome, in dopaminergic neuron**
 ○Kazuhiro Muramatsu^{1,2}, Noriko Sawaura¹, Tomomi Ogata¹, Keiko Kamayachi¹, Yoko Urano¹, Kyoko Hazama¹, Hirokazu Arakawa¹
 Department of Pediatrics, Gunma University Graduate School of Medicine, Gunma, Japan¹, Department of Neurology, University Hospital, Philipps University Marburg, Marburg, Germany²
- 10:40~11:40 一般演題 (口演) 脳性麻痺・療育 1 (S244)**
座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
麻生幸三郎 (愛知県コロニーこぼと学園)
- O-040 成人重症心身障害児・者の血中 substance P 濃度に関する検討**
 ○小野浩明
 県立広島病院小児科
- O-041 経年的な肢体不自由児の骨音響評価値推移とその問題点**
 ○渡邊誠司, 奥村良法, 愛波秀男
 静岡県立こども病院神経科
- O-042 重症心身障害児 (者) の早期再分極の有病率とその臨床的意義**
 ○川野達也¹, 清水未希^{1,2}, 武口真広¹, 泉 達郎¹
 大分大学医学部小児科, 神経小児科¹, 別府発達医療センター小児科²
- O-043 Valproic acid による Fanconi 症候群を呈した児の薬剤中止後の近位尿細管機能の検討**
 ○山崎佐和子¹, 池野観寿¹, 山崎 肇¹, 吉川秀人²
 新潟市民病院小児科¹, 長岡療育園小児科²

O-044 小児の低酸素性虚血性脳症の画像所見と長期予後に関する後方視的検討

○北井征宏, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科

O-045 成熟児境界域脳梗塞 (傍矢状部脳損傷) の臨床像に関する後方視的検討

○平井聡里, 北井征宏, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 4: ファイザー株式会社 (S204)

小児科領域における新規抗てんかん薬の位置づけ

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科)

14:10~15:10 一般演題 (口演) 脳性麻痺・療育 2 (S246)

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

O-046 姫路市における 1983 年から 25 年間の脳性麻痺発生の推移

○小寺澤敬子, 岡田由香, 宮田広善
姫路市総合福祉通園センター

O-047 脳性麻痺児におけるてんかん

○平澤恭子, 竹下暁子, 吉川陽子, 小国弘量, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科

O-048 小児痙攣に対するバクロフェン髄注療法: 国内治療成績の総括 2012

○師田信人¹, 久保田雅也², 根本明宜³, 片山容一⁴
国立成育医療研究センター脳神経外科¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 横浜市立大学医学部医療情報学³, 日本大学医学部脳神経外科⁴

O-049 重症心身障害者の骨粗鬆症に対する静注用アレンドロネートの短期効果

○加賀佳美^{1,2}, 神谷裕子¹, 藤岡かおる¹, 中村幸介¹, 溝呂木園子², 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³

O-050 早産児あるいは正期産児で出生した痙攣性両麻痺型の脳性麻痺児の検討—臨床的及び成因的観点から—

○有賀賢典^{1,2}, 落合幸勝^{1,2}, 今井祐之^{1,2}, 早川美佳^{1,2}, 大島早希子^{1,2}, 小野英利奈^{1,2}, 岩村美佳¹, 井田博幸²
東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

O-051 重症心身障害児者における上部消化管出血の検討

○水野勇司, 笹月桃子, 相部美由紀
国立病院機構福岡東医療センター小児科

15:10~16:10 一般演題 (口演) 脳性麻痺・療育 3 (S248)

座長 三浦清邦 (名古屋大学医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)
平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)

O-052 小児後天性脳損傷の回復期リハビリテーションにおけるボツリヌス毒素治療

○岩崎信明, 中山純子, 絹笠英世, 新 健治, 中山智博, 三浦慶子
茨城県立医療大学小児科

O-053 下肢痙攣に対するボツリヌストキシン療法と TENS の併用により歩容は改善する

○大西伸悟¹, 足立昌夫²
加古川市民病院機構加古川西市民病院リハビリテーション室¹, 加古川市民病院機構加古川西市民病院小児科²

O-054 小児脳性麻痺に対するボツリヌス治療の長期予後

○根津敦夫, 青山晴彦, 唐澤久美子, 筑丸ゆり, 金子かおり, 黒澤真紀子, 増田由香
横浜療育医療センター神経小児科

O-055 当院における誤嚥防止術症例の検討

○渡辺美緒¹, 杉原 進¹, 椎原 隆¹, 臼田由美子²
群馬県立小児医療センター神経内科¹, 群馬県立小児医療センターリハビリテーション課²

O-056 肺内パーカッションベンチレータ療法に伴う合併症の検討

○三浦雅樹¹, 影山隆司¹, 山崎佐和子², 志倉圭子¹, 吉川秀人¹, 小西 徹¹
長岡療育園小児神経科¹, 新潟市民病院小児科²

O-057 抗生物質に頼らない重症心身障害児の肺炎の治療経験

○大内啓嗣, 樋口 司
長野県立こども病院総合小児科

第 1 日目 第 7 会場 (大分オアシスタワーホテル)

10:40~11:40 一般演題 (口演) 新生児 (S250)

座長 奥村彰久 (順天堂大学医学部小児科)
前田知己 (大分大学医学部小児科)

O-058 点状白質病変を低酸素性虚血性脳症の主病変とした正期産児/後期早産児の短期予後

○加藤 徹, 辻 健史, 早川文雄
岡崎市民病院小児科

O-059 新生児脳低温療法 26 例の臨床的検討

○比屋根真彦^{1,2}, 上原太一¹, 須貝みさき¹, 松岡剛司¹, 大府正治¹
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター新生児科²

O-060 早産児 MRI の DEHSI と神経学的予後の関連

○宮田世羽, 中野瑛子, 松岡雄一郎, 島崎真希子, 小松祐美子, 中村由紀子, 岡 明
杏林大学医学部小児科

O-061 極低出生体重児の 10 歳時における学習習熟レベルに関する研究

○長尾秀夫
愛媛大学教育学部特別支援教育講座 (特別支援医学)

O-062 早産児の小脳容積と拡散テンソル画像

○池野 充, 奥村彰久, 安部信平, 中原絵里, 北村裕梨, 中澤美賀, 中澤友幸, 清水俊明
順天堂大学医学部小児科

O-063 睡眠中の脳の神経活動が NIRS の変動に及ぼす影響の臨床的意義の検討

○大矢崇志, 岩田欧介, 山下裕史朗, 松石豊次郎
久留米大学医学部小児科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 5: ヤンセンファーマ株式会社 (S205)

注意欠如・多動性障害 (ADHD) の生物学

座長 松石豊次郎 (久留米大学医学部小児科学教室)
講演 根来秀樹 (奈良教育大学教育学部障害児医学)

14:10~16:30 シンポジウム 4: 地域医療における小児神経科の貢献: 小児神経疾患, 発達障害, 在宅医療, 重症心身障害児医療 (S135)

座長 南 武嗣 (たけのこ会みなみクリニック)
石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

1) 街角の小児神経科医

南 武嗣 (たけのこ会みなみクリニック)

2) ニューロンから臨床そして社会へー小児神経疾患の専門クリニックからー

野村芳子 (瀬川小児神経学クリニック)

3) 開業医が行う障害児支援の取り組み

金原洋治 (かねはら小児科)

4) 重症心身障害児・者の地域生活を支える小児神経科医の役割

宍倉啓子 (社会福祉法人訪問の家朋診療所)

◎ 指定発言: 過疎地域の小児神経科, 都市部のキャリーオーバーしたてんかん患者フォロー, そして今後の課題

杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック, 社会活動委員会委員長)

5) 地域の小児医療・保健における小児科・小児神経専門医の果たすべき役割

是松聖悟 (大分大学医学部地域医療・小児科)

6) 地域の発達障害にかかわる小児神経科医の仕事

石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

第 1 日目 第 8 会場 (全労済ソレイユ)

- 10:40~11:40 一般演題 (口演) 筋 1 (S252)
 座長 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院)
 松尾宗明 (佐賀大学小児科)
- O-064 デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するステロイド治療
 一筋ジストロフィー患者登録システムからの検討—
 ○竹内美実¹, 木村 円¹, 清水玲子^{1,2}, 小牧宏文¹, 林 由起子¹, 西野一三¹, 川井 充³
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 東京女子医科大学病院小児科², 国立病院機構
 東埼玉病院神経内科³
- O-065 Duchenne 型筋ジストロフィーの体重推移と栄養サポートチーム (NST)
 ○小林康子, 大村 清
 国立病院機構西多賀病院小児科
- O-066 Duchenne/Becker 型筋ジストロフィー 168 例における母親の保因者頻度の検討
 ○李 知子¹, 楠 典子¹, 栗野宏之¹, 八木麻理子¹, 竹島泰弘¹, 松尾雅文², 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科¹, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部²
- O-067 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける血清 AST・ALT・クレアチニン値の検討
 ○楠 典子¹, 李 知子¹, 栗野宏之¹, 八木麻理子¹, 竹島泰弘¹, 松尾雅文², 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野¹, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部²
- O-068 DMD/BMD 外来患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—PARS を用いて
 ○船越愛絵¹, 柴田早紀¹, 岩田優子¹, 藤野陽生¹, 前田直子¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹
 大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻臨床教育学講座臨床心理学研究分野¹, 国立病院機構
 刀根山病院神経内科・小児神経内科²
- O-069 DMD/BMD 患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—SRS を用いて
 ○前田直子¹, 柴田早紀¹, 岩田優子¹, 藤野陽生¹, 船越愛絵¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹
 大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻臨床教育学講座臨床心理学研究分野¹, 国立病院機構
 刀根山病院神経内科・小児神経内科²
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 6: 日本イーライリリー株式会社 (S205)
 ADHD 治療薬の効果—神経生理学的所見からの検討—
 座長 宮島 祐 (東京医科大学小児科学教室)
 講演 荒木章子 (旭川医科大学病院小児科, 子どもの発達診療センター)
- 14:10~15:00 一般演題 (口演) 不随意運動, 基底核 (S254)
 座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
 木村一恵 (瀬川小児神経学クリニック)
- O-070 特定の音などの感覚刺激により驚愕反応様のチックの群発が誘発される 1 例
 ○斎藤義朗¹, 須貝研司¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 颯佐かおり²,
 阿部裕一²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 埼玉医科大学小児科²
- O-071 ハロペリドールによる不随意運動を呈した退形成性上衣腫の 12 歳女児例
 ○内川英紀, 高木敦子, 塩浜 直, 藤井克則, 河野陽一
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- O-072 突発性発疹を契機に発症した Paroxysmal tonic upgaze of childhood の 2 例
 ○井手口博, 井原由紀子, 藤田貴子, 廣瀬伸一, 安元佐和
 福岡大学医学部小児科
- O-073 Levetiracetam が発作症状に有効であった発作性労作誘発性ジスキネジアの 1 例
 ○野村昇平¹, 島川修一¹, 福井美保¹, 田辺卓也², 玉井 浩¹
 大阪医科大学小児科¹, 田辺・門林こどもクリニック²
- O-074 m.3697G>A/ND1 変異を認めた Leigh 症候群の 2 症例
 ○高木真理子¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 高野亨子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁¹,
 大竹 明², 村山 圭³
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 埼玉医科大学小児科², 千葉県こども病院代謝科³

- 15:00～15:50 一般演題 (口演) 発達障害の療育・支援 1 (S255)
- 座長 小野次朗 (和歌山大学教育学部)
山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
- O-075 二次障害に対しての治療が継続しない ADHD 児への支援
—精神領域の作業療法士との連携による家族調整の実践—
○林 優子^{1,2}, 田端幸枝²
県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科²
- O-076 高機能広汎性発達障害児の親への診断告知の適正時期はいつか?
—親へのアンケート調査の結果を踏まえて—
○宮地泰士
名古屋市あけぼの学園小児科
- O-077 一療育施設における発達障害児の受診状況の変化に関する検討
○畠山和男^{1,2,3}, 青柳閣郎¹, 石井佐綾香¹, 反頭智子², 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³
- O-078 知的障害を伴わない発達障害児の不器用に対する支援の実践
○宮地泰士^{1,2,3}, 鷲見 聡^{2,3}, 齋藤伸治³
名古屋市あけぼの学園¹, 名古屋市西部地域療育センター², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野³
- O-079 早期介入した自閉症スペクトラム児の対人・言語・遊びの発達の推移
○前田卿子, 末田慶太郎, 早川幸代, 原 泉
静岡医療福祉センター
- 15:50～16:50 一般演題 (口演) 発達障害の療育・支援 2 (S257)
- 座長 相原正男 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
伊予田邦昭 (福山こども発達支援センター)
- O-080 注意欠陥／多動性障害児およびてんかん児における quality of life の親子間の評価の相違
○佐野史和¹, 反頭智子¹, 金村英秋¹, 杉田莞爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²
- O-081 自閉症スペクトラム (ASD) 児の IQ による保護者の支援ニーズと支援への満足度の違い
○山下稔哉¹, 林 隆²
家庭学習支援オフィス NOW¹, テレサ会西川医院発達診療部・発達障害研究センター²
- O-082 発達障害診療に必要な保護者支援に関する調査：医師と保護者の特性に関する検討
○小林朋佳^{1,2}, 稲垣真澄², 鈴木浩太², 森山花鈴², 加我牧子²
社会保険中央総合病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²
- O-083 障害をもつ思春期女子の月経と月経随伴症状に関する研究
○津田聡子^{1,2}, 高田 哲¹
神戸大学保健学研究科地域保健学領域¹, 宝塚大学看護学部²
- O-084 発達障害の家族療法—アスペルガー障害の子どもを持つ父母のピアカウンセリング—
○羽田絃子¹, 奥山眞紀子^{1,2}, 宮尾益知¹, 中野三津子¹
国立成育医療研究センターこころの診療部¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-085 特別支援学級に所属する児童・生徒と乳幼児健診での対応—自由記述のテキストマイニングを通して—
○中塚志麻, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科

第 1 日目 第 9 会場 (全労済ソレイユ)

- 10:40~11:40 一般演題 (口演) 発達障害検査…………… (S259)
- 座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
大谷宜伸 (熊本市子ども発達支援センター)
- O-086 未熟児の社会的認知機能の特徴および発達の变化についての検討
○細澤麻里子, 江原佳奈, 加藤久美子, 三友聡美, 及川奈央, 岩崎友弘, 吉川尚美, 田中恭子,
清水俊明
順天堂大学小児科
- O-087 注意欠陥/多動性障害児の前頭葉抑制機能の特徴
—近赤外線スペクトロスコピーと事象関連電位を用いた検討—
○石井佐綾香^{1,2}, 加賀佳美¹, 反頭智子¹, 青柳閣郎^{1,2}, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男³
山梨大学医学部小児科¹, 山梨県立あけぼの医療福祉センター², 山梨大学大学院医学工学総合研究
部³
- O-088 注意欠如多動性障害における近赤外線スペクトロスコピーを用いた前頭葉機能解析
○森 健治¹, 伊藤弘道², 東田好広², 森 達夫², 郷司 彩², 宮崎雅仁², 原田雅史³, 香美祥二²
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部子どもの保健・看護学¹, 徳島大学大学院ヘルスバ
イオサイエンス研究部小児科², 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部放射線科³
- O-089 自閉症スペクトラム障害診療における DN-CAS の使用経験: 第 2 報
○林 北見¹, 白戸由理¹, 武藤順子², 秋山三左子³
東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児
科², 東京女子医科大学八千代医療センター心理室³
- O-090 自閉症・発達遅滞病因検索としてのマイクロアレイ染色体検査
○黒澤健司¹, 黒田友紀子¹, 大橋育子¹, 田上幸治³, 高野亨子², 和田敬仁², 井合瑞江², 松井 潔³,
小坂 仁²
神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 神奈川県立こ
ども医療センター総合診療科³
- O-091 Methylphenidate が AD/HD の聴覚性事象関連電位に及ぼす影響についての検討
○若本裕之¹, 長尾秀夫², 桑原こずえ¹, 森本武彦¹
愛媛県立子ども療育センター小児神経科¹, 愛媛大学教育学部特別支援医学²
- 14:10~15:30 一般演題 (口演) 学習障害…………… (S261)
- 座長 大野雅樹 (京都女子大学発達教育学部児童学科)
田角 勝 (昭和大学医学部小児科)
- O-092 自閉圏の発達特性のある児童の読字能力に関する検討
○伊藤淳一
北海道社会福祉事業団太陽の園発達診療相談室
- O-093 数量概念の理解度と計算技能の相関性
○若宮英司¹, 中西 誠², 竹下 盛³, 水田めぐみ³, 栗本奈緒子³, 奥村智人³, 三浦朋子⁴, 玉井 浩^{3,5}
藍野大学医療保健学部看護学科¹, 関西大学大学院心理学研究科², 大阪医科大学 LD センター³,
パームこどもクリニック⁴, 大阪医科大学小児科⁵
- O-094 視覚系の能力が単音・単語音読速度の発達に与える影響
○奥村智人¹, 川崎聡大², 三浦朋子³, 中西 誠⁴, 水田めぐみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 若宮英司^{1,5},
玉井 浩^{1,6}
大阪医科大学 LD センター¹, 富山大学人間発達科学部発達教育学科², パームこどもクリニック³,
関西大学大学院心理学研究科⁴, 藍野大学医療保健学部⁵, 大阪医科大学小児科⁶
- O-095 RTI モデルを想定した音読検査法の開発
○関あゆみ¹, 矢口幸康¹, 谷中久和¹, 田中大介¹, 内山仁志², 平澤紀子³, 池谷尚剛⁴, 加藤 健⁵,
小枝達也¹
鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国際医療福祉大学保健医療学部², 岐阜大学教育学研究科³,
岐阜大学教育学部⁴, 岐阜大学教育学部附属小学校⁵

- O-096 視覚系の能力が書字正確性の発達に与える影響—集団式視覚系検査の臨床応用に向けて：その 2—**
 ○川崎聡大¹, 奥村智人², 三浦朋子³, 荻布優子⁴, 中西 誠⁵, 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 若宮英司⁶, 玉井 浩^{2,7}
 富山大学人間発達科学部発達教育学科¹, 大阪医科大学 LD センター², パームこどもクリニック³, 北海道大学大学院教育学院⁴, 関西大学大学院心理学研究科⁵, 藍野大学医療保健学部⁶, 大阪医科大学小児科⁷
- O-097 読み書きや視覚系能力が学習到達度に与える影響—集団式視覚系検査の臨床応用にむけて：その 3—**
 ○荻布優子¹, 川崎聡大², 奥村智人³, 中西 誠⁴, 三浦朋子⁵, 水田めぐみ³, 若宮英司⁶
 北海道大学大学院教育学院¹, 富山大学人間発達科学部発達教育学科², 大阪医科大学 LD センター³, 関西大学大学院心理学研究科⁴, パームこどもクリニック⁵, 藍野大学医療保健学部⁶
- O-098 Irlen 症候群と考えられる読字障害の 1 例**
 ○草野佑介^{1,2}, 栗屋智就^{3,4}, 齊藤景子^{3,4}, 吉田健司^{3,4}, 柴田 実^{3,4}, 加藤竹雄^{3,4}, 平家俊男^{3,4}, 加藤寿宏^{1,2}
 京都大学医学部附属病院リハビリテーション部¹, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻作業療法学講座², 京都大学医学部附属病院小児科³, 京都大学大学院医学研究科発達小児科学⁴
- O-099 発達性読み書き障害の有病率に関する研究**
 ○小枝達也^{1,2}, 関あゆみ^{1,2}, 内山仁志³, 田中大介^{1,2}, 矢口幸康^{1,2}, 谷中久和^{1,2}
 鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部², 国際医療福祉大学保健医療学部³
- 15:30~16:10 一般演題 (口演) 自律神経, 頭痛..... (S264)**
 座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
 藤田之彦 (日本大学医学部医学教育企画・推進室)
- O-100 先天性無痛無汗症の分子病態からみた「神経成長因子」と「痛みの生理学」：内感覚と交感神経と情動の関係**
 ○犬童康弘
 熊本大学医学部附属病院小児科
- O-101 小児の慢性頭痛に対する五苓散の有用性**
 ○下田木の実^{1,2}, 笠井恵美¹, 白井育子¹, 栗原栄二¹
 東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学医学部附属病院²
- O-102 神経内科に入院した小児頭痛の検討**
 ○太田充彦, 光藤 尚, 中里良彦, 山元敏正, 田村直俊, 荒木信夫
 埼玉医科大学医学部神経内科
- O-103 経過から脳脊髄液減少症と考えられた小児外傷後頭痛の 1 症例**
 ○中野雅友樹¹, 光藤 尚^{1,2}, 木下俊介^{1,2}, 中里良彦², 山元敏正², 田村直俊², 中元秀友¹
 埼玉医科大学病院総合診療部¹, 埼玉医科大学神経内科²

第 1 日目 ポスター 第 2 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 17:10~18:25 発達障害検査／発達障害の療育・支援…………… (S339)
- 座長 中村みほ (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)
池田俊郎 (宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科)
- P-001 小児期の実行機能検査：年齢群別関連の検討
○中野広輔¹, 荻野竜也², 渡邊聖子³, 大塚頌子⁴, 岡 牧郎⁵
松山赤十字病院小児科¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科², 川崎臨港病院小児科³, 旭川荘療育・医療センター⁴, 岡山大学病院小児神経科⁵
- P-002 広汎性発達障害、注意欠陥／多動性障害と酸化ストレスマーカーの関連性に関する検討
○川谷正男¹, 巨田元礼¹, 米谷 博¹, 大嶋勇成¹, 平谷美智夫², 友田明美³, 塚原宏一⁴
福井大学医学部小児科¹, 平谷こども発達クリニック², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 岡山大学医学部小児科⁴
- P-003 DSM-V (草案) の新診断分類にもとづく AD/HD の認知特性の検討
○加戸陽子¹, 眞田 敏², 柳原正文², 荻野竜也³, 大野 繁⁴, 渡邊聖子⁵, 中野広輔⁶, 諸岡輝子⁷, 岡 牧郎⁷, 小林勝弘⁷
関西大学文学部心理学専修¹, 岡山大学教育学研究科², 中国学園大学子ども学部子ども学科³, 大野はぐくみクリニック⁴, 総合川崎臨港病院小児科⁵, 松山赤十字病院小児科⁶, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・発達神経病態学⁷
- P-004 日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度 (PARS) を用いた当院小児科発達外来の実態調査
○堀谷美奈, 赤池洋人, 近藤英輔
川崎医科大学小児科
- P-005 発達障害を併存する知的障害の遺伝学的解析発達障害を併存する知的障害の遺伝学的解析
○永井盛博¹, 中川栄二^{1,2}, 竹下絵里², 後藤雄一²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部²
- P-006 NIRS (近赤外分光法) を用いた前頭葉機能の評価と自閉症スペクトラム徴候との関連に関する検討
○新美妙美, 稲葉雄二, 山内翔子, 本林光雄, 西村貴文, 柴 直子
信州大学医学部小児科
- P-007 ひらがな単語音読における学年間の読み特性の質的な違い
一語彙指導の客観的効果判定指標の確立へ向け一
○内山仁志¹, 関あゆみ^{2,3}, 田中大介^{2,3}, 矢口幸康^{2,3}, 谷中久和^{2,3}, 新井田孝裕¹, 小枝達也^{2,3}
国際医療福祉大学保健医療学部¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科², 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部³
- P-008 5・6 歳児における同画探索 (MFF) 検査を用いた「熟慮性－衝動性」の測定と発達プロフィールによる特徴についての検討
○山川紀子¹, 杉野典子¹, 田中滋己^{1,2}, 河合優年³, 山本初実²
国立病院機構三重中央医療センター小児科¹, 国立病院機構三重中央医療センター臨床研究部², 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科³
- P-009 ADHD Summer Treatment Program で薬物療法を必要とした一例
○中島正幸^{1,2}, 山下裕史朗², 松石豊次郎²
筑後市立病院小児科¹, 久留米大学医学部小児科²
- P-010 自閉症スペクトラム障害のある児における予防接種絵カードの有用性の検討
○森 瞳子¹, 永井利三郎¹, 古川恵美², 古藤雄大¹
大阪大学医学系研究科保健学専攻¹, 畿央大学教育学部現代教育学科²
- P-011 ソーシャルストーリーズとコミック会話を利用した診療の経験
○高木一江
小児療育相談センター
- P-012 保健所主催による就学前発達障害児療育教室のアンケート調査結果
○細谷まち子
佐久総合病院小児科

- P-013** 熊本市における発達障がい支援コーディネーター養成事業の取り組み
○大谷宜伸¹, 中村恭子^{1,2}
熊本市子ども発達支援センター¹, 熊本市児童相談所²
- P-014** 視覚選択的注意の困難を認めた超低出生体重児への療育
○水田めぐみ¹, 奥村智人¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 福井美保², 若宮英司³, 玉井 浩²
大阪医科大学 LD センター¹, 大阪医科大学小児科², 藍野大学医療保健学部³
- P-015** 術後先天性心疾患患者の発達予後と支援に関する研究
○鈴木由香^{1,2}, 日野香織¹, 桑原こずえ³, 森本武彦³, 河邊美香⁴, 福田光成⁴
市立八幡浜総合病院小児科¹, 愛媛大学医学部地域救急医療学講座², 愛媛県立こども療育センター小児科³, 愛媛大学医学部小児科⁴
- P-016** 少量 L-dopa 療法により, 認知機能の改善, 発語を獲得した自閉性障害 1 女児例
○泉 鉉吉¹, 星野恭子¹, 新井幸佳²
南和歌山医療センター小児科¹, 南和歌山医療センター精神科²
- P-017** 発達障害児の専門医療機関への紹介時期についての検討
○伊住浩史, 石川尚子, 松藤博紀, 杉尾陽子, 市山高志, 杉尾嘉嗣
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科
- P-018** 発達外来受診が途絶えた症例の検討
○中野加奈子
六甲アイランド甲南病院小児科
- P-019** 神戸市思春期相談・居場所事業利用者の作業遂行能力の変化について
○篠川裕子¹, 高田 哲¹, 辻 薫², 大歳太郎³
神戸大学大学院保健学研究科¹, 大阪発達総合療育センター², 関西福祉科学大学³
- P-020** 音楽療法にて劇的に変化した自閉性障害児例の経験—少量 L-ドパ療法との考察—
○小松原麗¹, 星野恭子²
国立病院機構和歌山医療センター音楽療法士¹, 国立病院機構和歌山医療センター小児科²
- P-021** 発達障害者支援状況に関する地域比較—第 2 報—
○小倉加恵子, 中島八十一
国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室

第 1 日目 ポスター 第 5 会場〔大分オアシスタワーホテル〕

- 17:10~18:25 てんかん・けいれん 1 (S346)
座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
石崎義人 (九州大学大学院成長発達医学)
- P-022** 東葛飾版てんかん QOL 調査票の提案
○中山智博¹, 中山尚子¹, 岩川善英², 丸山 博¹
松戸クリニック小児科¹, 岩川小児科²
- P-023** 小児初回無熱性発作における再発リスクの前方視研究 (第 2 報)
○高見勇一, 井上道雄, 黒川大輔, 伴 紘文
姫路赤十字病院小児科
- P-024** 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ 12 症例の臨床的検討
○大野 武¹, 小林 悠¹, 大橋 伯¹, 赤坂紀幸¹, 遠山 潤¹, 笹川陸夫², 山本俊至³
国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院精神科², 東京女子医科大学統合医科学研究所³
- P-025** グルコーストランスポーター 1 異常症 (Glut-1DS) 14 例の臨床的特徴とケトン食療法の長期効果
○青天目信¹, 下野九理子^{1,2}, 橋本なつ子¹, 山崎早苗¹, 新寶理子¹, 中野さやか¹, 東 純史¹, 岩谷祥子¹, 富永康仁^{1,2}, 沖永剛志¹, 柳原恵子³, 永井利三郎⁴, 大藺恵一¹
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科³, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁴
- P-026** 小児光感受性後頭葉てんかんの臨床的特徴
○大山龍介, 是松聖悟, 泉 達郎
大分大学小児科, 神経小児科

- P-027 熱性けいれんと Hb, Plt の関連性についての検討**
○近藤英輔, 赤池洋人, 堀谷美奈, 加藤 敦, 藤本洋樹
川崎医科大学小児科
- P-028 ACTH 療法と少量 topiramate の併用が著効した症候性 West 症候群の一例**
○大城あずさ, 玉城邦人
琉球大学医学部小児科
- P-029 5 歳時知的発達が良好であった West 症候群患児の長期予後と臨床基礎病態**
○松崎美保子^{1,2}, 浅井美紗¹, 大澤真木子¹
東京女子医大小児科¹, 東埼玉中川の郷療育センター²
- P-030 漸減をせずに ACTH 療法を終了した West 症候群の検討—治療効果を中心に—**
○児玉一男¹, 小俣 卓¹, 新井ひでえ², 田邊雄三³
千葉県こども病院神経内科¹, 千葉医療センター², そがこどもクリニック³
- P-031 症候性 West 症候群の 2 症例における MR Spectroscopy (MRS) の経時的検討**
○今村 淳, 松尾直樹, 小嶋瑛美子, 丸田香奈子
岐阜県総合医療センター小児科
- P-032 ドラベ症候群で検出される CACNA1A 遺伝子変異の電気生理学的特性**
○大守伊織¹, 大内田守²
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学²
- P-033 Dravet 症候群 2 例に対する Levetiracetam の治療経験**
○中川温子, 沖田 空, 親里嘉展, 西山敦史, 足立昌夫
加古川市民病院機構加古川西市民病院小児科
- P-034 胃腸炎に伴いけいれんを認めた乳幼児例における血液検査結果の検討**
○スビヤントケイジ, チョンピンフィー, 緒方怜奈, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科
- P-035 軽症胃腸炎に伴うけいれんの反復に対する胃腸炎時カルバマゼピン予防内服**
○井上道雄, 黒川大輔, 伴 紘文, 高見勇一
姫路赤十字病院小児科
- P-036 STXBP1 関連てんかん脳症のてんかんおよび神経学的所見の経時的変化**
○植田佑樹¹, 今井克美¹, 保立麻美子¹, 山口解冬¹, 那須裕郷¹, 高山留美子¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹, 下島圭子², 山本俊至²
静岡てんかん・神経医療センター¹, 東京女子医科大学総合医科学研究所²
- P-037 瞬目の反復により光突発反応を自己誘発していた女児**
○斎藤義朗¹, 松田悠子¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 宮田章子²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, さいわいこどもクリニック²
- P-038 乳児期早期に無菌性髄膜炎罹患を契機に低カルシウム血症によるけいれん群発を認めた 1 例**
○小川加奈^{1,2}, 鈴木保宏²
大阪府立急性期総合医療センター小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科²
- P-039 重度の精神運動発達遅滞と難治性てんかんを伴う脳梁周囲脂肪腫の一女児例**
○山本真由美¹, 神内 済¹, 西田智子^{2,3}, 小西行彦², 伊藤 進²
内海病院小児科¹, 香川大学医学部小児科², 香川大学教育学部³
- P-040 中枢神経症状を合併した先天性魚鱗癬様紅皮症の 1 例**
○後藤裕介^{1,2}, 畠山和男^{2,3}, 相原正男²
山梨県立中央病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², あけぼの医療福祉センター³
- P-041 EB ウイルス感染に伴う意識障害, けいれん重積で発症し, MRI 拡散強調画像で可逆性変化を呈した 6 歳女児例**
○鎌倉 妙, 平木彰佳, 菊地正広
日立製作所日立総合病院小児科
- P-042 Total asphyxia 患児の乳児期のてんかん発作の検討**
○坂口友理, 富田 直, 後藤知英, 生田陽二, 荒井洋実, 荒熊智宏, 三山佐保子
東京都立小児総合医療センター神経内科
- P-043 Acquired epileptiform opercular syndrome の 2 例**
○中務秀嗣, 塩田睦記, 平野嘉子, 石垣景子, 舟塚 真, 小国弘量, 大澤真木子
東京女子医科大学医学部小児科

- P-044** 徐波睡眠期に持続性棘徐波複合を呈した Panayiotopoulos 症候群の 1 例
○平野嘉子, 小国弘量, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- P-045** 外性器異常を伴う X 連鎖性滑脳症 (XLAG) の 1 例: 難治性痙攣とその基礎病態
○池内真代, 阿部直歩, 関口和人, 前田知己, 泉 達郎
大分大学医学部小児科
- P-046** 細菌性髄膜炎のけいれん発作時脳波で局在起始の突発性発作波を認めた一女兒例
○山本寿子^{1,2}, 宮本雄策^{1,2}, 橋本修二², 福田美穂², 新井奈津子², 宇田川紀子², 村上浩史², 山本 仁²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²

第 1 日目 ポスター 第 6 会場 [大分オアシスタワーホテル]

- 17:10~18:25** 発達障害一般 (S354)
座長 森本武彦 (愛媛県立子ども療育センター)
岩松浩子 (大分県立病院小児科)
- P-047** 自閉性障害における少量 L-ドパ単剤療法 (0.5 mg/kg) の有効性と長期投与に関する検討
○星野恭子^{1,2}, 磯野有章子¹, 長尾ゆり¹, 木村一恵¹, 八森 啓¹, 野村芳子¹, 瀬川昌也¹
瀬川小児神経学クリニック¹, 南和歌山医療センター小児科²
- P-048** ADHD 治療薬の睡眠に対する影響—アクチグラフを用いての評価—
○荒木章子, 岡山亜貴恵, 鈴木菜生, 松本直也, 高橋 悟, 東 寛
旭川医科大学小児科
- P-049** ナルコレプシーと診断された ADHD の 20 歳男性
○加藤久美
太田睡眠科学センター
- P-050** アトモセチンを投与した 12 歳未満と 12 歳以上の日本人小児 AD/HD 患者における患者背景, 有効性及び安全性の年齢層別解析
○平田祐子¹, 多喜田康志², 山崎裕義³, 高橋道宏^{1,4}
日本イーライリリー株式会社医学科学本部¹, 日本イーライリリー株式会社研究開発本部統計科学², 日本イーライリリー株式会社信頼性保証本部安全性情報部³, 高橋心療クリニック⁴
- P-051** 島根大学医学部附属病院長子どものこころ診療部の診療状況
○岸 和子¹, 和氣 玲², 内田由里³, 瀬島 齊³, 美根 潤¹, 山口清次¹
島根大学医学部小児科¹, 島根大学医学部精神科², 松江赤十字病院³
- P-052** 後天性特発性小頭症 (Idiopathic Acquired Microcephaly) の発達予後と注意欠陥・多動性障害の関連について
○喜多俊二^{1,2}, 前垣義弘², 大野耕策²
獨協医科大学越谷病院小児科¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²
- P-053** 子どもの眠りの質問票にみる発達障害と睡眠障害
○平田郁子^{1,2}, 桑田綾乃^{2,3}, 橘 雅哉^{1,2}, 加藤久美^{3,4}, 下野九理子^{1,2,3}, 毛利育子^{1,2,3}, 谷池雅子^{1,2,3}, 大蘭恵一¹
大阪大学医学部小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター², 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科³, 愛仁会太田総合病院睡眠障害センター⁴
- P-054** 高機能自閉症スペクトラム障害児における肥満についてのアンケート調査
○水野賀史¹, 宮地泰士², 浅井朋子³, 今校正行³, 齋藤伸治³
名古屋市立西部医療センター小児科¹, 名古屋市あけぼの学園², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野³
- P-055** 思春期の過眠における発達障害の合併
○桑田綾乃^{1,2}, 平田郁子^{1,2}, 橘 雅弥^{1,2}, 木村志保子², 下野九理子^{1,2}, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科¹, 大阪大学小児科²

- P-056 自閉症スペクトラムの小児に対する長期的オキシトシン点鼻治療の安全性と効果**
 ○橋 雅弥^{1,2}, 平田郁子², 桑田綾乃¹, 山本知加¹, 實藤和佳子¹, 中村 歩³, 大石雅子³,
 下野九理子^{1,2}, 毛利育子^{1,2}, 尾仲達史⁴, 木村 正⁵, 大藺恵一², 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学連合小児発達学研究所¹, 大阪大学医学系研究科小児科², 大阪大学医学部附属病院薬剤
 部³, 自治医科大学生理学教室⁴, 大阪大学医学系研究科産婦人科⁵
- P-057 自閉症スペクトラム障害児の発達指数・知能指数の経過**
 ○後藤晴美, 後藤珠子, 藤野玲子
 さいたま市総合療育センターひまわり学園小児科
- P-058 自閉症スペクトラム障害のある子どもの感覚過敏についての検討**
 ー特別支援学校での保護者への食行動に関する質問紙調査からー
 ○高野美由紀¹, 田能綾佳²
 兵庫教育大学特別支援教育¹, 高知県立盲学校²
- P-059 宮城県極低出生体重児発達支援事業「さとめんこ」における広汎性発達障害児スクリーニングの中間報告**
 ○涌澤圭介¹, 高橋立子², 奈良千恵子³, 呉 繁夫³
 宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター新生児科²,
 東北大学病院小児病態学講座³
- P-060 自閉症スペクトラム障害と酸化ストレス**
 ○田沼直之¹, 宮田理英², 林 雅晴³
 東京都立府中療育センター小児科¹, 東京北社会保険病院小児科², 東京都医学総合研究所脳発達・
 神経再生研究分野³
- P-061 ウィリアムズ症候群患児 (者) における心的回転と視点取得の発達過程に関する検討**
 ○平井真洋¹, 中村みほ¹, 倉橋直子², 村松友佳子¹, 倉橋宏和², 水野誠司²
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院²
- P-062 自閉性障害における G-protein-coupled receptor 37 (GPR37/PaelR) 遺伝子変異に誘導される小胞体スト
 レス**
 ○小島華林, 神保恵理子, 山形崇倫, 森 雅人, 桃井眞里子
 自治医科大学医学部小児科
- P-063 発達障害における攻撃的, 非社会的行動の検討**
 ○中村由紀子, 島崎真希子, 小松祐美子, 中野瑛子, 松岡雄一郎, 宮田世羽, 岡 明
 杏林大学医学部小児科
- P-064 学齢期前後で知的機能の遅れが目立たなくなった PDD 児の検討**
 ○黒田 舞¹, 浜野晋一郎², 成田有里¹, 南谷幹之³, 田中 学², 菊池健二郎²
 埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医
 療センター保健発達部³
- P-065 不登校と発達障害に関する検討ー第 2 報ー**
 ○岡山亜貴恵, 鈴木菜生, 松本直也, 荒本章子, 高橋 悟, 東 寛
 旭川医科大学小児科
- P-066 本邦の注意欠陥/多動性障害 (ADHD) 小児患者に対する併存障害別薬剤処方の現状**
 ○小原 拓^{1,2,3}, 栗山進一^{1,2,4}
 東北メディカル・メガバンク機構¹, 東北大学大学院医学系研究科分子疫学分野², 東北大学病院薬
 剤部³, 東北大学災害科学国際研究所⁴
- P-067 排尿異常を呈した注意欠如多動性障害に対する薬物療法の効果**
 ○田島大輔, 松尾宗明
 佐賀大学
- P-068 当科における発達障害児への向精神薬の使用の現状**
 ○清水 純, 小黒範子
 とちぎリハビリテーションセンター小児科
- P-069 乳幼児健診で異常を指摘されず, 学齢期に発達障害と診断された症例の検討**
 ○阪上由子, 澤井ちひろ, 吉岡誠一郎, 西倉紀子, 龍神布紀子, 高野知行, 岡田眞子, 竹内義博
 滋賀医科大学小児科

第 1 日目 ポスター 第 7 会場〔大分オアシスタワーホテル〕

- 17:10~18:25 奇形、染色体異常／発達 (S362)
- 座長 西村 陽 (京都府立医科大学大学院、京都府立与謝の海病院)
福島直喜 (大分医師会立アルメイダ病院小児科)
- P-070 Dentato-olivary dysplasia と虚血性変化を認めた 18 トリソミー剖検例
○大越優美^{1,2}, 林 雅晴², 森田昌男³
東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所², 船橋二和病院小児科³
- P-071 atretic cephalocele に脳室周囲結節状異所性灰白質を合併した 1 女児例
○巨田元礼, 米谷 博, 川谷正男, 大嶋勇成
福井大学医学部小児科
- P-072 SETBP1 新規変異を認めた Schinzel-Giedion 症候群の 1 例
○竹内章人¹, 岡本伸彦²
国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²
- P-073 細菌性髄膜炎を発症して診断された腰部皮膚洞の一例
○寺田志津子
国立病院機構大阪医療センター小児科
- P-074 DNA マイクロアレイにより診断された 2q31.1 欠失症候群の一例
○新井田要¹, 黒田文人², 三谷裕介², 横井彩乃², 池野 郁²
金沢医科大学病院遺伝子医療センター¹, 金沢大学医学部小児科²
- P-075 乳児期より嚥下障害、無気肺の形成を認めた 14 番染色体異常症の 1 例
○細田千佳¹, 久保田智香¹, 齋田泰子¹, 斉藤恭子², 瀬島 齊², 中村和幸³, 戸川雅美³, 大野耕策³
国立病院機構松江医療センター小児科¹, 松江赤十字病院小児科², 鳥取大学医学部脳神経小児科³
- P-076 Chiari 奇形 type 3 の新生児症例
○伊勢由佳子, 吉岡誠一郎, 龍神布紀子, 西倉紀子, 高野知行, 竹内義博
滋賀医科大学小児科
- P-077 17p13.3 重複症候群の 1 例
○大橋育子¹, 黒田友紀子¹, 黒澤健司¹, 和田敬仁², 小坂 仁²
神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科²
- P-078 特徴的顔貌、成長障害、精神運動発達遅滞、高カルシウム血症を呈した遠位関節拘縮症の女児例
○鳥尾倫子, 鳥巢浩幸, 酒井康成, 磯部菜摘, 石崎義人, 實藤雅文, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学分野
- P-079 当院で出生した二分脊椎症例の検討
○三谷裕介¹, 横井彩乃¹, 黒田文人¹, 新井田要²
金沢大学小児科¹, 金沢大学子どものこころの研究センター²
- P-080 宮城県における孔脳症・水頭無脳症・裂脳症の発生率
○福與なおみ¹, 富樫紀子², 高橋立子³, 才津浩智⁴, 萩野谷和裕^{1,5}
東北大学医学部小児科¹, 宮城県立こども病院神経科², 仙台赤十字病院周産期センター NICU³,
横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴, 拓桃医療療育センター小児神経科⁵
- P-081 滑脳症もしくは皮質下帯状異所性灰白質の変異検索における MLPA 法の有用性
○高橋信也, 加藤光広, 阿部暁子, 早坂 清
山形大学医学部小児科
- P-082 頭部 MRI が診断の端緒となった 18q-症候群の 2 男児例
○中島啓介, 白井謙太郎, 荒木 聡, 馬場伸平, 森山剣光, 金子節子, 菅原祐之
東京医科歯科大学医学部小児科
- P-083 全前脳胞症 5 例における浸透圧調節障害とその臨床意義の検討
○中嶋美咲, 関口和人, 清水未希, 前田知己, 是松聖悟, 泉 達郎
大分大学小児科, 神経小児科
- P-084 染色体体早期解離症候群 (PCS 症候群: premature chromatid separation syndrome) 3 例の頭部 MRI 所見の検討
○杉本真里¹, 相場佳織¹, 小山典久¹, 小俣 卓², 横地健治¹
豊橋市民病院小児科¹, 千葉県こども病院神経科²

- P-085** てんかん, 精神遅滞を合併した Turner 症候群の 1 例
○市川和志
小田原市立病院小児科
- P-086** 当科で経験した Aicardi 症候群の発達予後に関する検討
○松田悠子, 中川栄二, 石山昭彦, 齋藤貴志, 齋藤義朗, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- P-087** 先天性内頸動脈欠損症を合併した Nager 症候群の女児例
○チョンピンフィー, 緒方怜奈, スピヤントケイジ, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科
- P-088** 4p-症候群 5 症例のけいれん発作に対する臭化物の有効性
○中野さやか^{1,2}, 山崎早苗^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 東 純史^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目信^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 沖永剛志^{1,2}, 酒井則夫¹, 永井利三郎^{1,2,4}, 大藺恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学連合小児発達学研究所³, 大阪大学医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁴
- P-089** 胎児診断で発見された中枢神経系奇形の 5 例—当院における出生前・出生後の対応を中心に—
○内田由里, 齋藤恭子, 瀬島 齊
松江赤十字病院小児科
- P-090** 小児神経外来に運動発達の遅れで受診した初診時 1 歳未満児 34 例の検討
○小橋孝介^{1,2}, 津留智彦², 奥村恵子²
鴨川市立国保病院小児科¹, 国保松戸市立病院小児医療センター小児科²
- P-091** 5 歳時における, 発達パターンと上肢の協調運動検査との関連についての検討
○杉野典子¹, 山川紀子¹, 田中滋己^{1,2}, 山本初実²
国立病院機構三重中央医療センター小児科¹, 国立病院機構三重中央医療センター臨床研究部²
- P-092** 7 歳 6 ヶ月から 9 歳の子どもの行動特性の発達の变化に母親の養育行動が及ぼす影響
○鈴木浩太¹, 北 洋輔^{1,2}, 加我牧子³, 三砂ちづる⁴, 竹原健二⁵, 稲垣真澄¹
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 日本学術振興会特別研究員², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所³, 津田塾大学学芸学部国際関係学科⁴, 国立成育医療研究センター研究所成育政策科学研究部⁵
- P-093** 早産児・正期産児における嗅覚反応の比較
○西田智子¹, 小西行彦², 山本真由美³, 磯部健一², 伊藤 進²
香川大学教育学部¹, 香川大学医学部小児科², 内海病院小児科³
- P-094** 音声解析を用いた言語発達評価—先天性難聴児への応用—
○前林英貴¹, 滝口哲也², 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科¹, 神戸大学大学院工学研究科²

第 1 日目 ポスター 第 8 会場〔全労済ソレイユ〕

- 17:10~18:25 脳性麻痺・療育 1/血管障害/脳外科領域/不随意運動, 基底核/その他……………(S370)
座長 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)
福田冬季子 (浜松医科大学小児科学)
- P-095** 沖縄県における脳性麻痺の発生率について (1988-2009 年)
○當山真弓, 當山 潤, 金城陽子
沖縄小児発達センター小児科
- P-096** 東日本大震災被災地の重症心身障害児者のご家族へのアンケート調査
○田中総一郎^{1,2}, 萩野谷和裕², 乾 健彦², 遠藤若葉², 涌澤圭介², 呉 繁夫¹
東北大学医学部小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児科²
- P-097** 重症心身障害児・者における血中亜鉛濃度についての検討
○石井希代子
国立病院機構福島病院小児科
- P-098** 気管腕頭動脈叢を合併し救命し得た一重症児例
○高橋智子, 遠藤あゆみ, 桃木恵美子, 河村由生, 石井和嘉子, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 瀧上達夫, 藤田之彦, 麦島秀雄
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

- P-099 四肢麻痺児・者に対するボツリヌス治療の検討**
○當山 潤, 當山真弓, 金城陽子
沖縄小児発達センター小児科
- P-100 重症心身障害者施設でのミキサー食注入の試み**
○松藤博紀, 伊住浩史, 石川尚子, 市山高志, 杉尾嘉嗣
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科
- P-101 遠隔バイタル情報伝達システムを利用した在宅生活について**
○小沢 浩
島田療育センターはちおうじ神経小児科
- P-102 両側視床病変を呈した Percheron 動脈梗塞の 1 例**
○高木篤史, 桑原健太郎, 藤野 修, 伊藤保彦
日本医科大学小児科
- P-103 中大脳動脈解離により脳梗塞を来した一例**
○上原太一, 須貝みさき, 比屋根真彦, 松岡剛司, 大府正治
沖縄県立南部医療センターこども医療センター
- P-104 COL4A1 変異の臨床的多様性**
○平林伸一¹, 才津浩智²
長野県立こども病院神経小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-105 脳梗塞で発症した片側性もやもや病の一例**
○久保田弘樹¹, 矢野珠巨¹, 高橋 勉¹, 豊野美幸²
秋田大学大学院医学研究科機能展開医学系小児科¹, 秋田県立医療療育センター²
- P-106 RNF213 遺伝子が wild type にもかかわらず, 生後 5ヶ月に発症したもやもや病の 1 女児例**
○竹下美佳, 小穴信吾, 森地振一郎, 山中 岳, 星加明徳
東京医科大学病院小児科
- P-107 頭部外傷後に二相性発作と遅発性脳浮腫を起こした 2 症例**
○近藤典子, 板村真司, 西村洋子, 玉崎章子, 前垣義弘, 大野耕策
鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科
- P-108 症候の異なる発作性ジスキネジアにおける PRRT2 遺伝子変異の有無**
○榎日出夫¹, 横田卓也¹, 大守伊織², 大内田守³, 小林勝弘⁴
聖隷浜松病院小児神経科¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学³, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学⁴
- P-109 ICCA 症候群および乳児期発症良性癲癇性疾患における PRRT2 遺伝子解析**
○大内田守¹, 小林勝弘², 榎日出夫³, 横田卓也³, 伊予田邦昭^{4,5}, 吉永治美², 大守伊織⁶
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学², 聖隷浜松病院小児神経科³, 広島市立広島市民病院小児科⁴, 福山こども発達支援センター⁵, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学⁶
- P-110 経管栄養中の重症心身障害児 (者) における低カルニチン血症に対する L-カルニチン投与量の検討**
○脇坂晃子¹, 山田晋也¹, 辻 隆範¹, 中村奈美¹, 丸箸圭子¹, 大野一郎¹, 関 秀俊¹, 新井田要²
国立病院機構医王病院小児科¹, 金沢大学子どものこころの発達研究センター²
- P-111 左半側空間無視と左片麻痺をきたした脳回異常の一例**
○桐野友子, 藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 遠藤彰一
国立病院機構香川小児病院神経内科
- P-112 色素性乾皮症患者における医療的ケアについてのアンケート調査**
○宮田理英¹, 林 雅晴², 田沼直之³, 神山 潤⁴
東京北社会保険病院小児科¹, 東京都医学総合研究所こどもの脳², 東京都立府中療育センター小児科³, 東京ベイ浦安市川医療センター小児科⁴
- P-113 追跡調査からみる被災児童の特徴**
○岩垂喜貴
国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科
- P-114 新病院移転後の集中治療室の利用状況と小児神経疾患との関連の検討**
○杉山延喜¹, 池上真理子^{1,2}, 横山淳一^{1,3}, 松田晋一¹, 宮下好洋¹
東海大学医学部専門診療学系小児科¹, 東海大学医学部八王子病院小児科², 東海大学医学部大磯病院小児科³

- P-115 小児悪性腫瘍患者の神経合併症の実態把握**
 ○水野葉子¹, 太田さやか¹, 三牧正和¹, 下田木の実¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 岡 明¹, 水口 雅²
 東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医科学系研究科国際保健学専攻発達医科学分野²
- P-116 睡眠障害学童における尿中メラトニン代謝産物の測定について**
 ○星野恭子¹, 田沼直之², 福水道郎²
 南和歌山医療センター小児科¹, 東京都立府中療育センター小児科²
- P-117 ギランバレー症候群後に転換性障害, 睡眠リズム障害を来した一例**
 ○野村恵子¹, 川谷淳子¹, 小菅浩史¹, 小篠史郎¹, 木村重美²
 熊本大学医学部附属病院発達小児科¹, 熊本大学大学院生命科学研究部発達小児科²
- P-118 ICCA 症候群に片麻痺性片頭痛を合併した 1 家系**
 ○大守伊織¹, 大内田守², 小林勝弘³, 吉永治美³
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学³

第 1 日目 ポスター 第 9 会場 (全労済ソレイユ)

- 17:10~18:25 電気生理/画像/遺伝 (S378)
 座長 安藤直樹 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 犬塚 幹 (佐世保中央病院小児科)
- P-119 点頭てんかん動物モデルにおける成熟後海馬可塑性**
 ○辻 恵, 加藤総夫
 東京慈恵会医科大学大学院細胞・統合神経科学神経生理学研究室
- P-120 West 症候群・非典型 Rett 症候群の原因遺伝子 CDKL5 のノックアウトマウス作製・解析による病態機序の解明**
 ○田中輝幸, 水口 雅
 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野
- P-121 大田原症候群の核医学検査 (SPECT, PET) 所見について—早期ミオクロニー脳症との比較—**
 ○植松 貢¹, 廣瀬三恵子¹, 中山東城¹, 菊池敦生¹, 佐藤優子¹, 小林朋子¹, 福與なおみ¹, 萩野谷和裕², 呉 繁夫¹
 東北大学医学部小児科¹, 拓桃医療療育センター小児神経科²
- P-122 Infantile-onset leukoencephalopathy with high lactate level and slow improvement が考えられた白質脳症の 1 男児例**
 ○水落弘美, 藤井克則, 高木敦子, 塩浜 直, 内川英紀, 河野陽一
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-123 計算タスクが引き起こす高周波脳波の変化—線り上の有無による違い—**
 ○長澤哲郎^{1,2}, 寺嶋 宙², 柴田明子², 安藤亜希², 柏井洋文², 久保田雅也², 上田理誉³, 師田信人⁴
 都立府中療育センター小児科¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 国立成育医療研究センター総合診療部³, 国立成育医療研究センター脳神経外科⁴
- P-124 聴覚過敏性を有する自閉症スペクトラム障害児における嫌悪音刺激に対する聴性誘発磁場反応の検討**
 ○下野九理子^{1,2}, 松崎順子³, 橋 雅弥^{2,3}, 富永康仁^{1,2}, 毛利育子^{1,3}, 谷池雅子^{1,3}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学子どものこころの分子統御機構研究センター³
- P-125 自閉症スペクトラム障害児の聴覚過敏性と聴覚誘発磁場 (AEF) の慣れの現象についての検討**
 ○松崎順子¹, 下野九理子², 橋 雅弥³, 富永康仁², 毛利育子², 谷池雅子²
 大阪大学大学院連合小児発達学研究科子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科小児科学³
- P-126 発達性読み書き障害の視覚情報処理機能障害の解明: 大細胞系刺激による fMRI-脳波同時計測**
 ○山本寿子^{1,2}, 北 洋輔^{1,3}, 小林朋佳¹, 山崎広子¹, 加我牧子¹, 稲垣真澄¹, 星野英紀⁴, 花川 隆⁴
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 日本学術振興会特別研究員³, 国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター⁴
- P-127 早期発症摂食障害における脳 MRI 画像解析**
 ○ハツ賀千穂¹, 友田明美¹, 間部裕代²
 福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 熊本大学医学部発達小児科²

- P-128 Tay-Sachs 病における音に対する驚愕反応と脳幹誘発反応の検討**
 ○仲村貞郎¹, 斎藤義朗¹, 石山昭彦¹, 斎藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害部²
- P-129 新生児高アンモニア血症 3 例における頭部画像の検討**
 ○荒井洋実¹, 後藤知英¹, 新藤 潤², 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター新生児科²
- P-130 Menkes 病における CT 血管造影の有用性**
 ○緒方怜奈, チョンビンフィー, スビヤントケイジ, 吉良龍太郎
 福岡市立こども病院小児神経科
- P-131 Leigh 脳症の自然経過: 小児慢性特定疾患研究事業登録患者 127 名の検討**
 ○柳橋達彦^{1,2,3}, 小崎健次郎^{2,3}, 高橋孝雄³
 青溪会駒木野病院児童精神科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 慶應義塾大学医学部小児科³
- P-132 重症心身障害児の頭部 MRI における中心橋被蓋路病変の病態に関する検討**
 ○水口浩一¹, 上田理登¹, 中村小百合¹, 余谷暢之¹, 山本真梨子^{1,2}, 前川貴伸¹, 久保田雅也²
 国立成育医療研究センター総合診療部¹, 国立成育医療研究センター神経内科²
- P-133 発症時脳内石灰化がみられなかった Aicardi-Goutieres 症候群の 1 例**
 ○菊地正広¹, 平木彰佳¹, 鎌倉 妙¹, 栗屋智就²
 日立総合病院小児科¹, 京都大学医学部附属病院小児科²
- P-134 CASK 遺伝子変異を認めた小頭症・小脳脳幹部低形成を伴う発達遅滞 (MR/MICPCH) の一例**
 ○澁谷郁彦¹, 渡邊順子¹, 大矢崇志¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 岡本伸彦², 林 深³, 稲澤譲治³, 松石豊次郎¹
 久留米大学医学部小児科¹, 大阪母子保健総合医療センター遺伝診療科², 東京医科歯科大学難治疾患研究所³
- P-135 失調, 歯牙低形成を伴う髄鞘形成不全症の姉妹例**
 ○田中 学¹, 浜野晋一郎¹, 才津浩智², 井上 健³, 菊池健二郎¹, 松浦隆樹², 大場温子¹, 南谷幹之⁴
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部³, 埼玉県立小児医療センター保健発達部⁴
- P-136 MN1, CHEK2, および NF2 を含む 22q12.1-q12.2 領域 2.6Mb 欠失の Pierre Robin sequence1 男児例**
 ○片岡 愛¹, 黒田友紀子², 大橋育子², 田上幸治¹, 相田典子³, 小坂 仁⁴, 松井 潔¹, 黒澤健司²
 神奈川県立こども医療センター総合診療科¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科², 神奈川県立こども医療センター放射線科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴
- P-137 ネグレクトによるビタミン B1 欠乏から前障, 外包に異常信号を認めた Wernicke 脳症と考えられた 1 例**
 ○南 弘一, 津田祐子, 田村 彰, 吉川徳茂
 和歌山県立医科大学小児科
- P-138 一側海馬・島・側頭葉病変を呈した単純ヘルペス脳炎の 1 男児例**
 ○粒良昌弘¹, 水落弘美², 高木敦子³, 内川英紀³, 藤井克則³
 君津中央病院小児科¹, 君津中央病院新生児科², 千葉大学大学院医学研究院小児病態学³
- P-139 拡散強調画像に皮質, 皮質下白質, 脳梁病変を呈したムンプス脳炎の一例**
 ○北村太郎, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博
 仙台市立病院小児科
- P-140 tractography を用いた早産児の脳梁と発達予後との関係**
 ○森田高史¹, 長谷川龍志², 諸戸雅治¹, 吉田路子¹, 森岡茂己³, 千代延友裕¹, 徳田幸子¹, 西村 陽^{1,4}, 森本昌史¹
 京都府立医科大学大学院小児発達医学¹, 国立病院機構舞鶴医療センター², 福井愛育病院³, 京都府立与謝の海病院⁴
- P-141 ヘテロ接合性 SLC2A10 遺伝子変異を呈した動脈蛇行症候群の 1 男児例**
 ○藤井克則, 高橋喜子, 高木敦子, 水落弘美, 塩浜 直, 内川英紀, 河野陽一
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-142 遺伝学的手法を用いた精神発達遅滞の原因検索**
 ○朝比奈美輝¹, 平野恵子¹, 松林朋子¹, 福田冬季子¹, 平野浩一², 遠藤雄策², 鶴井 聡³
 浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所², 聖隷沼津病院小児科³

第 2 日目 第 1 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 9:00~10:15 教育講演 2 (S120)
 神経-心奇形連鎖: Noonan 症候群類縁疾患における, RAS-MAPK シグナル伝達経路の関与
 座長 松石豊次郎 (久留米大学小児科)
 講演 青木洋子 (東北大学医学部遺伝病学分野)
- 10:15~11:30 教育講演 3 (S121)
 Epilepsy surgery for children with tuberous sclerosis complex
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 講演 大坪 宏 (Division of Neurology, Clinical Neurophysiology, The Hospital for Sick Children, Department of Paediatrics, University of Toronto, Toronto, Canada)
- 13:00~13:45 会員総会
- 13:45~14:10 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 14:10~14:20 2013 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator (S190)
 Clinic-neurologic status of HIV infected children depending on the routes of infection
 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 講演 Mirzaeva Dilnoza Farkhadovna (Tashkent Medical Institute of Postgraduate Education Tashkent, Uzbekistan)
- 14:20~14:30 The 2013 JSCN International Educational Fellowship (2013 年日本小児神経学会国際教育助成) (S191)
 Electroretinographic (ERG) responses in epileptic children treated with vigabatrin
 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 講演 Mohammad Kazem Bakhshandeh Bali (Mofid Pediatrics Educational Hospital, Tehran, Iran)
- 14:30~15:45 招待講演 3 (S118)
 The use of NIRS in the neonatal intensive care unit. From physiology to monitoring
 座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
 講演 Gunnar Naulaers (The Neonatal Intensive Care Unit, University Hospitals Leuven, Leuven, Belgium)
- 15:45~17:00 教育講演 4 (S122)
 小児てんかん原性病巣の外科病理—ビジュアルに示す—
 座長 水口 雅 (東京大学発達医科学)
 講演 柿田明美 (新潟大学脳研究所病理学分野)
- 19:00~21:00 B & D 編集委員会主催 B & D セミナー: 英語で論文を書こう! パート 3 (S171)
 座長 加我牧子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
 1) Hint for academic use of medical journal articles
 長房 望 (エルゼビア・ジャパン株式会社ヘルスサイエンス学会誌出版部)
 2) 無手勝流英文論文の書き方: オパ! シンイチ・スタイル
 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
 3) How to improve your article B & D Session
 司会: 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

第 2 日目 第 2 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 8:00～10:20 シンポジウム 5：神経免疫、脱髄性疾患、感染、予防接種副反応…………… (S139)
- 座長 布井博幸（宮崎大学小児科）
 市山高志（鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科）
- 1) Guillain-Barré 症候群
西本幸弘（国立病院機構和歌山病院小児科）
 - 2) 中枢性感染免疫疾患のサイトカイン動態
市山高志（鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科）
 - 3) 脱髄性疾患と予防接種副反応—予防接種後 ADEM—
鳥巢浩幸（九州大学病院総合周産期母子医療センター）
 - 4) 中枢神経系自己免疫性脱髄疾患における抗リン脂質抗体の関与と基礎病態，治療法の検討
是松聖悟（大分大学医学部地域医療・小児科）
- 10:20～11:10 一般演題（口演）発達障害一般 1…………… (S265)
- 座長 石崎朝世（公益社団法人発達協会王子クリニック）
 森 健治（徳島大学大学院子どもの保健・看護学分野）
- O-104 発達障害児の問題行動に対し漢方療法が有用であった 5 例
○渡部承平
愛媛県立今治病院小児科
- O-105 簡易版就学前幼児（4-6 歳）用発達障害チェック・リスト：5 歳児健診での有用性の検討
○宮崎雅仁^{1,2}，伊藤弘道²，東田好広²，森 健治³，香美祥二²
小児科内科三好医院小児科¹，徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学分野²，徳島
大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部子どもの保健・看護学分野³
- O-106 AD/HD 児における笑顔・怒り顔への脳血流反応—NIRS を用いた脳活動計測
○市川寛子^{1,2}，仲渡江美³，島村圭一⁴，作田由衣子¹，山口真美⁵，金沢 創⁶，作田亮一⁴
中央大学研究開発機構¹，日本学術振興会²，大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科³，獨協医科大学
越谷病院子どものこころ診療センター⁴，中央大学文学部⁵，日本女子大学人間社会学部心理学科⁶
- O-107 広汎性発達障害の乳幼児期における併存症状の検討
○福田邦明¹，橋本俊顯²，伊藤道徳³，西野一三⁴，埜中征哉⁴
麻田総合病院神経小児科¹，徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²，国立病院機構香川小児
病院小児科³，国立精神・神経医療研究センター疾病研究第一部⁴
- O-108 ASD を伴った ADHD 児に対するアトモキセチン & 徐放性塩酸メチルフェニデート併用療法の効果
○鈴木直光
筑波こどものこころクリニック小児科
- 11:10～12:00 一般演題（口演）発達障害一般 2…………… (S267)
- 座長 小枝達也（鳥取大学地域学部地域教育学科）
 家島 厚（茨城県立子ども福祉医療センター）
- O-109 自閉症スペクトラム障害のアウトカム：知能の変化について
○黒川 徹，横溝裕子，重藤由紀
誠愛リハビリテーション病院神経内科（小児部門）
- O-110 自閉症児に対する視覚支援を用いたバランス能力の検討
○大歳太郎¹，高田 哲²
関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科¹，神戸大学大学院保健学研究科²
- O-111 注意欠陥多動性障害児における薬物療法の効果
○本山和徳，宮崎睦子，松坂哲應，長岡珠緒
長崎県立こども医療福祉センター小児科
- O-112 3 テスラ MRI を用いた発達障害の海馬サイン—海馬溝の狭小化の遅滞—
○加藤俊徳，吉野加容子
株式会社脳の学校脳環境情報部門

O-113 DCDQ 日本語版を用いた日本におけるいわゆる DAMP 症候群の推定頻度

○中井昭夫¹, 三橋美典², 吉澤正尹², 川谷正男³, N. Wilson Brenda⁴

福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 福井大学教育地域科学部², 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学³, Alberta Health Services and University of Calgary⁴

14:30~16:50 シンポジウム 8: 医療過疎地域における震災からの復興—小児医療と子どものメンタルヘルスと発達障害児医療支援…………… (S149)

座長 永井利三郎 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
千田勝一 (岩手医科大学小児科)

- 1) 東日本大震災支援委員会の取り組みの現状と課題
永井利三郎 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
- 2) 小児医療の現場から
瀧向 透 (岩手県立大船渡病院小児科)
- 3) 被災地における障害児者の医療と生活の今後の課題
田中総一郎 (東北大学小児科)
- 4) 被災地の子どものメンタルヘルス (精神科の立場から)
増子博文 (福島県立医科大学医学部神経精神医学講座)

19:00~21:00 産科医療補償制度検討委員会・日本医療機能評価機構主催公開セミナー: 産科医療補償制度の現状と問題点に関する実践セミナー…………… (S173)

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
根津敦夫 (横浜療育医療センター小児神経科)

- 1) 運営組織からみた審査および原因分析の現状と問題点, 補償対象と補償対象外の具体例, 制度の見直しの動向
上田 茂 (日本医療機能評価機構)
- 2) 診断書作成医からみた現状, 問題点と要望 1
飯田浩一 (大分県立病院総合周産期母子医療センター新生児科)
- 3) 診断書作成医からみた現状, 問題点と要望 2 (適応拡大の提案)
福島直喜 (大分市医師会立アルメイダ病院小児科)
- 4) 補償審査委員からみた現状, 問題点と効果的な診断書作成の助言
岡 明 (東京大学医学部小児科)
- 5) 産科開業医からみた本制度の意義, 現状, 問題点と要望
岩永成晃 (岩永レディスクリニック, 大分県産婦人科医会)

第 2 日目 第 3 会場 [大分オアシスタワーホテル]

7:00~9:00 テーマ企画: 小児神経科 臨床検討会—あなたは Super Child Neurologist (sCN)…………… (S166)

座長 花井敏男 (福岡市立心身障がい福祉センター)
松石豊次郎 (久留米大学小児科)

- 1) 右中大脳動脈領域に多発性脳梗塞を呈した 3 歳女児例
工藤可奈子, 藤井克則, 高木敦子, 塩浜 直, 内川英紀, 河野陽一
(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- 2) 突然の意識障害で発症した 1 歳女児
松岡剛司, 上原太一, 須貝みさき, 比屋根真彦, 大府正治
(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)
- 3) 発熱, 嘔吐, 異常行動, 意識障害で発症しショック, 多臓器不全に至った 9 歳男児例
丸山慎介¹, 豊島光雄¹, 酒井 勲², 河野嘉文¹
(鹿児島大学病院小児科¹, 国分生協病院小児科²)
- 4) 鼻翼低形成と難聴, 出生前より成長障害, 筋緊張低下を認め, 出生後, 更に進行性増悪を呈した女児例
内山伸一, 佐藤奈々江, 小林 修, 中嶋美咲, 宮原弘明, 泉 達郎
(大分大学小児科, 神経小児科)

- 10:20~11:20 一般演題 (口演) 感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) 1 (S268)
 座長 細矢光亮 (福島県立医科大学小児科)
 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院・感染症センター小児神経科)
- O-114 ポリオ生ワクチン接種後に急性横断性脊髄炎となった乳児例
 ○大府正治, 松岡剛司, 比屋根真彦, 須貝みさき, 上原太一
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- O-115 ムンプスワクチンによる脳症の一例
 ○後藤実加, 木村 丈, 渡辺陽和, 松岡太郎
 市立豊中病院
- O-116 亜急性硬化性全脳炎と麻疹ワクチン応答の個人差に関連する遺伝子多型についての検討
 ○石崎義人, 鳥巢浩幸, 酒井康成, 李 守永, 實藤雅文, 原 寿郎
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学 (小児科)
- O-117 オブソクローヌス・ミオクローヌス症候群に対してリツキシマブが有効であった一例
 ○豊嶋大作¹, 森貞直哉¹, 中川 卓¹, 高見勇一², 竹島泰弘¹, 高田 哲³, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 姫路赤十字病院小児科², 神戸大学大学院保健学研究科³
- O-118 慢性再発性小脳失調症の臨床的特徴と予後: オブソクローヌス・ミオクローヌス症候群, 急性小脳失調症と比較して
 ○鈴木ことこ¹, 浜野晋一郎², 松浦隆樹^{2,3}, 大場温子², 菊池健二郎^{2,3}, 田中 学², 南谷幹之⁴, 井田博幸³
 慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 東京慈恵会医科大学小児科³, 埼玉県立小児医療センター保健発達部⁴
- O-119 小児慢性活動性 EBV 感染症の経過中に認められる中枢神経合併症
 ○石川暢恒, 小林良行, 藤井裕士
 広島大学病院小児科
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 7: ノバルティスファーマ株式会社 (S206)
 Molecular pathophysiology and targeted therapy of tuberous sclerosis complex
 座長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 講演 David Neal Franz (Cincinnati Children's Hospital Medical Center, OH, USA)
- 14:30~16:50 シンポジウム 9: 小児がん長期生存者における中枢神経病変の評価と予防 (S152)
 座長 石田也寸志 (愛媛県立中央病院小児科)
 河野嘉文 (鹿児島大学医歯学総合研究科小児科)
- 1) 小児がん経験者の晩期合併症: シンポジウムのイントロダクション
 石田也寸志 (愛媛県立中央病院小児科)
 - 2) 小児急性白血病の晩期障害: 中枢神経系障害の発症基礎病態と, 対応策
 末延聡一^{1,2}, 岡本知子^{1,2}, 浅尾 福^{2,3}, 清田晃生^{2,3}, 秋吉健介², 泉 達郎²
 (大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業¹, 大分大学医学部小児科, 神経小児科², 大分大学医学部児童精神科³)
 - 3) 小児脳腫瘍患者における健康関連 QOL
 大園秀一 (久留米大学小児科)
 - 4) 造血幹細胞移植に関連する神経合併症
 豊島光雄 (鹿児島大学医学部小児科)
 - 5) Childhood Cancer Survivors (CCS) への成長ホルモン・性ホルモン補充療法
 横谷 進 (国立成育医療研究センター生体防御系内科)
- 19:00~20:00 イブニングセミナー 1: Meiji Seika ファルマ株式会社 (S210)
 Dravet 症候群の臨床像—軽症例と典型例の長期経過と新規抗てんかん薬を用いた治療—
 座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科学講座)
 講演 坂内優子 (東京女子医科大学小児科)

第 2 日目 第 4 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 8:00~10:20 シンポジウム 6: 筋ジストロフィーの治療戦略: 国際ガイドラインをふまえて…………… (S142)
- 座長 桒中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
松尾雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部)
- 1) 筋ジストロフィーの治療の現状と今後の展開
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 - 2) 筋ジストロフィーのリハビリテーション
前野 崇, 小林庸子 (国立精神・神経医療研究センター病院リハビリテーション科)
 - 3) 筋ジストロフィー標準的医療の均霑化に向けて
一 本邦のデュシェンヌ型筋ジストロフィー診療ガイドライン作成一
松村 剛 (国立病院機構刀根山病院神経内科)
 - 4) Duchenne 型筋ジストロフィーの心不全管理
田村拓久 (国立病院機構東埼玉病院神経内科)
 - 5) 筋ジストロフィー患者のマネジメント
石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
 - 6) Duchenne 型筋ジストロフィーの新たな治療法の開発
竹島泰弘 (神戸大学大学院医学研究科小児科)
- 10:20~11:30 一般演題 (口演) 発達…………… (S270)
- 座長 小川 厚 (福岡大学筑紫病院小児科)
糸見和也 (あいち小児保健医療総合センター神経科)
- O-120 ウィリアムズ症候群患者における顔への注意—アイトラッカーを用いた検討—
○中村みほ¹, 平井真洋¹, 倉橋直子², 村松友佳子¹, 倉橋宏和², 水野誠司²
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院²
- O-121 本邦における先天性中枢性低換気症候群の発達予後と呼吸管理
○苛原 香¹, 小沢 浩², 村松一洋³, 緒方朋実³, 荒川浩一³, 石塚丈広¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹
島田療育センター¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 群馬大学大学院医学系研究科小児科学³
- O-122 乳児の発達を睡眠覚醒リズム, ロコモーション, 視覚的共同注意からみる
○安藤亜希, 柴田明子, 寺嶋 宙, 柏井洋文, 久保田雅也
国立成育医療研究センター神経内科
- O-123 国立成育医療研究センターにおける発達評価センターの開設経過について
○山内裕子^{1,2}, 本田真美¹, 宮尾益知¹, 橋本圭司¹, 井田博幸²
国立成育医療研究センター発達評価センター¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-124 match-mismatch 法を用いた“語彙-概念リンク”の発達の検討
○杉田克生¹, 杉田記代子²
千葉大学教育学部基礎医科学¹, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科²
- O-125 極低出生体重児の乳児期における顔認知機能と 3 歳時の発達との関連について
○小西行彦¹, 西田智子², 日下 隆¹, 磯部健一¹, 伊藤 進¹
香川大学医学部小児科¹, 香川大学教育学部特別支援教育²
- O-126 マウス大脳皮質における L1 ノックダウンは, 神経細胞遊走と転写因子の発現を攪乱する
○岸本智数^{1,2}, 外崎 円¹, 伊東恭子¹, 伏木信次¹
京都府立医科大学大学院分子病態病理学¹, 京都府立医科大学大学院精神機能病態学²
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 8: 大塚製薬株式会社・ユーシービージャパン株式会社…………… (S206)
- 小児てんかん診療の実際—ビデオ脳波同時記録の役割—
- 座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
講演 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院小児科)

14:30～16:50 シンポジウム 10：難治性てんかんの病態を探る：分子遺伝学，病理，免疫，代謝異常，画像，電気生理…………… (S155)

座長 高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）
廣瀬伸一（福岡大学医学部小児科，福岡大学てんかん分子病態研究所）

- 1) 大脳皮質の発生と難治性てんかん
高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）
- 2) 難治性てんかんの分子遺伝学
加藤光広（山形大学医学部小児科）
- 3) 難治性てんかんの病態を探る一免疫
高橋幸利，山口解冬（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科）
- 4) 鉄リサイクル異常によるてんかん病理
新井信隆（東京都医学総合研究所脳病理標本リサーチセンター，東京都立神経病院検査科）
- 5) 難治小児てんかんの電気生理一特に異常高周波活動と病態との関係について一
小林勝弘¹，東田好広^{1,2}（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学分野
（岡山大学病院小児神経科）¹，徳島大学病院小児科²）

19:00～21:00 薬事委員会主催夜間集会：適応外使用薬剤の解決に向けて今我々ができる事一発達障害に対する適応外使用薬剤と今後の適応承認獲得への実践を探る…………… (S176)

座長 大澤真木子（東京女子医科大学小児科）
林 雅晴（東京都医学総合研究所）

- 1) 日本における未承認薬・適応外薬についての概論
伊藤 進（香川大学医学部小児科）
- 2) 小児の発達障害に対する薬物療法について
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- 3) 適応外使用薬の公知申請の進め方
藤井達哉（滋賀県立小児保健医療センター）
- 4) 筋ジストロフィー臨床試験ネットワーク
清水玲子^{1,2}，木村 円¹，尾方克久³，小牧宏文⁴
（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター¹，東京女子医科大学病院小児科²，国立病院機構東埼玉病院臨床研究部神経内科³，国立精神・神経医療研究センター⁴）

第 2 日目 第 5 会場（大分オアシスタワーホテル）

8:30～9:30 結節性硬化症教育研究セミナー：大分県，大分大学医学部小児科…………… (S164)
mTOR inhibition in tuberous sclerosis：A possible global treatment for a multisystemic disease

座長 岡 明（東京大学大学院小児科）
講演 Paolo Curatolo（The Pediatric Neurology Unit, Tor Vergata University Hospital of Rome, Rome, Italy）

10:20～11:00 一般演題（口演）電気生理（脳波，筋電図，脳磁図など）…………… (S273)

座長 後藤一也（国立病院機構西別府病院）
宮島 祐（東京医科大学小児科）

O-127 先天性大脳白質形成不全症の 3 亜型における臨床経過と ABR 所見の特徴

○田中 学¹，浜野晋一郎¹，黒澤健司²，才津浩智³，井上健二郎⁴，菊池健二郎¹，松浦隆樹¹，大場温子¹，南谷幹之⁵

埼玉県立小児医療センター神経科¹，神奈川県立こども医療センター遺伝科²，横浜市立大学医学部遺伝学³，国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部⁴，埼玉県立小児医療センター保健発達部⁵

O-128 小児期発症運動異常症の磁気刺激 silent period による皮質内抑制と半球間抑制の検討

○久保田雅也，柏井洋文，寺嶋 宙，安藤亜希，柴田明子
国立成育医療研究センター神経内科

- O-129 小児集中治療室における持続脳波モニタリングでとらえた発作時脳波の検討**
 ○荒熊智宏¹, 後藤知英¹, 生田陽二¹, 荒井洋実¹, 坂口友理¹, 富田 直¹, 清水直樹², 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター集中治療科²

- O-130 脳波検査時におけるラメルテオンの使用効果 (第 2 報)**
 ○赤池洋人, 近藤英輔, 堀谷美奈, 加藤 敦, 藤本洋樹
 川崎医科大学小児科

11:00~11:40 一般演題 (口演) 画像 (S274)

座長 宇都宮英綱 (ももち浜福岡山王病院放射線診断科)
 大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- O-131 GPR56 遺伝子に変異を認めた Bilateral frontoparietal polymicrogyria の 1 例**
 ○藤井裕士¹, 小林良行¹, 石川暢恒¹, 小野浩明², 加藤光広³
 広島大学病院小児科¹, 県立広島病院小児科², 山形大学医学部小児科³

- O-132 脊柱への軽微な外力に伴う脊髄疾患**
 ○山下進太郎^{1,2}, 奥村彰久³, 新島新一¹, 清水俊明³, 笠井 恵⁴, 熊田聡子⁴, 山本敦子⁵, 菅原祐之⁵, 藤井克則⁶, 林 雅晴²
 順天堂大学医学部付属練馬病院¹, 東京都神経科学総合研究所², 順天堂大学小児科³, 東京都立神経病院神経小児科⁴, 東京医科歯科大学小児科⁵, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学⁶

- O-133 脳梁欠損を伴う大脳半球間嚢胞の新たな分類・臨床的特徴についての検討**
 ○安部信平¹, 奥村彰久¹, 五十嵐鮎子¹, 池野 充¹, 齋藤雅子¹, 清水俊明¹, 宮嶋雅一²
 順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部脳神経外科²

- O-134 ACTH 療法により頭部 MRI 画像の一過性増悪を認めた COL4A1 異常症の 1 例**
 ○安藤直樹¹, 根岸 豊¹, 服部文子¹, 伊藤哲哉¹, 才津浩智², 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学医学部小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学²

12:00~13:00 ランチョンセミナー 9: 日本ケミカルリサーチ株式会社 (S207)

小児神経疾患にともなう内分泌代謝異常の診療

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
 講演 依藤 亨 (大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科)

14:30~15:20 一般演題 (口演) 末梢神経

座長 岩崎信明 (茨城県立医療大学)
 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院)

- O-135 脊髄性筋萎縮症 1 型に水頭症を合併した一例**
 ○金井創太郎¹, 塩見 梢¹, 松下浩子¹, 岡野創造¹, 早川克己², 森本昌史³
 京都市立病院小児科¹, 京都市立病院放射線科², 京都府立医科大学小児科³

- O-136 脊髄性筋萎縮症 1 型 (Werdnig-Hoffmann 病) 4 例の治療経過の検討**
 ○服部妙香^{1,2}, 山下加奈子¹, 小西絢子¹, 匹田典克¹, 瀬戸俊之¹, 田中勝治¹, 松岡 収¹, 新宅治夫¹, 服部英司²
 大阪市立大学医学部小児科¹, 西宮すなご医療福祉センター²

- O-137 劣性遺伝性 Charcot-Marie-Tooth 病 (CMT4) の遺伝子型と表現型について**
 ○林真貴子, 阿部暁子, 早坂 清
 山形大学医学部小児科

- O-138 MRI 上で著明な末梢神経の腫大を認めた慢性運動性ポリニューロパチーの 1 例**
 ○阿部裕一¹, 寺嶋 宙², 星野英紀^{2,3}, 颯佐かおり¹, 酒井哲郎^{1,4}, 大竹 明¹, 久保田雅也², 山内秀雄¹
 埼玉医科大学小児科¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 東京大学大学院医学系研究科小児医学³, 友愛記念病院小児科⁴

- O-139 Hopkins 症候群の急性期における脳血管関門の透過性変化, 髄液サイトカイン変化の検討**
 ○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 大場温子¹, 菊池健二郎^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³, 井田博幸²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³

- 15:20～16:10 一般演題 (口演) 発達障害一般 3 (S277)
 座長 真田 敏 (岡山大学大学院教育学研究科発達支援学)
 安元佐和 (福岡大学医学部小児科)
- O-140 MOQ-T 日本語版を用いた日本におけるいわゆる DAMP (Deficit of Attention, Motor control and Perception) 症候群の推定頻度
 ○中井昭夫¹, 三橋美典², 川谷正男³, M. Schoemaker Marina⁴
 福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 福井大学教育地域科学部², 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学³, Center for Human Movement Sciences, University Medical Center Groningen, University of Groningen⁴
- O-141 幼児期における自閉症児の尿メタボローム解析
 ○杉江陽子^{1,2}, 福田冬季子¹, 遠藤雄策³, 平野浩一³, 河野由美⁴, 小黒範子⁵, 清水 純⁵, 杉江秀夫⁴
 浜松医科大学小児科¹, 葵町こどもクリニック², 浜松市発達医療総合センター小児神経科³, 自治医科大学小児科⁴, とちぎリハビリテーション病院小児科⁵
- O-142 Vector-NIRS 法による酸素消費を指標とした語意理解の定量診断法: 発語のない小児への適用
 ○吉野加容子, 加藤俊徳
 株式会社脳の学校脳環境情報部門
- O-143 次世代シーケンサーを用いた小児神経疾患のターゲットシーケンス解析のワークフロー
 ○黒田友紀子¹, 大橋育子¹, 高野亨子², 和田敬仁², 松井 潔³, 小坂 仁², 黒澤健司¹
 神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 神奈川県立こども医療センター総合診療科³
- O-144 発達障害に伴う海馬回旋遅滞と第一次運動野の形態的関連性
 ○岡 徳之^{1,2}, 吉野加容子¹, 加藤俊徳¹
 株式会社脳の学校脳環境研究部門¹, 国際医療福祉大学大学院後期博士課程²
- 16:10～17:00 一般演題 (口演) 発達障害一般 4 (S279)
 座長 岩崎裕治 (東京都立東部療育センター)
 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)
- O-145 自閉症スペクトラム幼児の症状特徴の性差検討
 ○今枝正行^{1,2}, 舟橋吉美¹, 宮地泰士², 浅井朋子², 水野賀史², 鷺見 聡³, 齋藤伸治²
 名古屋市北部地域療育センター小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野², 名古屋市西部地域療育センター³
- O-146 発達障害患者 CNV 領域におけるシナプス関連分子の解析
 ○松本 歩¹, 山形崇倫¹, 野崎靖之¹, 神保恵理子¹, 永田浩一², 桃井真里子¹
 自治医科大学小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部²
- O-147 日本語版 Impairment Rating Scale (IRS) の標準値: 信頼性と妥当性の検討
 ○大谷良子¹, 金谷梨恵^{1,2}, 井上 建^{1,2}, 島村圭一^{1,2}, 山下裕史朗³, 作田亮一¹
 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター¹, 獨協医科大学越谷病院小児科², 久留米大学医学部小児科³
- O-148 AD/HD の薬物治療における徐放性 MPH および ATX の併用療法の検討
 ○洲鎌倫子, 石崎朝世
 公益社団法人発達協会王子クリニック
- O-149 精神発達遅滞・てんかんを主症状とする新たな疾患: 先天性 GPI 欠損症の疾患概念の確立に向けて
 ○村上良子^{1,2}, 井上徳光³, 九鬼一郎⁴, 高橋幸利⁵, 木下タロウ^{1,2}
 大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野¹, 大阪大学免疫学フロンティアセンター糖鎖免疫学², 大阪府立成人病センター研究所分子遺伝学³, 大阪府立総合医療センター小児神経内科⁴, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター⁵
- 19:00～21:00 第 7 回子どもの眠り研究会

第 2 日目 第 6 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 10:20~11:10 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 5 (S280)
 座長 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)
 岡 牧郎 (岡山大学病院小児神経科)
- O-150 新規抗てんかん薬の 7 歳未満のてんかん患者における効果と副作用
 ○渡邊年秀, 福村 忍, 皆川公夫
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科
- O-151 静注抗けいれん薬を用いた抗てんかん薬整理の検討
 ○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹
 産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- O-152 Lamotrigine の適正投与量設定における lamotrigine 血中濃度測定的重要性
 ○皆川公夫, 渡邊年秀, 福村 忍
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科
- O-153 難治性てんかん患者に対するレベチラセタムの長期効果
 ○松尾光弘^{1,2}, 松坂哲應¹, 里 龍晴², 藤井明子², 森内浩幸²
 長崎県立こども医療センター小児科¹, 長崎大学小児科²
- O-154 当院における小児期に発症したてんかん患者における Levetiracetam の有効性と安全性の検討
 ○森地振一郎, 山中 岳, 小穴信吾, 石田 悠, 鈴木一徳, 竹下美佳, 宮島 祐, 星加明徳
 東京医科大学病院小児科
- 11:10~11:50 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 6 (S282)
 座長 南 武嗣 (たけのこ会みなみクリニック)
 岩崎俊之 (北里大学医学部小児科)
- O-155 小児期発症難治性てんかん症例に対する levetiracetam の長期効果
 ○岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 外川正生²,
 塩見正司², 富和清隆^{1,3}
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科², 東大寺福祉療育病院³
- O-156 Levetiracetam 大量療法の長期効果
 ○沢石由記夫, 豊野美幸
 秋田県立医療療育センター小児科
- O-157 新規抗てんかん薬有効例の臨床的特徴
 ○村上貴孝
 中野こども病院
- O-158 てんかん患児の頭痛に対するトピラマートの有用性
 ○金村英秋¹, 佐野史和¹, 反頭智子¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 10: 大日本住友製薬株式会社 (S207)
 発作症状と作用機序に基づく難治性部分てんかんの薬剤選択
 座長 舘野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
 講演 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 14:30~15:40 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 7 (S283)
 座長 今村 淳 (岐阜県総合医療センター小児科)
 齋藤真木子 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
- O-159 新生児・乳児に対するホスフェニトイン使用経験
 ○中澤美賀^{1,2}, 奥村彰久¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 中原絵里¹, 五十嵐鮎子^{1,2}, 山下進太郎²,
 新島新一², 清水俊明¹
 順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学練馬病院小児科²

O-160 てんかん群発状態に対するフェノバルビタール静注製剤とホスフェニトイン静注製剤の使用状況と効果の検討

○石堂雄毅, 須貝研司, 石山昭彦, 齋藤貴志, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院

O-161 てんかん治療における修正アトキンス食と古典的ケトン食の有効性の比較

○熊田知浩, 宮嶋智子, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 林 安里, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

O-162 小児てんかんに対する柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性についての検討

○栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

O-163 難治性てんかん発作に対する LEV との二剤併用療法の薬剤選択基準の検討

○内山伸一, 岡成和夫, 泉 達郎
大分大学小児科, 神経小児科

O-164 1 歳以降に発症した epileptic spasms に対する ACTH 療法の効果

○福井美保¹, 島川修一¹, 柏木 充², 田辺卓也³, 九鬼一郎⁴, 川脇 寿⁴, 最上友紀子⁵, 鈴木保宏⁵, 中野さやか⁶, 沖永剛志⁶, 永井利三郎⁷
大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科², 田辺・門林こどもクリニック小児神経内科³, 大阪市立総合医療センター小児神経内科⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁵, 大阪大学大学院医学系研究科小児科学⁶, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学⁷

O-165 結節性硬化症に伴う West 症候群における ACTH 療法の有用性の検討

○石原尚子¹, 夏目 淳¹, 東 慶輝¹, 中田智彦^{1,2}, 丸山幸一³, 三浦清邦^{1,3}, 根来民子¹, 渡邊一功^{1,4}
名古屋大学医学部小児科¹, 名古屋第一赤十字病院小児科², 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科³, 愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科⁴

15:40~16:40 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 8 (S286)

座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

津留 陽 (国立病院機構長崎病院小児科)

O-166 West 症候群に対する ACTH 2 回目投与の検討

○中尻智史, 吉永治美, 遠藤文香, 井上拓志, 林裕美子, 桃木恵美子, 小林勝弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)

O-167 ウエスト症候群の断薬に関する検討

○鈴木保宏¹, 木水友一¹, 木村貞美¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子^{1,2}, 鳥邊泰久²
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, 鳥辺医院²

O-168 ACTH 治療中に発作症状と脳波所見に解離を呈した点頭てんかんの 1 例

○岸 高正¹, 小林良行², 藤井裕士², 石川暢恒²
国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科¹, 広島大学病院小児科²

O-169 VitB6 内服療法が著効した初発てんかん性スバスム症例の脳波所見の検討

○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{2,3}, 田中 学³, 菊池健二郎^{2,3}, 松浦隆樹^{2,3}, 大場温子³
埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター神経科³

O-170 てんかんを有する重度障害児者への levetiracetam 投与により尿閉を来した 8 症例の検討

○足立昌夫¹, 常石秀市², 河崎洋子³
加古川西市民病院小児科¹, 医療福祉センターきずな小児科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³

O-171 抗ヒスタミン薬が熱性けいれん持続時間に与える影響の前方視的検討

○木村 丈, 後藤実加, 渡辺陽和, 松岡太郎
市立豊中病院小児科

19:00~20:00 イブニングセミナー 2: 大塚製薬株式会社 (S210)

小児領域における高アンモニア血症のマネージメント

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学教室)

講演 村山 圭 (千葉県こども病院代謝科)

第 2 日目 第 7 会場 (大分オアシスタワーホテル)

8:00~10:20 シンポジウム 7: 新生児神経学的モニタリングと長期予後 (S146)

座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)

- 1) 新生児脳障害と中枢神経モニタリング
奥村彰久 (順天堂大学医学部小児科)
- 2) 新生児脳低温療法中の aEEG と長期予後
清水正樹 (埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科)
- 3) NICU における早産児脳波モニタリングと予後
城所博之¹, 夏目 淳², 早川昌弘³
(名古屋大学医学部附属病院小児科¹, 名古屋大学大学院医学研究科小児科学², 名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門³)
- 4) 新生児の自発運動評価: 脳機能評価指標としての可能性
前田知己 (大分大学医学部小児科, 神経小児科)
- 5) Neurological monitoring in neonates and their long term prognosis
Gunnar Naulaers (The Neonatal Intensive Care Unit, University Hospitals Leuven, Leuven, Belgium)

10:20~11:50 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 2 (S288)

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

長村敏生 (京都第二赤十字病院小児科)

- O-172 小児低酸素性脳症後遺症の検討 (1) 長期予後と後遺症への対応**
○栗原まな^{1,2}, 宍戸 淳^{1,2}, 吉橋 学¹, 藤田弘之¹, 小萩沢利孝^{1,2}, 井田博幸²
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-173 小児低酸素性脳症後遺症の検討 (2) 体幹の低緊張と視覚障害を残した 13 歳女児例**
○藤田弘之¹, 栗原まな^{1,2}, 宍戸 淳^{1,2}, 吉橋 学¹, 小萩沢利孝^{1,2}
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- O-174 急性脳症の ABC 分類 第 1 報: A 型脳症の重症度バリエーション**
○山本啓之¹, 早川文雄², 辻 健史², 深沢達也³, 久保田哲夫³, 根岸 豊⁴, 城所博之¹, 石原尚子¹, 安藤直樹⁴, 奥村彰久⁵, 齋藤伸治⁴, 夏目 淳¹
名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 名古屋市立大学大学院小児科⁴, 順天堂大学医学部小児科⁵
- O-175 急性脳症の ABC 分類 第 2 報: C 型脳症の画像所見と症状の関連性**
○根岸 豊¹, 安藤直樹², 早川文雄², 辻 健史², 深沢達也³, 久保田哲夫³, 山本啓之⁴, 奥村彰久⁵, 夏目 淳⁴, 齋藤伸治¹
名古屋大学医学部小児科¹, 岡崎市民病院脳神経小児科², 安城更生病院小児科³, 名古屋大学医学部小児科⁴, 順天堂大学医学部小児科⁵
- O-176 急性脳症の ABC 分類 第 3 報: B 型脳症の概念について**
○早川文雄¹, 辻 健史¹, 加藤 徹¹, 細川洋輔¹, 深沢達也², 久保田哲夫², 根岸 豊³, 安藤直樹³, 齋藤伸治³, 山本啓之⁴, 夏目 淳⁴, 倉橋直子⁵, 奥村彰久⁶
岡崎市民病院脳神経小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋市立大学小児科³, 名古屋大学小児科⁴, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁵, 順天堂大学小児科⁶
- O-177 急性脳症 ABC 分類 第 4 報: B 型脳症における Bright Tree Appearance の意義について**
○細川洋輔¹, 早川文雄¹, 辻 健史¹, 加藤 徹¹, 深沢達也², 久保田哲夫², 根岸 豊³, 安藤直樹³, 齋藤伸治³, 山本啓之⁴, 夏目 淳⁴, 倉橋直子⁵, 奥村彰久⁶
岡崎市民病院脳神経小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋市立大学小児科³, 名古屋大学小児科⁴, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁵, 順天堂大学小児科⁶
- O-178 急性脳症 ABC 分類 第 5 報: B 型脳症における Bright Tree Appearance 出現時期の臨床的意義について**
○深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 早川文雄², 辻 健史², 加藤 徹², 根岸 豊³, 安藤直樹³, 齋藤伸治³, 山本啓之⁴, 夏目 淳⁴, 奥村彰久⁵
安城更生病院小児科¹, 岡崎市民病院脳神経小児科², 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野³, 名古屋大学医学部小児科⁴, 順天堂大学医学部小児科⁵

- O-179 可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎・脳症と思われた血球貪食症候群の 1 例：可逆性脳梁膨大部病変は高サイトカイン血症が原因か？**

○池本 智¹, 菊池健二郎^{2,3}, 松浦隆樹^{2,3}, 井田博幸², 浜野晋一郎³
 富士市立中央病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学講座², 埼玉県立小児医療センター神経科³

- O-180 血球貪食症候群をきたし集中治療管理を要するも予後良好であった脳梁膨大部に一過性拡散低下を伴う急性脳炎・脳症 (MERS) の 2 例**

○温井めぐみ¹, 堀野朝子¹, 川脇 壽¹, 辻ひとみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 富和清隆¹, 石川順一², 天羽清子², 外川正生², 塩見正司³
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 愛染橋病院小児科³

- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 11：ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンスカンパニー …… (S208)**
重症心身障害児 (者) 施設の現状と入所者の栄養管理 (微量栄養素欠乏) について

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
 講演 木村昭彦 (くまもと芦北療育医療センター小児科)

- 14:30~15:40 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 3 …… (S291)**

座長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 足立昌夫 (加古川西市民病院小児科)

- O-181 ラット脳切片を用いた免疫組織化学法による自己免疫性脳炎関連抗神経抗体の同定**

○佐久間啓^{1,2}, 林 雅晴¹
 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部²

- O-182 培養細胞を用いた NMDA 型グルタミン酸受容体に対する自己抗体測定の検討**

○宮 一志¹, 田中朋美¹, 宮脇利男¹, 高橋幸利², 森 寿³
 富山大学医学部小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター小児科², 富山大学医学部分子神経科学³

- O-183 抗 GluR 抗体陽性の非ヘルペス反復性辺縁系脳炎に対する免疫抑制剤の有効性**

○井原由紀子¹, 友納優子¹, 藤田貴子¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 高橋幸利², 安元佐和¹, 廣瀬伸一¹
 福岡大学医学部小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²

- O-184 シクロホスファミド, リツキシマブ併用療法が有効であった抗 NMDA 受容体脳炎小児例**

○宮内彰彦¹, 山形崇倫¹, 中山佐与¹, 門田行史¹, 森 雅人¹, 福田冬季子¹, 杉江秀夫¹, 高橋幸利², 桃井真里子¹
 自治医科大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²

- O-185 RS ウイルス関連脳症の 2 例：発症機序についての考察**

○座波清誉¹, 松本 浩¹, 中村康子¹, 齋藤真木子², 水口 雅²
 防衛医科大学校病院小児科¹, 東京大学発達医科学²

- O-186 インフルエンザ脳症における血清 soluble CD163 の検討**

○井上裕文, 百中 宏, 梶本まどか, 松重武志
 山口大学大学院医学系研究科小児科

- O-187 マイコプラズマ感染を契機に発症し抗神経抗体の関与が示唆された線条体型急性散在性脳脊髄炎の 1 例**

○武者育麻¹, 高柳 純¹, 阿部裕一¹, 中原絵理^{2,3}, 佐久間啓³, 林 雅晴³, 山内秀雄¹
 埼玉医科大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部小児科², 東京都医学総合研究所³

- 15:40~16:50 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 4 …… (S293)**

座長 森内浩幸 (長崎大学小児科)
 千代延友裕 (京都府立医科大学小児科)

- O-188 ノロウイルス脳症に横紋筋融解症を合併した 1 例**

○伊藤弘道, 森 健治, 森 達夫, 香美祥二
 徳島大学医学部小児科

O-189 腸管出血性大腸菌血清群 O111 食中毒事例における脳症の臨床と画像的特徴

○三崎貴子¹, 八幡裕一郎², 高梨潤一³, 奥村彰久⁴, 原田雅史⁵, 多田有希², 岡部信彦^{2,6}
国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース (FETP)¹, 国立感染症研究所感染症情報センター²,
亀田メディカルセンター小児科³, 順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科⁴, 徳島大学病院放射線
科⁵, 川崎市衛生研究所⁶

O-190 ロタウイルス胃腸炎に伴い可逆性脳梁膨大部病変を認め甲状腺中毒症による重症化が疑われた女児例

○木下美沙子¹, 鈴木ことこ¹, 菊池健二郎², 井田博幸³, 浜野晋一郎²
東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 東京慈恵
会医科大学小児科³

O-191 多彩な神経症状を呈した脳幹脳炎, 脊髄灰白質炎の 1 例

○原田聡子^{1,2}, 木村 翔¹, 松井拓也¹, 平井 希¹, 前田泰宏¹, 森山陽子¹, 渡邊肇子¹, 白戸由理¹,
武藤順子¹, 林 北見¹, 高梨潤一²
東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科²

O-192 頭部外傷により二相性脳症の経過を示した 2 例

○西山将広¹, 田中 司^{1,2}, 藤田杏子¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗¹
兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 兵庫県立こども病院救急集中治療科²

O-193 当院における二相性脳症 (AESD) 9 症例の検討

○戸田壮一郎¹, 高梨潤一¹, 湯浅正太², 多田弘子³
亀田メディカルセンター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター小児神経科², 千葉県済生会
習志野病院小児科³

O-194 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) の 11 例

○中田昌利, 熊倉 啓, 内尾寛子, 秦 大資
田附興風会医学研究所北野病院小児科

19:00~21:00 社会活動委員会主催夜間集会：介護保険法等改正後の医療的ケア児（者）支援の課題……… (S179)

座長 杉本健郎（すぎもとボーン・クリニック, 社会活動委員会委員長）

1) 学齢期の今後の課題

北住映二（心身障害児総合医療療育センター小児科）

2) 医療的ケア児者マッピングからみた地域支援の課題

杉本健郎（すぎもとボーン・クリニック, 社会活動委員会委員長）

第 2 日目 第 8 会場（全労済ソレイユ）

9:00~11:30 神経遺伝病治療戦略セミナー：アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社 (S202)

ニーマン・ピック病 C 型への新たな一歩

座長 鈴木邦彦（ノースカロライナ大学神経内科名誉教授）

1) NPC1/NPC2 の構造と機能

二宮治明（鳥取大学医学部保健学科生体制御学）

2) ニーマン・ピック病 C 型の診断と治療

酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科小児科）

3) ニーマン・ピック病 C 型の Suspicion Index

戸川雅美（鳥取大学医学部脳神経小児科）

12:00~13:00 ランチョンセミナー 12：ジェンザイム・ジャパン株式会社 …………… (S208)

座長 井田博幸（東京慈恵会医科大学小児科）

臨床に役立つ治療可能なライソゾーム病の診断ポイント

1) ファブリー病

伊藤秀一（国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科）

2) ムコ多糖症 I 型・II 型

濱崎考史（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学）

3) ゴーシェ病

成田 綾（鳥取大学医学部脳神経小児科）

4) ボンベ病

石垣景子（東京女子医科大学小児科）

- 14:30~15:40 一般演題 (口演) 代謝変性疾患 2 (S295)
- 座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
呉 繁夫 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
- O-195 歯状核赤核ルイ体萎縮症 (DRPLA) における低アルブミン血症の病態について
○斎藤義朗¹, 永井盛博¹, 遠藤ゆかり¹, 齊藤祐子², 齋藤貴志¹, 須貝研司¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 鋤柄小百合³, 伊藤雅之³, 後藤雄一³
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部³
- O-196 日内変動のあるジストニアを認め、遺伝子解析で瀬川病と診断した 9 歳女児例
○奥田美津子¹, 安西理恵¹, 高木真理子¹, 高野亨子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁¹, 新宅治夫²
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野²
- O-197 痙攣重積と劇症肝炎で発症した Complex 4 欠損症の 1 例
○鈴木雄一¹, 陶山和秀², 加藤朝子², 川崎幸彦², 細矢光亮², 村山 圭¹
千葉県こども病院代謝科¹, 福島県立医科大学小児科²
- O-198 Leigh 脳症における頭部 MRI 所見の多様性
○遠藤あゆみ¹, 伊藤公嗣², 桃木恵美子¹, 河村由生¹, 石井和嘉子¹, 荒川千賀子¹, 小平隆太郎¹, 瀧上達夫¹, 藤田之彦¹, 麦島秀雄¹
日本大学医学部小児科学系小児科学分野¹, 都立広尾病院²
- O-199 ミトコンドリア DNA m.3243A>G 変異を有する 308 例の検討
○三牧正和^{1,2}, 竹下絵里^{2,3}, 西野一三⁴, 埜中征哉⁴, 後藤雄一^{2,3}
東京大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部², 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 1 部⁴
- O-200 A3243G 変異を有する MELAS と他の変異例における臨床的特徴, 筋病理, MRI 所見の比較検討
○小一原玲子, 小牧宏文, 石山昭彦, 齋藤貴志, 齋藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-201 グルコーストランスporter 1 欠損症における画像所見: 厚生労働省研究班の全国調査
○大萱俊介¹, 夏目 淳¹, 小国弘量², 石原尚子¹, 伊藤 康², 高橋 悟³, 柳原恵子⁴, 下野九理子⁵, 藤井達哉⁶
名古屋大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学小児科², 旭川医科大学小児科³, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁴, 大阪大学医学部小児科⁵, 滋賀県立小児保健医療センター小児科⁶
- 15:40~16:50 一般演題 (口演) 代謝変性疾患 3 (S298)
- 座長 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
竹島泰弘 (神戸大学大学院医学研究所小児科)
- O-202 ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症に対する MCT ミルク・オイルの有効性の検討
○中野和俊
なかの小児科クリニック, 東京女子医科大学小児科
- O-203 類似した延髄病変および小脳歯状核病変を経過中に認めたピルビン酸脱水素酵素欠損症の兄弟例
○折居建治¹, 森本将敬¹, 大西秀典², 笠原由貴子¹, 寺本貴英², 加藤善一郎², 深尾敏幸², 近藤直実²
岐阜大学医学部附属病院新生児集中治療部¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児科²
- O-204 ピルビン酸脱水素酵素 E1 α 欠損症に対するピルビン酸療法の有効性
○山崎早苗¹, 中野さやか^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 東 純史^{1,2}, 濱田悠介¹, 岩谷祥子^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 青木目信^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 沖永剛志^{1,2}, 酒井則夫¹, 永井利三郎^{3,4}, 大藺恵一^{1,4}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁴
- O-205 乳児期発症ボンベ病の国内調査—稀少疾患の現状把握と相互情報提供システム構築の試み—
○栗屋智就¹, 小篠史郎², 加藤竹雄¹, 木部哲也³, 木村重美², 古賀靖敏⁴, 佐々木征行⁵, 實藤雅文⁶, 下田木の実⁷, 豊島光雄⁸, 服部文子⁹, 三輪善之¹⁰, 横地健治³, 米衛ちひろ⁸, 埜中征哉⁵
京都大学医学部附属病院小児科¹, 熊本大学医学部附属病院², 聖霊三方原病院³, 久留米大学病院⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院⁵, 九州大学病院⁶, 都立神経病院⁷, 鹿児島大学病院⁸, 名古屋市立大学病院⁹, 昭和大学横浜市北部病院¹⁰

O-206 Iduronate 2-sulfatase knock-out mouse における中枢神経病変の電子顕微鏡所見

○田中あけみ

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学

O-207 ムコ多糖症 II 型重症型の中中枢神経障害に対する造血幹細胞移植と酵素補充療法の効果の比較

○田中あけみ¹, 濱崎考史¹, 酒井規夫², 奥山虎之³, 鈴木康之⁴, 澤田 智¹, 大橋十也⁵, 大浦敏博⁶, 麦島秀雄⁷, 大友孝信²

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学小児科学², 国立成育医療研究センター臨床検査部³, 岐阜大学医学教育開発研究センター⁴, 東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所遺伝子治療研究部⁵, 仙台市立病院小児科⁶, 日本大学医学部小児科⁷

O-208 当科で経験した表現型の異なるムコ多糖症 VII 型の 2 症例

○山下加奈子¹, 濱崎考史¹, 田中あけみ¹, 竹田洋子², 富和清隆², 新宅治夫¹

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 東大寺福祉療育病院小児科²

19:00~20:00 福山型先天性筋ジストロフィー教育研究セミナー：大分県，大分大学医学部小児科……………(S165)

Patient fibroblast alpha-dystroglycan glycosylation studies : A versatile tool for developing therapies to treat dystroglycanopathies

座長 松尾雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部)

講演 Kevin P. Campbell (Howard Hughes Medical Institute, Department of Molecular Physiology and Biophysics, University of Iowa, Carver College of Medicine, Iowa City, IA, USA)

第 2 日目 第 9 会場 (全労済ソレイユ)

10:20~11:20 一般演題 (口演) 遺伝 1……………(S300)

座長 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

O-209 小児神経疾患領域における疾患特異的 iPS 細胞の病態解析への応用

○下島圭子, 山本俊至

東京女子医科大学統合医科学研究所

O-210 マリネスコ・シェーグレン症候群の原因遺伝子 SIL1 の病態機能解析

○永田浩一¹, 稲熊 裕¹, 鈴木基正², 熊谷俊幸³

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部¹, あいち小児保健医療総合センター²,

愛知県心身障害者コロニー中央病院³

O-211 ミダゾラムが片麻痺発作抑制に有効であった小児交互性片麻痺の 1 例

○荒木 敦¹, 田邊裕子¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²

関西医科大学小児科¹, 福岡大学小児科²

O-212 小児交互性片麻痺の病因遺伝子である ATP1A3 の同定と現状について

○石井敦士¹, 斎藤義朗², 新井ひでえ³, 山下純正⁴, 木村貞美⁵, 小国弘量⁶, 池田俊郎⁷, 大橋 伯⁸, 小田洋一郎⁹, 川脇 寿¹⁰, 佐々木征行², 廣瀬伸一¹

福岡大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター小児神経科², 千葉こども病院神経科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁵, 東京女子医科大学病院小児科⁶, 宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科⁷, 西新潟中央病院小児科⁸, 茅ヶ崎市立病院小児科⁹, 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹⁰

O-213 神経線維腫症 1 型の成長障害：遺伝形式，知的障害，MRI との関連と発症機序の検討

○平野直樹¹, 松塚敦子¹, 末延聡一^{1,2}, 泉 達郎¹

大分大学医学部小児科, 神経小児科¹, 大分大学大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²

O-214 COL4A1 遺伝子変異の臨床病型の広がり：孔脳症から裂脳症まで

○萩野谷和裕¹, 加藤光広², 小坂 仁³, 横地健治⁴, 荒井 洋⁵, 和田敬仁³, 小山典久⁶, 近藤典子⁷, 高橋 悟⁸, 平林伸一⁹, 平井聡里⁵, 才津浩智¹⁰

拓桃医療療育センター¹, 山形大学小児科², 神奈川県立こども医療センター神経内科³, 聖霊三方原病院小児神経科⁴, 森ノ宮病院小児神経科⁵, 豊橋市民病院小児科⁶, 鳥取大学脳神経小児科⁷, 旭川医科大学小児科⁸, 長野県立こども病院神経科⁹, 横浜市大大学院医学研究科遺伝学¹⁰

12:00~13:00 ランチョンセミナー 13: 第一三共株式会社 (S209)

ITB 療法: 国内市販後成績と痙縮治療に果たす役割

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター)

講演 師田信人 (国立成育医療研究センター脳神経外科)

14:30~15:40 一般演題 (口演) 脳性麻痺・療育 4 (S302)

座長 杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)

栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

O-215 当センターにおける 3 歳未満の身体障害者手帳の取得状況と課題

○井坂雅子^{1,2}, 吉岡三恵子²

関西リハビリテーション病院リハビリテーション科¹, 神戸市総合療育センター小児神経科²

O-216 4 歳で電動車いすが支給された理由: 脊髄性筋萎縮症 (Spinal muscular atrophy; SMA) の場合

○須貝みさき, 大府正治, 松岡剛司, 比屋根真彦, 上原太一

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

O-217 横浜市における重症心身障害児の実態調査

○小林拓也, 神崎泰希

能見台こどもクリニック

O-218 医療型特定短期入所制度を利用した重心児の在宅支援施設の運営

○神前泰希, 小林拓也

能見台こどもクリニック

O-219 脊髄性筋萎縮症 1 型児のコミュニケーション手段について一親へのアンケート調査より

○星有理香¹, 佐々木千穂², 境 直子³, 佐藤洋子⁴, 吉田一生^{1,3}, 桜庭 聡¹, 真木 誠⁴,

境 信哉⁴, 加藤光広⁵

北海道大学大学院保健科学院¹, 熊本保健科学大学言語聴覚学専攻², 北海道文教大学人間科学部³,

北海道大学大学院保健科学研究所⁴, 山形大学医学部小児科学講座⁵

O-220 重症心身障害児・者の Body Mass Index に影響を及ぼす因子の検討

一脛骨長より算出した推定身長を用いた検討一

○木原健二^{1,2}, 河崎洋子³, 今西宏之³, 宇宿智裕³, 水戸 敬³, 高田 哲¹

神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域¹, にこにこハウス医療福祉センターリハビリテ

ーション科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³

O-221 小児の後天性脳損傷例に対するリハビリテーションとその課題

○臼田由美子, 渡辺美緒, 椎原 隆

群馬県立小児医療センター

15:40~16:40 一般演題 (口演) 脳性麻痺・療育 5 (S304)

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域)

米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

O-222 医療的ケアを要する児に対して当院 NICU から小児病棟を経て在宅へ移行させる取り組み

○高田栄子, 奈倉道明, 田村正徳

埼玉医科大学総合医療センター小児科

O-223 当院新規導入在宅呼吸器児・者の現状について

○富田 直

東京都立小児総合医療センター神経内科, 東京都立小児総合医療センター子ども・家族支援部門

O-224 医療ケアを中心にした重症心身障害児者における短期入所実態調査

○後藤一也¹, 山本重則², 宮野前健³, 大森啓充⁴

国立病院機構西別府病院小児科¹, 国立病院機構下志津病院小児科², 国立病院機構南京都病院小児

科³, 国立病院機構柳井医療センター小児科⁴

O-225 当院短期入所事業を利用する在宅重症児者の医療的ケアおよびその背景の検討

○高橋有美¹, 大塚耕右^{1,2}, 柳生一自¹, 石川 丹¹

榆の会こどもクリニック小児科¹, 北海道大学大学院医学研究科小児科²

O-226 平成 24 年度重症心身障害児者地域生活モデル事業

千葉県重症心身障害児者地域生活支援ネットワーク協議会の立ち上げ一

○山本重則

国立病院機構下志津病院小児科

O-227 Down 症児の独歩獲得に対する Squatting Posture の有用性

○花岡 繁, 木村夫美恵

東京都立北療育医療センター城南分園

第 2 日目 ポスター 第 2 会場〔iichiko 総合文化センター〕

- 17:00~18:15 てんかん・けいれん 2 (S386)
- 座長 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
秋山倫之 (岡山大学大学院発達神経病態学)
- P-143 前頭葉てんかんの治療中に退形成性上衣腫と診断した一例
○中川裕康
富山市民病院小児科
- P-144 ラモトリギン単剤使用で発作が抑制されている局在関連てんかんの 2 小児例
○森田昌男
千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
- P-145 Levetiracetam の併用が有効であった抗 NMDAR 抗体陽性難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 1 例
○榊原崇文¹, 大塚敬太¹, 河野安宣², 高橋幸利³, 田中恵子⁴, 川口昌彦², 嶋 緑倫¹
奈良県立医科大学小児科¹, 奈良県立医科大学麻酔科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³, 金沢医科大学神経内科⁴
- P-146 難治性てんかんに対するレベチラセタムの使用経験
○武藤順子¹, 林 北見², 白戸由理², 徳武翔子¹, 前田泰宏¹, 森山陽子¹, 渡邊肇子¹
東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科²
- P-147 当院における重症心身障害児の難治てんかんに対するレベチラセタム (LEV) の使用経験について
○林 安里, 熊田知浩, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 宮嶋智子, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター
- P-148 レベチラセタム中断時に発作群発を来した難治てんかんの一例
○東田好広¹, 島川清司², 森 健治³, 香美祥二¹
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部発生発達医学講座小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科², 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部子どもの保健・看護学科³
- P-149 難治頻回部分発作重積型急性脳炎慢性期のてんかん発作に対する levetiracetam の短期効果
○前垣義弘¹, 杉浦千登勢², 大野耕策¹
鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立総合療育センター小児科²
- P-150 トピラメートが著効した Malignant rolandic-sylvian epilepsy in children が疑われた 1 例
○豊野美幸¹, 矢野珠巨², 沢石由記夫¹
秋田県立療育機構秋田県立医療療育センター小児科¹, 秋田大学大学院機能展開学系小児科²
- P-151 当院におけるレベチラセタムの使用経験
○玉置一智, 高山和子, 館野昭彦
東邦大学医療センター佐倉病院小児科
- P-152 小児の痙攣に対するホスフェニトインの効果
○石井朋之, 山形崇倫, 宮内彰彦, 池田尚広, 門田行史, 森 雅人, 桃井眞里子
自治医科大学小児科
- P-153 小児難治性てんかん児に対するケトン食療法導入前後の脳波変化と発作予後の検討
○西川愛子, 塩田睦記, 平野嘉子, 伊藤 康, 坂内優子, 小国弘量, 大澤真木子
東京女子医科大学病院小児科
- P-154 ステロイド治療により言語・認知機能が著明に改善した Landau-Kleffner 症候群の 1 例
○高木敦子, 藤井克則, 内川英紀, 塩浜 直, 河野陽一
千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-155 ステロイドバルス療法が奏功したミオクロニー失立発作てんかんの一例
○西里ちづる¹, 上野弘恵¹, 高橋幸利²
国立病院機構熊本再春荘病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-156 TRH 療法を行った CDKL5 変異を伴うてんかん性脳症の 1 例
○馬場信平¹, 白井健太郎¹, 荒木 聡², 森山剣光¹, 中島啓介¹, 金子節子¹, 今井 薫³, 山本俊至⁴, 菅原祐之¹
東京医科歯科大学小児科¹, がん・感染症センター都立駒込病院小児科², 東京女子医科大学小児科³, 東京女子医科大学総合医科学研究所⁴

- P-157 柴胡加竜骨牡蛎湯が有効であった頭部前屈発作の 1 例**
○橋本修二, 山本寿子, 福田美穂, 宮本雄策, 新井奈津子, 宇田川紀子, 村上浩史, 山本 仁
聖マリアンナ医科大学病院小児科
- P-158 視床に及ぶ Dysembryoplastic neuroepithelial tumor の焦点切除術により寛解した難治性てんかんの一例**
○西倉紀子¹, 高野知行¹, 栗島勇也¹, 龍神布紀子¹, 吉岡誠一郎¹, 竹内義博¹, 田村健太郎²,
榊原崇文³, 伊藤雅之⁴
滋賀医科大学小児科¹, 奈良県立医科大学脳神経外科², 奈良県立医科大学小児科³, 国立精神・神経
医療研究センター神経研究所⁴
- P-159 てんかん外科手術を受けた症候性 West 症候群における高周波解析—マルチモダリティ間での比較**
○岩谷祥子^{1,2}, 山崎早苗^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 中野さやか^{1,2}, 東 純史^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目信^{1,2},
下野九理子^{1,2,3}, 沖永剛志^{1,2}, 押野 悟^{2,4}, 貴島晴彦^{2,4}, 永井利三郎^{1,2,5}, 大藺恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学
院連合小児発達学研究所³, 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学⁴, 大阪大学大学院医学系研
究科保健学専攻生命育成看護科学⁵
- P-160 複雑部分発作を認め、不全型結節硬化症と考えられた 2 歳女児例**
○米衛ちひろ¹, 石川珠代¹, 花谷亮典², 佐野のぞみ¹
国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島大学病院脳神経外科²

第 2 日目 ポスター 第 3 会場〔大分オアシスタワーホテル〕

- 17:00~18:15 脳性麻痺・療育 2 (S392)**
座長 長尾秀夫 (愛媛大学教育学部特別支援教育講座特別支援医学)
佐藤圭右 (社会福祉法人聖母の騎士会恵の聖母の家)
- P-161 当科で長期入院した神経疾患症例の検討**
○河村由生, 桃木恵美子, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 瀧上達夫, 藤田之彦
日本大学医学部小児科
- P-162 CPA で救急搬送された重症心身障害児 (者) の検討**
○武下草生¹, 渡辺好宏¹, 本井宏尚¹, 市川和志²
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 小田原市立病院小児科²
- P-163 CO2 ナルコーシスを呈した片側性横隔神経麻痺の重症心身障害者例**
○赤星進二郎, 小松倫子, 中野英二
国立病院機構鳥取医療センター小児科
- P-164 重症児における嚥下造影検査の有用性**
○宮本晶恵, 福田郁江, 田中 肇, 岡 隆治, 長 和彦
北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科
- P-165 重症児・者のカルニチン欠乏の実態とその補充療法の検討**
○常石秀市, 田口和裕, 八木隆三郎
医療福祉センターさずな小児科
- P-166 障害児 (者) におけるアイソカルジュニア R1.0®の使用前後の血清カルニチン値の検討**
○大瀧 潮¹, 上石晶子¹, 有本 潔¹, 石塚丈弘¹, 苛原 香¹, 木実谷哲史¹, 眞山義民², 山本重則²
島田療育センター小児科¹, 国立病院機構下志津病院小児科²
- P-167 カルニチン無添加経腸栄養剤投与重症児 (者) の現状とその治療**
○木村昭彦, 百崎 謙, 長田陽一, 松葉佐正, 篠原 誠
くまもと県北療育医療センター小児科
- P-168 神経筋疾患における栄養素欠乏症の評価**
○塩田陸記, 舟塚 真, 村上てるみ, 石垣景子, 大澤真木子
東京女子医科大学病院小児科
- P-169 経管栄養実施中の患児における尿中ヨウ素及び甲状腺機能検査**
○高橋長久¹, 内野俊平¹, 太田さやか¹, 下田木の実¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 水口 雅²
東京大学医学部小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学²
- P-170 心拍変動が著明に低下した重症心身障害者の臨床的特徴**
○尾上幸子, 幸田徳二, 渡邊 誠
枚方総合発達医療センター

- P-171 重症心身障害児の自律神経機能評価に関する研究**
 ○日野香織¹, 鈴木由香^{1,2,3}, 桑原こずえ⁴, 森本武彦⁴, 福田光成³
 市立八幡浜総合病院小児科¹, 愛媛大学医学部地域救急医療学講座², 愛媛大学医学部小児科³,
 愛媛県立子ども療育センター小児科⁴
- P-172 重症心身障害児者における NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) のプラクティカルガイド作成にむけて
 一試案の作成と提示**
 ○西田裕哉¹, 井合瑞江², 石川悠加³, 土島智幸⁴, 藤井達哉⁵, 松井秀司⁶, 田邊 良¹, 古山晶子¹,
 由井崇子¹, 村山恵子^{1,7}, 北住映二¹
 心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター神
 経内科², 国立病院機構八雲病院小児科³, 浜仁会手稲浜仁会病院小児科⁴, 滋賀県立小児保健医療
 センター神経内科⁵, 鶴風会東京小児療育病院小児科⁶, げんきこどもクリニック⁷
- P-173 尖足に対する A 型ボツリヌス毒素療法の検討**
 ○大見 剛, 平安京美, 大城 聡, 仲田行克
 沖縄整肢療護園小児科
- P-174 バクロフェン髄注療法における合併症と治療抵抗例の検討**
 ○寺嶋 宙¹, 柴田明子¹, 安藤亜希¹, 柏井洋文¹, 師田信人², 久保田雅也¹
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター脳神経外科²
- P-175 側彎に伴う気管狭窄に対し腕頭動脈離断術を施行した重症心身障害児の 2 例**
 ○澤浦法子¹, 釜蒔桂子¹, 緒方朋実¹, 村松一洋¹, 桑島 信², 荒川浩一¹
 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野¹, 桐生厚生総合病院小児科²
- P-176 愛知県心身障害者コロニー中央病院における小児在宅人工呼吸管理の現状**
 ○丸山幸一, 倉橋直子, 梅村紋子, 山田桂太郎, 倉橋宏和, 熊谷俊幸
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科
- P-177 重症心身障害児者への NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) の実施状況, 治療上の位置づけ等に関する全国
 調査結果**
 ○田辺 良¹, 北住映二¹, 西田裕哉¹, 村山恵子^{1,2}
 心身障害児総合医療療育センター小児科¹, げんきこどもクリニック²
- P-178 脳性麻痺児の肺炎/気管支炎における急性期 NPPV 療法の有効性と限界**
 ○日衛嶋郁子, 熊田知浩, 林 安里, 野崎章仁, 宮崎智子, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-179 家族参加型重症心身障害医学教育について**
 ○三浦清邦¹, 夏目 淳², 石原尚子², 熊谷俊幸³, 水野誠司⁴, 丸山幸一³, 梅村紋子³
 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座¹, 名古屋大学大学院医学系研究科小児
 科², 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内
 科⁴
- P-180 当院における重症心身障害児者病棟の超重症化と在宅医療移行への地域の課題**
 ○辻 隆範¹, 山田晋也¹, 中村奈美¹, 脇坂晃子¹, 丸箸圭子¹, 新井田要², 大野一郎¹, 関 秀俊¹
 国立病院機構医王病院小児科¹, 金沢大学小児科²
- P-181 宮崎県の特別支援学校における法改正後の医療的ケアの内容と教員の実施**
 ○澤田一美
 宮崎県立こども療育センター小児科
- P-182 特別支援学校副籍利用の実態調査**
 ○杉浦信子¹, 小沢 浩², 相崎貢一², 雨宮 馨², 井上祐紀¹, 小沢倫理², 石塚丈広³, 大瀧 潮³,
 木実谷哲史³
 島田療育センターはちおうじ児童精神科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 島田療育セ
 ンター小児科³
- P-183 愛知県心身障害者コロニー中央病院における胃瘻造設患者の実態**
 ○梅村紋子¹, 三浦清邦², 倉橋直子¹, 山田桂太郎¹, 倉橋宏和¹, 丸山幸一¹, 熊谷俊幸¹
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 名古屋大学医学系研究科障害児(者)医療学寄附
 講座²
- P-184 静岡県西部地区(遠州地方)における子どもの在宅支援ネットワーク作り**
 ○遠藤雄策¹, 平野浩一¹, 鈴木輝彦², 松林朋子³, 宮本 健⁴, 村山恵子⁵, 福田冬季子³
 浜松市発達医療総合福祉センター小児科¹, 国立病院機構天竜病院小児科², 浜松医科大学小児科³,
 浜松医療センター小児科⁴, げんきこどもクリニック⁵

P-185 NICU 長期入院患児に対する重症心身障害児病棟と NICU との連携について

○武市知己, 小倉英郎

国立病院機構高知病院小児科

第 2 日目 ポスター 第 4 会場 (大分オアシスタワーホテル)

17:00~18:15 代謝変性疾患 (S400)

座長 榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)

里 龍晴 (長崎大学病院小児科)

P-186 2 歳時に診断し 9 歳まで経過をみてきたビタミン B1 反応性ピルビン酸脱水素酵素複合体異常症による Leigh 脳症の女児の 1 例

○奥村恵子¹, 池原 甫¹, 内藤悦雄², 津留智彦¹松戸市立病院小児医療センター小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²

P-187 けいれん様発作を契機に診断されたグルタル酸尿症 1 型の 1 例

○原口康平, 里 龍晴, 井上大嗣, 森内浩幸

長崎大学病院小児科

P-188 PDHA1 遺伝子異常を認めた患者の臨床像の検討

○内野俊平¹, 三牧正和¹, 岩崎博之¹, 太田さやか¹, 水野葉子¹, 高橋長久¹, 水口 雅², 後藤雄一³東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科国際生物医科学講座発達医科学²,国立精神・神経医療研究センター神経研究所³

P-189 ミトコンドリア呼吸鎖異常症呼吸鎖 IV 欠損症 2 症例の臨床経過

○松林朋子¹, 平野浩一², 宮本 健³, 朝比奈美輝¹, 平野恵子¹, 遠藤雄策², 村山 圭⁴, 大竹 明⁵, 西野一三⁶, 後藤雄一⁷, 福田冬季子¹浜松医科大学医学部小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター小児神経科², 浜松医療センター³,千葉県こども病院代謝科⁴, 埼玉医科大学小児科⁵, 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第一部⁶, 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第二部⁷

P-190 ミトコンドリア DNA T9176C 変異による Leigh 脳症に対するピルビン酸ナトリウム療法の効果

○里 龍晴, 吉村未央, 橋本邦生, 原口康平, 井上大嗣, 藤井明子, 森内浩幸

長崎大学病院小児科

P-191 高乳酸血症が一過性の経過であったミトコンドリア呼吸鎖異常症の一例

○安西有紀¹, 大矢達男¹, 村山 圭², 大竹 明³済生会横浜市東部病院重症心身障害児者施設サルビア¹, 千葉県こども病院代謝科², 埼玉医科大学小児科³

P-192 Leigh 脳症 19 例の MR 画像および神経生理学的検査の検討

○眞柄慎一¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 後藤雄一²国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部²

P-193 前頭葉・尾状核を主病変とした Leigh 脳症 (m.8993T>G 変異) の 1 女児例

○飯田由紀子¹, 水落弘美¹, 高木敦子², 内川英紀², 藤井克則², 河野陽一²君津中央病院小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²

P-194 mt.10191T>C が同定された MELAS/Leigh overlap 症候群の 1 例

○松井 潤^{1,2}, 吉岡誠一郎², 栗島勇也², 龍神布紀子², 西倉紀子², 高野知行², 竹内義博², 後藤雄一³近江八幡市立総合医療センター¹, 滋賀医科大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター³

P-195 てんかん発作のコントロールにより Stroke-like attack の頻度軽減した MELAS の 1 女児例

○加藤竹雄, 斉藤景子, 吉田健司, 栗屋智就, 柴田 実, 平家俊男

京都大学医学部発達小児科学教室

P-196 血液, 髄液中の乳酸値が正常であったミトコンドリア呼吸鎖複合体 I 欠損症の 1 例

○大野敦子¹, 鈴木基正¹, 糸見和也¹, 村山 圭²あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 千葉県こども病院代謝科²

P-197 治療にピルビン酸ナトリウムを用いた Leigh 脳症の 1 例

○福田智文¹, 下野昌幸¹, 石井雅宏¹, 千手絢子¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

- P-198 急性脳症様のエピソードを繰り返した先天性グリコシル化異常の一女兒例**
○松尾直樹, 今村 淳, 丸田香奈子
岐阜県総合医療センター小児科
- P-199 MCT8 異常症 (Allan-Herndon-Dudley Syndrome) の 1 家系の報告**
○小林 悟¹, 乾 健彦¹, 涌澤圭介¹, 田中総一郎¹, 萩野谷和裕¹, 大沼 晃², 山本俊至³
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, エコー療育園², 東京女子医科大学統合医科学研究所³
- P-200 肥大型心筋症と左室緻密化障害が判明した若年型 neuronal ceroid-lipofuscinosis の 1 例**
○村田真野¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 大場千鶴^{1,2,3}, 玉井 浩²
市立枚方市民病院¹, 田辺・門林こどもクリニック², 大阪医科大学小児科³
- P-201 後索・後策核の病理学的変化がみられた若年型 DRPLA の兄弟例**
○齋藤貴志¹, 石山昭彦¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 齊藤祐子²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部²
- P-202 緩徐な経過を示している Lafora 病の 1 例**
○平出拓也¹, 平野浩一², 朝比奈美輝¹, 平野恵子¹, 松林朋子¹, 杉江秀夫³, 福田冬季子¹
浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター小児科², 自治医科大学小児科³
- P-203 生後 4 カ月に発症し急速な退行を示した vanishing white matter disease の 1 例**
○高野亨子¹, 高木真理子¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁¹, 才津浩智²
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-204 骨髄移植後に銅・葉酸欠乏による亜急性性連合性脊髄変性症を呈した一例**
○中村拓自, 田島大輔, 松尾宗明
佐賀大学医学部小児科
- P-205 免疫不全や毛細血管拡張を認めない Ataxia-Telangiectasia の 1 例**
○佐藤優子¹, 市野井那津子¹, 中山東城¹, 福與なおみ¹, 植松 貢¹, 萩野谷和裕^{1,2}, 呉 繁夫¹
東北大学小児科¹, 拓桃医療療育センター小児科²

第 2 日目 ポスター 第 5 会場 [大分オアシスタワーホテル]

- 17:00~18:15 感染、免疫／形態・病理／中毒…………… (S407)
座長 鳥巢浩幸 (九州大学病院総合周産期母子医療センター)
和田雅臣 (わだこどもクリニック)
- P-206 経口ポリオワクチン関連麻痺の 1 例**
○池田俊郎¹, 中原彰彦¹, 長野理恵¹, 管 博美², 永山倫子²
宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科¹, 宮崎県立宮崎病院小児科²
- P-207 水痘ワクチン接種後のブースター効果で発症した急性小脳失調症の幼児 2 例**
○吉川陽子, 伊藤 康, 花谷あき, 河野 香, 岸 崇之, 吉井啓介, 唐木克二, 舟塚 真, 大澤真木子
東京女子医科大学医学部小児科
- P-208 ヒトパピローマウイルス-16/18 ワクチン接種後に急性小脳失調を発症した 12 歳女兒例**
○米衛ちひろ, 丸山慎介, 豊島光雄, 河野嘉文
鹿児島大学医学部小児科
- P-209 発症 1 年後にシクロフォスファミドパルス療法を行い, 急速に改善した抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例**
○相場佳織, 杉本真里, 小山典久, 横地健治
豊橋市民病院小児科
- P-210 視神経脊髄炎 (NMO) が疑われた 14 歳男児**
○矢野珠巨, 久保田弘樹, 高橋 勉
秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科学講座
- P-211 視神経脊髄炎関連疾患の一女兒例**
○中川 卓¹, 豊嶋大作¹, 森貞直哉¹, 高橋利率², 竹島泰弘¹, 高田 哲³, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 神戸大学大学院保健学研究科³

- P-212** 両側視神経炎で発症した CIS (clinically isolated syndrome) にステロイドパルス・血漿交換療法を施行した一例
○大星大観, 川崎英史, 松本貴子, 毎原敏郎
兵庫県立塚口病院
- P-213** 幼児期発症の視神経脊髄炎男性例の長期経過
○岸 崇之, 舟塚 真, 中務秀嗣, 竹下暁子, 伊藤 康, 大澤真木子
東京女子医科大学医学部小児科
- P-214** 脊髄病変を伴ったギラン・バレー症候群の男児例
○宮本 健
浜松医療センター小児科
- P-215** Guillain-Barré 症候群に高血圧を合併し、可逆性後頭葉白質脳症を呈した 1 例
○池田尚広, 門田行史, 宮内彰彦, 森 雅人, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井眞里子
自治医科大学小児科
- P-216** 免疫グロブリン大量療法により速やかに症状の改善を得た Fisher 症候群の 2 例
○川崎英史, 大星大観, 松本貴子, 毎原敏郎
兵庫県立塚口病院小児科
- P-217** Campylobacter 腸炎後に発症した抗 GQ1b 抗体陰性 Bickerstaff 型脳幹脳炎の一例
○大塚博樹, 加藤善一郎, 桑原秀次, 寺本孝英, 大西秀典, 白上 遊, 川本美奈子, 川本典生, 近藤直実
岐阜大学大学院医学系研究科小児科
- P-218** 抗ガングリオシド抗体陽性であった急性小脳炎の 1 例
○渡邊健二, 四俣一幸, 鮫島幸二
鹿児島市立病院小児科
- P-219** 小児眼筋型重症筋無力症における末梢血制御性 T 細胞 (Treg) の検討
○西村貴文¹, 稲葉雄二¹, 山内翔子¹, 本林光雄¹, 新美妙美¹, 柴 直子¹, 樋口 司², 赤坂真奈美³, 小俣 卓⁴
信州大学医学部小児科¹, 長野県立こども病院総合小児科², 岩手医科大学小児科³, 千葉こども病院神経内科⁴
- P-220** 進行性の神経症を呈した X 連鎖性無 γ グロブリン血症の 2 例
○森山剣光¹, 馬場信平¹, 中島啓介¹, 金子節子¹, 村山 圭², 菅原祐之¹
東京医科大学小児科¹, 千葉県こども病院代謝科²
- P-221** MRI で大脳実質に信号異常を呈した新生児大腸菌髄膜炎の一例
○佐藤 彩¹, 吉岡誠一郎²
済生会滋賀県病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科²
- P-222** inosipranobex 内服と IFN-beta の髄注併用療法を行い臨床症状が改善した SSPE 例
○英 雅世, 山形崇倫, 池田尚広, 宮内彰彦, 石井朋之, 長嶋雅子, 門田行史, 森 雅人, 杉江秀夫, 桃井眞里子
自治医科大学小児科
- P-223** エコーウイルスが分離された髄膜炎関連症例におけるプテリジンおよび各種サイトカイン値の検討
○匹田典克, 瀬戸俊之, 山下加奈子, 服部妙香, 田中勝治, 新宅治夫
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学
- P-224** 神経症状を呈した小児期に発症した骨盤内筋膿瘍 2 例の検討
○横山淳一^{1,2}, 杉山延喜¹, 池上真理子^{1,3}, 松田晋一¹, 宮下好洋¹
東海大学医学部専門診療学系小児科¹, 東海大学附属大磯病院小児科², 東海大学医学部附属八王子病院³
- P-225** ポーランドメービウス症候群の神経病理—血管障害との関連において—
○山下純正¹, 和田敬仁¹, 小坂 仁¹, 柴崎 淳², 松井 潔³
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター新生児科², 神奈川県立こども医療センター総合診療科³
- P-226** 経過中に低体温をきたした低酸素性脳症の一例
○佐藤睦美¹, 武下草生子²
済生会横浜市南部病院小児科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科²
- P-227** 銀杏中毒の 1 例
○西口奈菜子¹, 里 龍晴², 井上大嗣², 原口康平²
佐世保市立総合病院小児科¹, 長崎大学病院小児科²

第 2 日目 ポスター 第 6 会場〔大分オアシスタワーホテル〕

- 17:00~18:15 学習障害／新生児／精神障害、行動異常／自律神経、頭痛……………(S414)
 座長 瀬島 斉(松江赤十字病院小児科)
 前田寿幸(佐賀大学医学部小児科)
- P-228 再現性の高い新生児脳虚血モデルマウスの新規作成：従来の低酸素性虚血性脳症モデルとの比較
 ー第二報ー
 ○辻 雅弘
 国立循環器病研究センター再生医療部
- P-229 超低出生体重児における小脳病変の画像と病理
 ○松藤まゆみ¹、中村紀子²、友納優子²、井上貴仁²、岩田幸子³、渋谷郁彦³、高嶋幸男¹
 柳川療育センター小児科¹、高邦会高木病院小児科²、久留米大学医学部小児科³
- P-230 一絨毛膜性双胎の子宮内一児死亡の生存児 5 例の検討
 ○山本敦子^{1,2}、松井 潔¹、田上幸治¹、内山 薫²、高橋孝治²、南風原明子²、渡辺章充²
 神奈川県立こども医療センター総合診療科¹、土浦協同病院小児科²
- P-231 愛媛県立中央病院総合周産期母子医療センターにおける新生児脳波の重症度と知的予後との相関に
 ついての検討
 ○岡本健太郎
 愛媛県立中央病院小児科
- P-232 環軸椎亜脱臼による頸髄損傷を合併した点状軟骨異形成症の 2 例
 ○板村真司、戸川雅美、西村洋子、玉崎章子、前垣義弘、大野耕策
 鳥取大学医学部脳神経小児科
- P-233 早産児の頭部 MRI による側脳室拡大と神経発達予後一部位別週数別での検討
 ○小松祐美子、中野瑛子、松岡雄一郎、島崎真希子、宮田世羽、中村由紀子、岡 明
 杏林大学医学部小児科
- P-234 当院における超低出生体重児出生の広汎性発達障害児者の検討
 ○難波由喜子、舟橋満寿子、牧野道子、松井秀司、和田恵子、松田光展、田村貴子、赤星恵子、
 椎木俊秀
 東京小児療育病院小児科
- P-235 脳低温療法を施行した新生児低酸素性虚血性脳症症例の脳波の検討
 ○短田浩一、佐藤 望、木原美奈子
 京都第一赤十字病院新生児科
- P-236 リボ多糖投与を用いた新生児敗血症による脳室周囲白質軟化症モデルの検討
 ○島崎真希子、宮田世羽、中村由紀子、小松祐美子、中野瑛子、松岡雄一郎、岡 明
 杏林大学医学部付属病院小児科
- P-237 読字能力の予測因子：長期追跡的検討
 ○荻野竜也¹、花房 香²、竹内章人²、諸岡輝子³、岡 牧郎⁴、大塚頌子⁵
 中国学園大学子ども学部子ども学科¹、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学²、岡山
 大学病院医療技術部³、岡山大学病院小児神経科⁴、旭川荘療育・医療センター⁵
- P-238 書字能力の予測因子：長期追跡的検討
 ○荻野竜也¹、花房 香²、竹内章人²、諸岡輝子³、岡 牧郎⁴、大塚頌子⁵
 中国学園大学子ども学部子ども学科¹、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学²、岡山
 大学病院医療技術部³、岡山大学病院小児神経科⁴、旭川荘療育・医療センター⁵
- P-239 発達性ディスレクシア児に対する平仮名読み訓練プログラムの短期効果
 ○安村 明¹、山本寿子¹、小林朋住¹、若宮英司²、稲垣真澄¹
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹、藍野大学医療保健学部看護学
 科²
- P-240 脳磁計測による読み困難をもつ児童の脳機能評価方法の確立
 ○柳生一自^{1,2}、大塚耕右²、白石秀明²
 楡の会こどもクリニック¹、北海道大学病院小児科²

- P-241 若年発症摂食障害患者の表情認知における注意の役割：画像ストループとセットシフティング課題を用いた検討**
 ○作田由衣子¹, 井上 建², 市川寛子^{1,3}, 仲渡江美⁴, 島村圭一², 綾部敦子², 大谷良子², 山口真美⁵, 金沢 創⁶, 作田亮一²
 中央大学研究開発機構¹, 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター², 日本学術振興会³, 大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科⁴, 中央大学文学部⁵, 日本女子大学人間社会学部心理学科⁶
- P-242 周期性嘔吐症を発症した精神遅滞, 自閉症を有する奇形症候群の 1 例**
 ○齊木玲央¹, 原 宗嗣², 今城 透³, 澁谷郁彦¹, 大矢崇志¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 松石豊次郎¹
 久留米大学医学部小児科¹, 聖マリア病院母子総合医療センター新生児科², 聖マリア病院母子総合医療センター小児科³
- P-243 小児周期性症候群の複数の主症状が変遷して出現する小児の一例**
 ○釜沼桂子, 澤浦法子, 村松一洋, 荒川一浩
 群馬大学医学部附属病院小児科
- P-244 小児神経疾患に随伴した睡眠障害に対する trazodone の臨床的効果**
 ○柏井洋文, 柴田明子, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- P-245 摂食障害を疑われた男児例についての検討**
 ○荒川千賀子, 神山八弓, 桃木恵美子, 河村由生, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 小平隆太郎, 藤田之彦, 瀧上達夫
 日本大学医学部小児科
- P-246 不登校に至った起立性調節障害例の検討**
 ○犬塚 幹
 佐世保中央病院小児科
- P-247 家族性片麻痺性片頭痛 2 型の母子例**
 ○龍神布紀子¹, 吉岡誠一郎¹, 栗嶋勇也¹, 西倉紀子¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²
 滋賀医科大学小児科¹, 福岡大学医学部小児科, 福岡大学てんかん分子病態研究所²
- P-248 ラモトリギンが奏効した小児片頭痛の 2 例**
 ○黒川智子¹, 島川修一², 福井美保², 小川 亮¹, 玉井 浩²
 高槻病院小児科¹, 大阪医科大学附属病院小児科²
- P-249 茨城県常陸大宮市内の小中高校生における頭痛疫学調査**
 ○後藤昌英¹, 川又 竜^{1,2}, 松本静子^{1,2}, 野崎靖之^{1,2}, 山形崇倫², 桃井真里子²
 常陸大宮済生会病院小児科¹, 自治医科大学小児科²
- P-250 家族性片麻痺性片頭痛の 1 家系例**
 ○二階堂弘輝¹, 和田敬仁², 舘 延忠³
 札幌医科大学医学部小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科³
- P-251 小児 Complex Regional Pain Syndrome (CRPS) の男児例**
 ○井上 建^{1,2}, 板橋 尚¹, 大谷良子², 村上信行¹, 永井敏郎¹, 加藤 実³, 作田亮一²
 獨協医科大学越谷病院小児科¹, 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター², 日本大学医学部付属病院板橋病院麻酔科³
- P-252 A 群溶連菌関連小児自己免疫神経精神疾患 (PANDAS) の一例**
 ○岩本圭祐, 縄手 満
 KKR 札幌医療センター小児科

第 2 日目 ポスター 第 7 会場 [大分オアシスタワーホテル]

- 17:00~18:15 急性脳炎・脳症 (S423)
 座長 岸 高正 (国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科)
 石井清久 (佐賀整肢学園こども発達医療センター)
- P-253 臨床的に自己免疫性脳炎と診断した 1 男児例における抗神経抗体の検索**
 ○中原絵理¹, 奥村彰久¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 清水俊明¹, 佐久間啓², 林 雅晴²
 順天堂大学医学部小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野²

- P-254 島根大学小児科で経験した小児非ヘルペス性辺縁系脳炎 3 例の臨床的特徴**
○美根 潤¹, 横山桃子¹, 南 憲明¹, 堀江昭好¹, 岸 和子¹, 山口清次¹, 高橋幸利²
島根大学医学部小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²
- P-255 当院で経験した脳炎・脳症における抗グルタミン酸レセプター抗体の検討**
○藤田貴子¹, 井原由紀子¹, 二之宮信也¹, 友納優子¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 高橋幸利², 廣瀬伸一¹, 安元佐和¹
福岡大学医学部小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²
- P-256 斜頸を主訴に来院した急性散在性脳脊髄炎の検討**
○小俣 卓¹, 新井ひでえ^{1,2}
千葉県こども病院神経科¹, 千葉医療センター小児科²
- P-257 尿閉が先行したマイコプラズマ髄膜炎の 14 歳男子例**
○横山桃子, 美根 潤, 南 憲明, 堀江昭好, 岸 和子, 山口清次
島根大学医学部小児科
- P-258 マイコプラズマ肺炎に合併した急性脳症の 1 例**
○横田卓也, 榎日出夫
聖隷浜松病院小児神経科
- P-259 遅発性拡散低下と脳萎縮を呈した溶連菌感染による敗血症関連脳症の 1 例**
○平木彰佳, 鎌倉 妙, 菊地正広
日立製作所日立総合病院小児科
- P-260 化膿性股関節炎に合併した可逆性脳梁膨大部病変 (MERS) の一例**
○林 直子¹, 坂本晴子¹, 霞井操雄², 奥野毅彦¹
大阪赤十字病院小児科¹, 大阪赤十字病院新生児, 未熟児科²
- P-261 日本脳炎経過中の MRI, SPECT, 脳波所見: 10 歳男児例**
○磯部菜摘, 鳥巢浩幸, 實藤雅文, 李 守永, 石崎義人, 酒井康成, 原 寿郎
九州大学病院小児科
- P-262 胃腸炎に続発した小脳炎の遷延性意識障害に対し TRH 療法を行った 1 男児例**
○松岡雄一郎, 中野瑛子, 島崎真希子, 宮田世羽, 小松祐美子, 中村由紀子, 岡 明
杏林大学医学部附属病院小児科
- P-263 ノロウイルス感染後, 急性壊死性脳症およびけいれん重積型急性脳症を同時に発症した 1 例**
○鈴木 智, 渡邊周永, 富樫紀子
宮城県立こども病院神経科
- P-264 難治頻回部分発作重積型急性脳炎の急性期の治療**
○白神浩史
国立病院機構岡山医療センター小児科
- P-265 長期の集中治療を要し, 麻酔からの離脱にケトン食療法が有効と考えられた AERRPS の一例**
○武居裕子¹, 奥野慈雨¹, 福山哲広¹, 笛木 昇², 平林伸一¹
長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科²
- P-266 川崎病に合併した脳梁膨大部に一過性拡散低下を伴う脳炎・脳症症例における病態の検討**
○本林光雄¹, 稲葉雄二¹, 山内翔子¹, 新美妙美¹, 柴 直子¹, 西村貴文¹, 木下達也², 島崎 英³, 奥野慈雨⁴, 平林伸一⁴
信州大学医学部附属病院小児科¹, 伊那中央病院², 信州上田医療センター³, 長野県立こども病院⁴
- P-267 多彩な臨床症状を呈した可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎・脳症の 3 例**
○高柳 勝, 高橋 怜, 北村太郎, 大浦敏博
仙台市立病院小児科
- P-268 可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症を反復した 1 女子例**
○河野 香¹, 伊藤 康¹, 吉井啓介¹, 唐木克二¹, 坂内優子¹, 神林 崇², 大澤真木子¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 秋田大学医学部精神科²
- P-269 大脳から脊髄に及ぶ広範な所見を認めた PRES の症例**
○緒方朋実, 澤浦法子, 釜范桂子, 村松一洋, 荒川浩一
群馬大学医学部小児科
- P-270 低血糖に伴い急性脳症を発症した 3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル-CoA リアーゼ欠損症の一例**
○奥野慈雨¹, 武居裕子¹, 福山哲広¹, 笛木 昇², 平林伸一¹, 深尾敏幸³
長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科², 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学³

- P-271 持続脳波モニタリングにて subclinical seizure をとらえることができた AESD 症例の検討**
 ○黒田文人¹, 池野 郁², 横井彩乃¹, 三谷裕介¹, 新井田要³
 金沢大学医薬保健研究域医学系小児科¹, 公立能登総合病院小児科², 金沢大学子どものこころの発達研究センター³
- P-272 経皮的近赤外線モニターにより脳局所組織酸素飽和度の変化を評価できたけいれん重積後一過性片麻痺の 1 例**
 ○親里嘉展, 中川温子, 沖田 空, 西山敦史, 足立昌夫
 加古川西市民病院小児科
- P-273 急性脳炎・脳症に対する軽度低体温療法 30 症例の検討**
 ○野々田豊¹, 岩崎俊之¹, 細田のぞみ^{1,2}, 白井宏幸^{1,3}, 石井正浩¹
 北里大学医学部小児科¹, 相模原療育園², 相模台病院小児科³
- P-274 急性巣状細菌性腎炎に伴う神経症状**
 ○米谷 博, 巨田元礼, 川谷正男, 大嶋勇成
 福井大学医学部附属病院小児科
- P-275 Ifosphamide による非けいれん性てんかん重積を来した 13 歳男児**
 ○山内翔子, 稲葉雄二, 柴 直子, 本林光雄, 新美妙美, 西村貴文
 信州大学医学部小児科

第 2 日目 ポスター 第 8 会場〔全労済ソレイユ〕

- 17:00~18:15 末梢神経／筋／腫瘍…………… (S430)**
 座長 永光信一郎 (久留米大学小児科)
 井上貴仁 (福岡大学筑紫病院小児科)
- P-276 中枢性睡眠時無呼吸を伴う Guillain-Barré 症候群の睡眠ポリグラフ解析**
 ○香川 悠¹, 藤井克則¹, 水落弘美^{1,2}, 高木敦子¹, 塩浜 直¹, 内川英紀¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 国保直営総合病院君津中央病院小児科²
- P-277 激しい疼痛に対し fentanyl 持続静注の併用が有用であった Guillain-Barré 症候群の 1 例**
 ○鈴木敏洋¹, 橋本祐至¹, 安齋 聡¹, 永沢佳純²
 千葉市立海浜病院小児科¹, 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科²
- P-278 千葉県における小児 Guillain-Barré 症候群の臨床的検討 Part 1: 発症数・年齢・臨床症状・病原体**
 ○竹下健一¹, 藤井克則¹, 小俣 卓², 田辺雄三², 永沢佳純³, 橋本祐至⁴, 水落弘美⁵, 津留智彦⁶,
 中澤友幸⁷, 高梨潤一⁸, 高木敦子¹, 塩浜 直¹, 内川英紀¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 千葉県こども病院神経科², 千葉県リハビリテーションセンター小児神経科³, 千葉市立海浜病院小児科⁴, 君津中央病院新生児科⁵, 国保松戸市立病院小児医療センター小児科⁶, 順天堂大学浦安病院小児科⁷, 亀田メディカルセンター小児科⁸
- P-279 抗 GQ1b 抗体陰性で外眼筋麻痺が先行した Guillain-Barré 症候群の一例**
 ○菊岡七恵¹, 吉岡誠一郎², 成宮正朗¹, 高野知行²
 長浜赤十字病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科²
- P-280 千葉県における小児 Guillain-Barré 症候群の臨床的検討 Part 2: 電気生理・治療・予後**
 ○藤井克則¹, 竹下健一¹, 小俣 卓², 田辺雄三², 永沢佳純³, 橋本祐至⁴, 水落弘美⁵, 津留智彦⁶,
 中澤友幸⁷, 高梨潤一⁸, 高木敦子¹, 塩浜 直¹, 内川英紀¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 千葉県こども病院神経科², 千葉県リハビリテーションセンター小児神経科³, 千葉市立海浜病院小児科⁴, 君津中央病院新生児科⁵, 国保松戸市立病院小児医療センター小児科⁶, 順天堂大学浦安病院小児科⁷, 亀田メディカルセンター小児科⁸
- P-281 知的退行をきたしたウェルドニッヒ・ホフマン病の 1 例**
 ○藤井達哉, 宮嶋智子, 熊田知浩, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 林 安里
 滋賀県立小児保健医療センター
- P-282 当センターで経験した小児期発症の Charcot Marie Tooth (CMT) 病患者の検討**
 ○木村貞美¹, 木水友一¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 真野利之², 鈴木保宏¹
 大阪府立母子保健総合医療センター¹, まのすぎのこどもクリニック²
- P-283 急性リンパ性白血病に先行して発症した Eaton-Lambert 症候群の一例**
 ○長濱明日香, 岩松浩子
 大分県立病院小児科

- P-284 MFN2 変異を来した先天性軸索型ニューロパチーの 1 例**
 ○乾 健彦¹, 遠藤若葉¹, 小林 悟², 涌澤圭介¹, 田中総一郎³, 萩野谷和裕¹
 拓桃医療療育センター小児神経科¹, 名古屋市立西部医療センター小児科², 東北大学小児科³
- P-285 横隔神経麻痺の 3 乳児例—横隔膜縫縮術の適応—**
 ○塩浜 直^{1,2}, 藤井克則¹, 林 雅晴², 須山麻衣子¹, 水落弘美¹, 内川英紀¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野²
- P-286 開鼻声を主訴とした特発性軟口蓋麻痺の 2 男児例**
 ○柴田明子, 安藤亜希, 寺嶋 宙, 柏井洋文, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科
- P-287 Remedy・DMD/BMD 患者情報登録の現状**
 ○木村 円¹, 林由起子¹, 竹内美実¹, 清水玲子^{1,2}, 小牧宏文¹, 西野一三¹, 川井 充³
 国立精神・神経医療研究センター¹, 東京女子医科大学小児科², 国立病院機構東埼玉病院³
- P-288 Late onset spasm を合併した顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの一例**
 ○池上真理子¹, 杉山延喜¹, 横山淳一¹, 今井克美², 植田佑樹²
 東海大学医学部付属病院専門診療学系小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²
- P-289 精神運動発達遅滞があり筋生検で診断された Ullrich 先天性筋ジストロフィーの一例**
 ○植木将弘¹, 植竹公明¹, 蒔田芳男², 後藤雄一³, 西野一三³
 帯広厚生病院小児科¹, 旭川医科大学², 国立精神・神経医療研究センター³
- P-290 福山型先天性筋ジストロフィーにおける骨格筋画像**
 ○石山昭彦, 小牧宏文, 齋藤貴志, 斎藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- P-291 拡張型心筋症を合併した ACTA1 遺伝子異常を伴うネマリンミオパチーの 1 例**
 ○下郷幸子, 武内俊樹, 小西順子, 高橋孝雄
 慶應義塾大学医学部小児科
- P-292 小児皮膚筋炎・多発性筋炎に対するステロイド・メソトレキセート療法 (第 2 報)**
 ○富永康仁^{1,2,3}, 山崎早苗^{1,3}, 新寶理子^{1,3}, 中野さやか^{1,3}, 東 純史^{1,3}, 岩谷祥子^{1,3}, 青天目信^{1,3}, 神尾範子⁴, 下野九理子^{1,2,3,5}, 沖永剛志^{1,3}, 永井利三郎^{3,5}, 大藺恵一^{1,3}
 大阪大学医学系研究科小児科¹, 大阪大学連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³, 市立伊丹病院小児科⁴, 大阪大学医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁵
- P-293 小児筋疾患における超音波検査の有用性**
 ○佐藤研吾¹, 近藤典子², 西村洋子², 玉崎章子², 戸川雅美², 成田 綾², 福田千佐子¹, 前垣義弘², 大野耕策²
 鳥取大学医学部保健学科病態検査学¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²
- P-294 神経筋疾患を疑い小児期に筋生検を施行した症例の筋病理学的検討**
 ○沖永剛志^{1,2}, 山崎早苗^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 中野さやか^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目信^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 松岡太郎⁴, 永井利三郎⁵, 大藺恵一^{1,2}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³, 市立豊中病院小児科⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁵
- P-295 乳児期早期に上衣下巨細胞性星細胞腫を認めた 2 例**
 ○福村 忍¹, 渡邊年秀¹, 皆川公夫¹, 越智さと子², 植竹公明³
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経科¹, 北海道立子ども総合医療・療育センター脳神経外科², 帯広厚生病院小児科³
- P-296 化学性髄膜炎を反復した類上皮腫の 1 女児例**
 ○久保 裕, 長村敏生, 大前禎毅, 田川晃司, 長谷川雅文, 木戸脇智志
 京都第二赤十字病院小児科
- P-297 Desmoplastic infantile ganglioglioma により West 症候群を呈した 1 例**
 ○平山良道¹, 大府正治²
 那覇市立病院小児科¹, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科²
- P-298 先天性乏突起神経膠腫のガングリオシド分析**
 ○岡本知子^{1,2}, 垣内辰雄¹, 秋吉健介¹, 末延聡一^{1,2}, 泉 達郎¹
 大分大学医学部小児科, 神経小児科¹, 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²

第3日目 第1会場〔iichiko 総合文化センター〕

9:30~10:45 教育講演5.....(S123)

発達障害と脳のシナプス形成

座長 高橋幸利(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
講演 三品昌美(立命館大学, 東京大学名誉教授)

10:45~12:00 教育講演6.....(S124)

早期発症てんかん性脳症の遺伝学的解明一次世代シーケンサーの活用—

座長 廣瀬伸一(福岡大学医学部小児科)
講演 才津浩智(横浜市立大学医学部遺伝学)

12:00~12:10 閉会式

13:00~16:00 市民公開講座.....(S211)

大分県が進める“子育て満足度日本一”—小児科医による貢献と評価, 更なる小児医療の発展と満足, 安心のために

座長 阿南茂啓(大分県医師会常任理事, 阿南小児科医院)

- 1) 大分における小児医療と小児神経学・臨床と教育, 研究—その実践と成果
泉 達郎(大分大学小児科, 神経小児科)
- 2) おおいた地域医療支援システム構築事業を介した地域小児医療と予防医学, 教育・研修支援
是松聖悟(大分大学医学部地域医療・小児科)
- 3) 過疎地域における時間外・救急・災害診療: 備えよう, 小児医療の存続と支援なしには, 地域の存続と復興なし.
末延聡一(大分大学医学部小児科, 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業)
- 4) 大分におけるこどもメンタルヘルス: 5歳児健診と医療, 教育連携の意義と問題点
清田晃生(大分大学医学部小児科・神経小児科・児童精神科)
- 5) 365日24時間, 大分のこどもの健康と成長を願って
藤本 保(大分こども病院)
- 6) 子育て満足度日本一に向けた大分県の政策
平原健史(大分県福祉保健部)

第3日目 第2会場〔iichiko 総合文化センター〕

9:00~10:20 一般演題(口演)腫瘍.....(S306)

座長 河野嘉文(鹿児島大学医歯学総合研究科小児科学分野)

末延聡一(大分大学医学部小児科・神経小児科, 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業)

O-228 小児急性リンパ性白血病における治療関連成長障害の発生基礎病態とその治療法の検討

○末延聡一^{1,2}, 岡本知子^{1,2}, 垣内辰雄², 秋吉健介², 泉 達郎²大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業¹, 大分大学医学部小児科, 神経小児科²

O-229 小児急性リンパ性白血病治療関連けいれんの原因の変遷

○小西順子, 武内俊樹, 下郷幸子, 三橋隆行, 高橋孝雄

慶應義塾大学医学部小児科

O-230 神経芽腫(NB)患児における知的発達: 発症年齢と治療強度の関与

○半田陽祐¹, 岡本知子^{1,2}, 秋吉健介¹, 末延聡一^{1,2}, 泉 達郎¹大分大学医学部小児科¹, 大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²

O-231 眼症状にて発見された Atypical Teratoid/Rhabdoid Tumor (AT/RT)

○近藤五郎^{1,2}, 加藤美穂子¹, 大野敦子³, 鈴木基正³, 糸見和也³, 長坂昌登¹あいち小児保健医療総合センター脳神経外科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科², あいち小児保健医療総合センター小児神経科³

O-232 結節性硬化症に伴う脳室内腫瘍に対する外科治療の予後

○坂本博昭¹, 松阪康弘¹, 馬場良子¹, 川脇 寿², 寺川雄三³, 露口尚弘³, 大畑建治³, 新宅治夫⁴
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児脳神経外科¹, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科², 大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科学³, 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学⁴

O-233 小児脳腫瘍患児の脳機能評価とフォローアップの事例検討

—Late Effect を視野に入れた小児脳神経外科医療の新たな取り組み—

○小松華奈, 藍原康雄, 江口盛一郎, 堀場綾子, 岡田芳和
 東京女子医科大学脳神経外科

O-234 乳児期より笑い発作を認め、無熱性痙攣を主訴に来院した視床下部過誤腫の一例

○谷口紫野^{1,2}, 松本貴子¹, 毎原敏郎¹
 兵庫県立塚口病院小児科¹, 兵庫県立こども病院²

O-235 Dysembryoplastic Neuroepithelial tumor (DNT) による側頭葉てんかんの 3 小児例

○赤坂紀幸¹, 大野 武¹, 小林 悠¹, 大橋 伯¹, 遠山 潤¹, 伊藤陽祐², 白水洋史², 村上博淳², 増田 浩², 亀山茂樹²
 国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター神経小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター脳神経外科²

10:20~11:30 一般演題 (口演) 脳外科領域・形態、病理・その他 (S309)

座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科)
 宮本雄策 (川崎市立多摩病院小児科)

O-236 大頭症の診断と治療

○原田敦子¹, 山中 巧¹, 山崎麻美¹, 埜中正博², 小崎健次郎³, 岡本伸彦⁴, 藤井幸彦⁵
 愛仁会高槻病院小児脳神経外科¹, 大阪医療センター脳神経外科², 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター³, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁴, 新潟大学脳研究所脳神経外科学分野⁵

O-237 孤立性第 4 脳室の治療と問題点

○松阪康弘, 坂本博昭
 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科

O-238 ヒト動眼神経核複合体の胎生期発達について：副核

○山口勝之
 獨協医科大学病理学 (形態), 総合南東北病院小児科

O-239 実験的多小脳回症における介在神経細胞の GAP43 発現上昇

○高野知行, 龍神布紀子, 西倉紀子, 吉岡誠一郎, 阪上由子, 澤井ちひろ, 竹内義博
 滋賀医科大学医学部小児科

O-240 先天性線維肉腫 (CFS) の症例報告と発生病理学的検討

—限局性体節の未熟な発生異常は CFS の基本的病因か？

○佐藤奈々江¹, 岡本知子^{1,2}, 後藤千佳¹, 宮原弘明¹, 秋吉健介¹, 末延聡一^{1,2}, 泉 達郎¹
 大分大学医学部小児科¹, 大分大学医学部大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²

O-241 メラトニンならびにラメルテオン小児使用例に関する全国調査

○福水道郎^{1,2}, 林 雅晴^{2,3}, 宮島 祐^{2,4}, 石崎朝世^{2,5}, 田中 肇^{2,6}, 神山 潤^{2,7}
 東京都立府中療育センター小児科¹, メラトニンコンソーシアム², 東京都医学総合研究所³, 東京医科大学小児科⁴, 発達協会王子クリニック⁵, 旭川肢体不自由児総合療育センター小児科⁶, 東京ベイ・浦安市川医療センター小児科⁷

O-242 親からの身体的虐待によって脳障害を来した児は親に返せるか？

○石井光子, 永沢佳純, 内田智子
 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科

第3日目 第3会場(大分オアシスタワーホテル)

- 7:30~9:50 シンポジウム11:ゲノムの構造・機能から見た発達障害疾患の病態理解……………(S158)
 座長 呉 繁夫(東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
 山本俊至(東京女子医科大学統合医科学研究所)
- 1) 発達障害疾患のゲノム解析—これまでの研究の流れ
 呉 繁夫(東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
 - 2) レット症候群の病態理解: 病因遺伝子(MECP2, CDKL5, FOXP1) 変異に関連した臨床的特徴について
 高橋 悟(旭川医科大学医学部小児科)
 - 3) X:15 転座から推測する染色体機能異常に起因する発達障害
 坂爪 悟(獨協医科大学越谷病院小児科)
 - 4) 自閉性障害の多様な遺伝学的病態とシナプス関連病因遺伝子の解析
 山形崇倫¹, 松本 歩¹, 永田浩一²
 (自治医科大学小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部²)
 - 5) 発達障害に関わるゲノム構造異常と疾患感受性遺伝子
 山本俊至(東京女子医科大学統合医科学研究所)
- 9:50~11:10 一般演題(口演) 奇形, 染色体異常……………(S311)
 座長 新宅治夫(大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野)
 高橋 悟(旭川医科大学小児科)
- O-243 染色体異常を持つ小児の運動発達について
 ○吉岡三恵子, 井坂雅子
 神戸市総合療育センター小児神経科
- O-244 欠失型 Mowat-Willson 症候群の1例
 ○松岡 舟¹, 藤原由美¹, 永井盛博¹, 桐野友子¹, 遠藤彰一¹, 黒澤健司²
 香川小児病院神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科²
- O-245 非典型的な欠失範囲を示す1p36欠失症候群患者の臨床症状の検討—Genotype-phenotype 関連解析—
 ○山本俊至¹, 島田姿野^{1,2}, 下島圭子¹, 松尾真理³, 平澤恭子², 前垣義弘⁴, 今井克美⁵, 岡本伸彦⁶
 東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 東京女子医科大学小児科², 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター³, 鳥取大学医学部脳神経小児科⁴, 静岡てんかん・神経医療センター⁵, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁶
- O-246 Smith-Magenis 症候群3例の概日リズム障害に対する様々な投薬効果について
 ○岩越美恵
 神戸常盤大学保健科学部, 西宮市立中央病院小児科, 大阪医科大学小児科
- O-247 TORCH 症候群と鑑別を要したCOL4A1 遺伝子異常による孔脳症の1例
 ○黒川大輔¹, 井上道雄¹, 伴 紘文¹, 高見勇一¹, 才津浩智²
 姫路赤十字病院小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学²
- O-248 AKT3 遺伝子変異による巨脳症の一例
 ○服部文子¹, 根岸 豊¹, 戸川貴夫¹, 宮 冬樹², 安藤直樹¹, 伊藤哲哉¹, 角田達彦², 金村米博³, 山崎麻美⁴, 小崎健次郎⁵, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児学分野¹, 理化学研究所ゲノム医科学研究センター情報解析研究チーム², 大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室³, 高槻病院小児脳神経外科⁴, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁵
- O-249 Hallermann-Streiff 症候群とその類縁疾患における視床下部下垂体分泌不全: Septo-optic dysplasia との異同
 ○小林 修, 内山伸一, 宮原弘明, 秋吉健介, 泉 達郎
 大分大学医学部小児科, 神経小児科
- O-250 2q37 欠失症候群2例における神経心理学的症候の検討
 ○小倉加恵子¹, 荒川千賀子², 下島圭子³, 竹下研三⁴, 山本俊至³
 国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室¹, 日本大学医学部小児科², 東京女子医科大学統合医科学研究所³, NPO 子ども相談センター⁴

11:10~11:50 一般演題 (口演) 血管障害 (S314)

座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

- O-251 可逆性脳血管攣縮症候群が原因と推定された脳梗塞の 1 例
○大場温子¹, 浜野晋一郎¹, 松浦隆樹¹, 菊池健二郎¹, 田中 学¹, 南谷幹之²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²
- O-252 水痘罹患後の脳梗塞を発症した 2 幼児例
○東口卓史, 田川哲三
大阪厚生年金病院小児科
- O-253 左房粘液腫による小児脳梗塞後遠隔期の多発性脳動脈瘤
○武内俊樹, 下郷幸子, 高橋孝雄
慶應義塾大学医学部小児科
- O-254 中枢神経系良性血管症の関与が示唆された限局性脳梗塞の 2 例
○田川晃司, 長村敏生, 久保 裕, 長谷川雅文, 木戸協智志, 大前禎毅
京都第二赤十字病院小児科

第 3 日目 第 4 会場 (大分オアシスタワーホテル)

7:30~9:50 シンポジウム 12: 発達障害医療のこれから—専門医—地域医療—福祉・学校をどうつなぐか— (S161)

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
山下裕史朗 (久留米大学小児科)

- 1) 発達障害医療の将来展望
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)
- 2) 地域医療と専門医療機関との効果的連携をめざして
山下裕史朗 (久留米大学小児科)
- 3) 発達障害の子どもたちの支援に関わる教育と医療の連携の必要性
—地域における教員と一般臨床医とを結ぶ試み—
小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)
- 4) 発達障害支援における福祉と専門医療機関の役割
清田晃生 (大分大学医学部附属病院小児科・神経小児科・児童精神科)
- 5) 発達障害医療のこれから: 専門医—地域医療—福祉・学校をどうつなぐか
上野一彦 (大学入試センター入学者選抜機構)

9:50~10:40 一般演題 (口演) 感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) 2 (S315)

座長 市山高志 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)
島川修一 (大阪医科大学附属病院小児科)

- O-255 福島県下過去 26 年間ににおける小児細菌性髄膜炎 223 例の経時的発症動向と予後
○川崎幸彦¹, 鈴木雄一¹, 石井希代子¹, 森田浩之², 加藤朝子¹, 細矢光亮¹
福島県立医科大学小児科¹, 福島県総合療育センター²
- O-256 重症心身障害児の肺炎における肺炎球菌の重要性
○藤原 祐
横浜南共済病院小児科
- O-257 低体温療法を施行した急性散在性脳脊髄炎の 2 例
○本井宏尚, 渡辺好宏, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター
- O-258 悪性リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植後に抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎を発症した 1 例
○小林良行, 藤井裕士, 石川暢恒
広島大学病院小児科
- O-259 タクロリムスを使用した眼筋型重症筋無力症の 1 女児例
○藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 桐野友子, 遠藤彰一
国立病院機構香川小児病院神経内科

- 10:40~11:20 一般演題 (口演) 感染, 免疫 (急性脳炎・脳症を除く) 3…………… (S317)
 座長 瀧上達夫 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)
 加藤善一郎 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学)
- O-260 抗リン脂質抗体を伴ったインフルエンザワクチン関連視神経炎の 2 例
 ○是松聖悟, 泉 達郎
 大分大学医学部小児科
- O-261 フィンゴリモド塩酸塩 (FTY720) を使用した再発寛解型多発性硬化症 (RRMS) の 17 歳女児例
 ○向田壮一, 酒井直子, 鈴木理恵, 白石一浩
 国立病院機構宇多野病院小児科
- O-262 症例報告; Rasmussen 症候群の 1 女児例—トリプトファンカラム免疫吸着療法とその有用性
 ○松塚敦子¹, 池内真代¹, 中嶋美咲¹, 平野直樹¹, 宮原弘明¹, 是松聖悟¹, 泉 達郎¹, 高橋幸利²
 大分大学小児科, 神経小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- O-263 抗 NMDA 受容体脳炎小児例 7 例の臨床的解析
 ○谷口祐子¹, 山形崇倫¹, 池田尚広¹, 宮内彰彦¹, 門田行史¹, 森 雅人¹, 野崎靖之^{1,2}, 杉江秀夫¹,
 高橋幸利³, 桃井真里子¹
 自治医科大学小児科¹, 常陸大宮済生会病院², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³

13:00~17:00 第 8 回小児重症筋無力症研究会

第 3 日目 第 5 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 7:30~9:00 第 5 回小児免疫性脳炎研究会—小児の溶連菌関連神経疾患—
- 9:00~9:40 一般演題 (口演) 遺伝 2…………… (S318)
 座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 新井田要 (金沢医科大学病院遺伝子医療センター)
- O-264 日本における脆弱 X 症候群および関連疾患の診断
 ○足立香織^{1,2}, 杉江秀夫³, 後藤雄一⁴, 佐々木司⁵, 大野耕策², 難波栄二^{1,6}
 鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳
 神経小児科学分野², 自治医科大学小児科学³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研
 究第二部⁴, 東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース健康教育学分野⁵, 鳥取大学医学部附属
 病院遺伝子診療科⁶
- O-265 Cockayne 症候群における加齢促進現象と細胞老化促進因子 p53 との関連
 ○宮原弘明, 糸永知代, 泉 達郎
 大分大学医学部小児科, 神経小児科
- O-266 先天性大脳白質形成不全症の脳 MRI 画像データベース構築への取り組み
 ○井上 健¹, 高梨潤一², 小坂 仁³, 佐藤典子⁴
 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部¹, 亀田メディカルセンター小児科²,
 神奈川県立こども医療センター神経内科³, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線科, IBIC⁴
- O-267 先天性無虹彩症におけるウィルムス腫瘍発症リスクの FISH 診断
 ○高田 結^{1,2}, 酒井康成², 鳥尾倫子², 磯部菜摘², 石崎義人², 實藤雅文², 鳥巢浩幸², 原 寿郎²
 福岡赤十字病院小児科¹, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科)²
- 9:40~10:40 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 9…………… (S320)
 座長 荒木 敦 (関西医科大学附属滝井病院小児科)
 伊住浩史 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)
- O-268 CACNA1A 遺伝子変異/多型がドラベ症候群の臨床症状に及ぼす影響
 ○大守伊織¹, 小林勝弘², 大内田守³, 大塚頌子^{2,4}
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学¹, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病
 態学², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学³, 旭川療育センター児童院⁴
- O-269 新規ミスセンス変異を認めた典型的な PCDH19 遺伝子関連てんかんの 1 例
 ○保科めぐみ¹, 三島 博¹, 中山東城², 日暮憲道³, 廣瀬伸一³
 大原総合病院小児科¹, 東北大学医学部小児科², 福岡大学医学部小児科³

- O-270 PRRT2 変異を有する ICCA 症候群家系に認めた、幼児期発症部分てんかんの一女児例**
 ○鳥巢浩幸¹, 渡辺恭子^{1,2}, 下島圭子³, 島田姿野³, 實藤雅文¹, 石崎義人¹, 酒井康成¹, 山本俊至³, 奥村彰久⁴, 原 寿郎¹
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 国立病院機構小倉医療センター小児科², 東京女子医科大学統合医科学研究科³, 順天堂大学医学部小児科・思春期科学⁴
- O-271 新規の PRRT2 遺伝子変異を認めた良性乳児けいれん・発作性運動誘発性ジスキネジアの一例**
 ○梶 敏彦¹, 島田姿野², 下島圭子², 山本俊至²
 武蔵野赤十字病院小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究科²
- O-272 SLC2A1 遺伝子変異を同定した古典型 GLUT1 欠損症候群の 1 例**
 ○小林朋子, 植松 貢, 中山東城, 福與なおみ, 菊池敦夫, 佐藤優子, 守屋充司, 佐藤 亮, 柿坂庸介, 呉 繁夫
 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野
- O-273 ケトン食療法が著効した GLUT1 異常症の 1 例**
 ○松重武志, 井上裕文, 梶本まどか, 百中 宏, 長谷川俊史, 市山高志
 山口大学大学院医学系研究科小児科
- 10:40~11:30 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 10..... (S322)**
 座長 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
 藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかんセンター)
- O-274 後部皮質に皮質異形成を伴う乳児難治てんかんの外科治療**
 ○高橋章夫¹, 大槻泰介¹, 本田涼子², 斎藤貴志², 中川栄二², 須貝研司², 佐々木征行²
 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²
- O-275 難治性てんかん術前後の高次脳機能、薬物の評価を行った 4 例**
 ○藤本礼尚, 横田卓也, 榎日出夫, 山本貴道
 聖隷浜松病院てんかんセンター
- O-276 Edaravone 投与が EL マウスの脳波に及ぼす影響**
 ○馬場亜沙美¹, 川上康彦², 斎藤賢一³, 桑原健太郎¹, 藤田武久¹, 藤野 修¹
 日本医科大学小児科¹, 日本医科大学多摩永山病院小児科², 日本獣医生命科学大学食品科学科³
- O-277 パルプアルブミン陽性細胞を標的とした Scn1a 遺伝子破壊はマウスにてんかん発作と運動失調を引き起こす**
 ○荻原郁夫, 山川和弘
 理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- O-278 IL-1 β は熱性けいれん重積後の側頭葉てんかん発症を促進させる一幼弱ラットを用いた熱性けいれん重積モデルでの検討**
 ○福田光成¹, 鈴木由香², 河邊美香¹, 森本武彦³
 愛媛大学医学部附属病院周産母子センター・小児科¹, 愛媛大学大学院医学系研究科地域救急医療学², 愛媛県立子ども療育センター³

第 3 日目 第 6 会場 (大分オアシスタワーホテル)

- 9:00~10:00 一般演題 (口演) 筋 2..... (S323)**
 座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部)
- O-279 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける脳梗塞発症の危険因子に関する検討**
 ○青木雄介, 小牧宏文, 石山昭彦, 齋藤貴志, 斎藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-280 DMD/BMD 入院患者の発達障害傾向に関する看護師評価**
 ○柴田早紀¹, 岩田優子¹, 藤野陽生¹, 船越愛絵¹, 前田直子¹, 齊藤利雄², 松村 剛², 井村 修¹
 大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻臨床教育学講座臨床心理学研究分野¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科²
- O-281 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者は日本に何人いるか**
 ○川井 充
 国立病院機構東埼玉病院神経内科

O-282 福山型先天性筋ジストロフィーにおけるウィルス感染罹患後の筋力低下増悪に対するステロイド治療の検討

○村上てるみ, 石垣景子, 佐藤孝俊, 斎藤 崇, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科

O-283 福山型先天性筋ジストロフィーにおける慢性呼吸不全の検討

○佐藤孝俊¹, 石垣景子¹, 梶野幸子¹, 斎藤 崇¹, 村上てるみ¹, 舟塚 真¹, 斎藤加代子^{1,2}, 大澤真木子¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター²

O-284 福山型先天性筋ジストロフィーにおける嚥下障害と治療的介入に関する検討

○石垣景子¹, 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 舟塚 真¹, 伊藤 康¹, 加藤郁子¹, 斎藤 崇¹, 塩田睦記¹, 世川 修², 斎藤加代子³, 大澤真木子¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学医学部小児科², 東京女子医科大学遺伝子医療センター³

10:00~11:00 一般演題(口演)筋3.....(S325)

座長 穴倉啓子(社会福祉法人訪問の家朋診療所)

後藤雄一(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)

O-285 希少疾病の治験・臨床試験推進を目指した治験ネットワーク：筋ジストロフィー臨床試験ネットワーク

○清水玲子^{1,2}, 尾方克久³, 木村 円¹, 小牧宏文⁴
国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター¹, 東京女子医科大学病院小児科², 国立病院機構東埼玉病院臨床研究部神経内科³, 国立精神・神経医療研究センター小児科⁴

O-286 遺伝子診断された Ullrich 型先天性筋ジストロフィー (UCMD) の軽症例

○石川幸辰, 石川悠加
国立病院機構八雲病院小児科

O-287 SMN1 遺伝子の複合ヘテロをもつ脊髄性筋萎縮症 I 型の SMN 転写産物の発現様式

○館 延忠¹, 須鎌康介², 高橋 悟³, 二階堂弘輝⁴
札幌医科大学保健医療学部¹, 札幌医科大学保健医療学部², 旭川医科大学小児科³, 札幌医科大学小児科⁴

O-288 Duchenne 型筋ジストロフィーの心機能評価における 3 次元心エコーの有用性

○鈴木理恵, 酒井直子, 向田壮一, 白石一浩
国立病院機構宇多野病院小児神経科

O-289 髄芽腫に高率に認められる脊髄性筋萎縮症遺伝子のコピー数減少

○秋吉健介¹, 泉 達郎¹, 石川幸辰²
大分大学医学部小児科¹, 国立病院機構八雲病院小児科²

O-290 ミトコンドリア病の遺伝子診断には, long PCR 法, サザンブロット法, 全周シーケンシング法を用いた解析と総合的な判断が必要である

○竹下絵里^{1,2}, 三牧正和^{1,3}, 西野一三⁴, 埜中征哉⁴, 後藤雄一^{1,2}
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第2部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部², 東京大学医学部附属病院小児科³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第1部⁴

11:00~11:50 一般演題(口演)筋4.....(S327)

座長 木村重美(熊本大学発達小児科)

山形崇倫(自治医科大学小児科学)

O-291 発作性房室ブロックを合併した Sanfilippo 症候群の成人部検例：中枢神経系と心伝導系の蓄積物質とその分布選択性機序の検討

○加藤里絵, 宮原弘明, 松塚敦子, 川野達也, 泉 達郎
大分大学医学部小児科, 神経小児科

O-292 神経筋疾患の血管新生マーカー

○齊藤利雄¹, 松村 剛²
国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科²

O-293 小児の筋疾患の治療評価としてのアクチグラフ その2

○木村重美, 小篠史郎, 野村恵子, 小菅浩史
熊本大学生命科学研究部小児発達科

O-294 トピラマートが有効であった先天性パラミオトニアの 1 例

○黒川愛恵, 山形崇倫, 宮内彰彦, 石井朋之, 森 雅人, 杉江秀夫, 桃井眞里子
自治医科大学小児科

O-295 特異的セレン欠乏性疾患とその他のセレン欠乏性疾患の臨床特性と補充療法

○関口和人, 是松聖悟, 泉 達郎
大分大学医学部小児科, 神経小児科

第 3 日目 第 7 会場 (大分オアシスタワーホテル)

7:30~10:00 共同研究支援委員会主催モーニング教育セミナー:

第一部「共同研究支援課題報告」..... (S181)

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
杉江秀夫 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科)

1) 孔脳症および脳 (室) 内出血の責任遺伝子の解明

萩野谷和裕¹, 才津浩智², 荒井 洋³, 小坂 仁⁴, 加藤光広⁵, 児玉真理子⁶, 横地健治⁷
(拓桃医療療育センター¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝科², 森之宮病院小児神経科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 山形大学小児科⁵, 心身障害児総合医療療育センター小児科⁶, 聖隷三方原病院小児神経科・聖隷おおぞら療育センター⁷)

2) 傍シルビウス裂症候群の実態調査と診断基準の作成に関する研究

加藤光広¹, 白石秀明², 遠山 潤³, 小倉加恵子⁴, 荒井 洋⁵, 鳥巢浩幸⁶, 加我牧子⁷
(山形大学医学部小児科¹, 北海道大学病院小児科², 国立病院機構西新潟中央病院小児科³, 国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室⁴, 大道会森之宮病院小児神経科⁵, 九州大学病院小児科⁶, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所⁷)

3) グルコーストランスポーター 1 欠損症候群の実態と診断治療指針に関する研究

小国弘量¹, 伊藤 康¹, 高橋 悟², 夏目 淳³, 柳原恵子⁴, 下野九理子⁵, 藤井達哉⁶
(東京女子医科大学小児科¹, 旭川医科大学小児科², 名古屋大学小児科³, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁴, 大阪大学小児科⁵, 滋賀県立小児保健医療センター⁶)

4) 片側けいれん片麻痺てんかん症候群の遺伝的原因解明

山崎佐和子¹, 遠山 潤², 石井敦士³, 廣瀬伸一³
(新潟市民病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院小児科², 福岡大学医学部小児科³)

第二部 急性脳症 (エキスパートに聞く)「急性脳症をいかに理解するか: 今後の研究アプローチ」

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
杉江秀夫 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科)

1) 小児急性脳症のバイオマーカー

山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

2) 急性脳炎・脳症における脳波の意義

奥村彰久 (順天堂大学医学部小児科)

3) 急性脳症の包括的遺伝子解析

水口 雅¹, 高嶋幸男², 廣瀬伸一³, 山内秀雄⁴, 伊藤雅之⁵, 塩見正司⁶, 久保田雅也⁷, 高梨潤一⁸, 佐久間啓⁹

(東京大学大学院医学系研究科発達医科学¹, 柳川療育センター², 福岡大学医学部小児科³, 埼玉医科大学医学部小児科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所⁵, 愛染橋病院⁶, 国立成育医療研究センター病院神経内科⁷, 亀田メディカルセンター小児科⁸, 東京都医学総合研究所脳発達・再生研究分野⁹)

4) 感染症関連急性脳症に対する各種治療の有効性の検証―「積み立て型」継続的症例集積の必要性

後藤知英 (東京都立小児総合医療センター神経内科)

10:00~10:50 一般演題 (口演) 代謝変性疾患 4 (S329)

座長 山口清次 (島根大学小児科)
亀井 淳 (岩手医科大学小児科学講座)

O-296 小児大脳型副腎白質ジストロフィー長期生存例の神経病理学的所見―生存例との比較―

○下田木の実^{1,2}, 熊田聡子¹, 白井育子¹, 笠井恵美¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹
東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学医学部附属病院²

- O-297 ニーマンピック病 C 型に対するシクロデキストリン脳室内投与療法の効果**
○松尾宗明, 田島大輔
佐賀大学
- O-298 神経型 Gaucher 病に対するアンブロキソールを用いたケミカルシャペロン療法**
○成田 綾¹, 板村真司¹, 白井謙太郎¹, 久保田智香², 高山留美子³, 高橋幸利³, 前垣義弘¹,
鈴木義之⁴, 大野耕策¹
鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 松江医療センター², 静岡てんかん・神経医療センター³,
国際医療福祉大学大学院⁴
- O-299 GM ガングリオシドーシスに対するシャペロン療法の開発**
○難波栄二^{1,2,3}, 足立香織^{1,4}, 大野耕策⁴, 鈴木義之⁵
鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科²,
鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター³, 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科⁴,
国際医療福祉大学⁵
- O-300 Wilson 病全国調査成績からみた神経型・肝神経型 Wilson 病の予後に関する検討**
○小西弘恵¹, 鈴木美沙子¹, 小川絢子¹, 清水教一¹, 関根孝司¹, 菅原由美², 栗山進一³, 青木継稔¹
東邦大学医療センター大橋病院小児科¹, 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野², 東北大学
大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター分子疫学分野³

第 3 日目 第 8 会場 (全労済ソレイユ)

- 9:00~10:00 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 5 (S331)**
座長 清水教一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)
豊島光雄 (鹿児島大学小児科)
- O-301 RANBP 2, CPT-II 遺伝子変異を認めなかった急性壊死性脳症の兄弟例**
○西村尚子¹, 樋口嘉久¹, 井口牧子¹, 木村暢佑¹, 野崎章仁², 熊田知浩², 藤井達哉², 星野 愛³,
齋藤真木子³, 水口 雅³
大津赤十字病院小児科¹, 滋賀県立小児保健医療センター小児科², 東京大学大学院発達医科学³
- O-302 急性壊死性脳症における遺伝的素因—HLA タイピング及びサイトカイン遺伝子多型解析—**
○星野 愛¹, 齋藤真木子¹, 久保田雅也², 高梨潤一³, 豊島光雄⁴, 宮本晶恵⁵, 奥村彰久⁶, 水口 雅¹
東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 亀田メディ
カルセンター小児科³, 鹿児島大学医学部小児科⁴, 旭川療育センター小児科⁵, 順天堂大学医学部
小児科⁶
- O-303 けいれん重積型急性脳症におけるシクロスポリン療法の有効性の検討**
○渡辺好宏, 本井宏尚, 大山宜孝, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター
- O-304 熱性けいれん重積とけいれん重積型脳症の鑑別における急性期脳波周波数解析**
○李 守永, 鳥巢浩幸, 石崎義人, 實藤雅文, 酒井康成, 原 寿郎
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野
- O-305 けいれん重積後より持続脳波モニタリングを行ったけいれん重積型脳症患者の脳波周波数解析**
○李 守永, 鳥巢浩幸, 石崎義人, 實藤雅文, 酒井康成, 原 寿郎
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野
- O-306 急性脳炎・急性脳症に伴うけいれん重積と熱性けいれん重積における抗けいれん薬の治療効果の検討**
○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 上野健史¹, 村田真野^{1,3}, 玉井 浩³
市立枚方市民病院¹, 田辺・門林こどもクリニック², 大阪医科大学附属病院³
- 10:00~10:50 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 6 (S333)**
座長 川上康彦 (日本医科大学多摩永山病院小児科)
平林伸一 (長野県立こども病院神経小児科)
- O-307 B 型脳症の SPECT 所見の検討**
○辻 健史¹, 奥村彰久², 細川洋輔¹, 加藤 徹¹, 深沢達也³, 久保田哲夫³, 糸見世子⁴, 鈴木基正⁵,
早川文雄¹, 安藤直樹⁶, 齋藤伸治⁶, 夏目 淳⁷
岡崎市民病院小児科¹, 順天堂大学小児科², 安城更生病院小児科³, 名古屋第一赤十字病院小児科⁴,
あいち小児保健医療総合センター神経科⁵, 名古屋市立大学小児科⁶, 名古屋大学小児科⁷

O-308 出血性ショック脳症症候群 (HSES) が疑われた 9 例の診断および転帰に関する検討

○田中 司^{1,2}, 西山将広¹, 藤田杏子¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗¹
兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 兵庫県立こども病院救急集中治療科²

O-309 多嚢胞性脳軟化症を呈した, 亜硫酸酸化酵素単独欠損症の 1 例

○河合南海子¹, 木ノ内よしな¹, 倉繁款子¹, 高柳正樹¹, 小俣 卓²
千葉県こども病院救急総合診療科¹, 千葉県こども病院神経科²

O-310 脳梁および深部白質に一過性拡散低下を伴う脳炎・脳症を繰り返し発症した 10 歳女児症例

○颯佐かおり¹, 阿部裕一¹, 馬場和美², 平澤邦夫³, 山内秀雄¹
埼玉医科大学医学部小児科¹, 熊谷総合病院², 深谷赤十字病院³

O-311 対称性白質病変消失後に脳梁病変を認めた一症例からの MERS 再考

○久保田哲夫, 坂口陽子, 深沢達也, 根来民子
安城更生病院小児科

10:50~11:50 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 7 (S334)

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

稲葉雄二 (信州大学医学部小児科)

O-312 重度の後遺症を伴ったけいれん重積型脳症の長期予後

○山中 岳, 竹下美佳, 森地振一郎, 石田 悠, 森島靖行, 鈴木一徳, 河島尚志, 宮島 祐, 星加明徳
東京医科大学小児科

O-313 急性脳症後遺症による高次脳機能障害に対し, 定期的評価訓練を行った 11 歳男児例

○穴戸 淳^{1,2}, 栗原まな^{1,2}, 吉橋 学¹, 藤田弘之¹, 小萩沢利孝^{1,2}, 井田博幸²
神奈川県総合リハビリテーション病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

O-314 急性脳炎, 急性脳症に対する高用量エリスロポエチン治療の臨床的検討

○九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 天羽清子²,
外川正生², 石川順一², 富和清隆^{1,3,4}, 塩見正司⁴
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 東大寺福祉療育病院小児科³, 愛染橋病院小児科⁴

O-315 急性脳炎・脳症後に epileptic spasms を発症した症例の検討

○辻ひとみ¹, 川脇 壽¹, 堀野朝子¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 富和清隆¹,
天羽清子², 外川正生², 塩見正司³
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科², 愛染橋病院小児科³

O-316 Bright tree appearance を呈する急性脳症後に発症したてんかんの発作型の検討

○伊藤祐史¹, 山本啓之², 石原尚子², 相場佳織³, 鈴木基正⁴, 久保田哲夫⁵, 辻 健史⁶, 早川文雄⁶,
奥村彰久⁷, 齋藤伸治⁸, 根来民子², 渡邊一功², 夏目 淳²
豊田市こども発達センター小児神経科¹, 名古屋大学医学部小児科², 豊橋市民病院小児科³, あいち小児保健医療総合センター神経科⁴, 安城更生病院小児科⁵, 岡崎市民病院小児科⁶, 順天堂大学医学部小児科⁷, 名古屋市立大学医学部小児科⁸

O-317 Bright tree appearance (BTA) を呈した脳症における, てんかん発症群, 非発症群の血液検査所見の比較検討

○東 純史^{1,2}, 山崎早苗^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 中野さやか^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目信^{1,2},
下野九理子^{1,2,3}, 沖永剛志^{1,2}, 永井利三郎⁴, 大藺恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁴

第 3 日目 第 9 会場 (全労済ソレイユ)

7:30~9:50 長期計画委員会主催シンポジウム：神経とこころの発達：基礎講座 (S187)

座長 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)

- 1) 小児神経疾患診療における心理学的なアプローチの実際
作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)
- 2) 胎児から見た神経行動発達
小西行郎 (同志社大学大学院心理学科赤ちゃん学研究センター)
- 3) 選好注視法を用いた乳児発達健診課題
金沢 創 (日本女子大学人間社会学部心理学科)
- 4) 臨床神経心理学と神経精神疾患
松井三枝 (富山大学大学院医学薬学研究部 (医学) 心理学)